RISOGRAPH **100** 6650/5650/5450 取扱説明書





当社は国際エネルギースター・プログラムの参加事業者 として、本製品が国際エネルギースター・プログラムの 基準に適合していると判断します。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用 すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が 適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

JIS C 61000-3-2 適合品 本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

▲ 注意

安全のため、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 お読みになった後は、いつでも取り出せるように所定の場所に保管し てください。

ごあいさつ

このたびは、本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、以下の機能を備えたデジタル孔版印刷機です。

- ●2色分のドラムを標準装備しており、誰でも簡単な操作で、2色プリントを行うことができます。
- 大型液晶ディスプレイを装備し、画面上に表示されるボタンにタッチして操作する、「タッチパネル方式」を採用しています。
- ●各種のガイダンスに従って操作を進める「対話方式」を採用し、高度なプリント設定も簡単に行えます。

取扱説明書について

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

RISOGRAPH MD6650/5650/5450 取扱説明書(本書)
 本機の基本的な操作方法をはじめとして、便利な機能の操作方法、高度なプリント機能の設定方法について説明しています。

また、使用上のご注意、各種消耗品の取り扱いや交換方法、トラブル発生時の対処方法についても記載しています。

- MD シリーズ ナビゲートブック
 2 色プリントやかんたん分版のしくみや操作の流れ、うまくプリントするコツなどをわかりやすく紹介しています。
- リソープリンタドライバ 取扱説明書/インストール手順書 パソコンから本機にプリントするときの操作手順を説明しています。
- ソフトデジタイザ取扱説明書(MD6650のみ)
 ソフトデジタイザ機能をお使いになるときの操作方法について説明しています。

本機をご使用になる前、また、ご使用中不明な点があるときに、それぞれの説明書をお読みいただき、本機とともに 末永くお役立てください。

♀▶ は理想科学工業株式会社の登録商標です。

RISOiQualitySystem™は理想科学工業株式会社の商標です。

は理想科学工業株式会社の商標です。

© コピーライト 2010 理想科学工業株式会社



製版、印刷の通常のプリント動作の他に、設定できる主な機能の一覧です。



印刷時に設定する機能



メモリーカード DM128CF、または USB メモリに保存した原稿データを呼び出してプリントします。

スキャンモード(🖝 P.184)

紙原稿を本機のスキャナーで読み取り、画像データを 保存できます。 本機で読み取った原稿と本機のホールドデータや USB メモリに保存している画像データを合成してプリント します。

名入れ(● P.193) 本機で読み取った原稿とホールドデータで2色プリン トできます。

連携機 Prioa(別売)を接続すると、次の機能が設定できます。

連携機情報の設定(● P.207)

連携機や装着しているオプション機能を使用できる ように設定を変更します。 連携機のオプション機能(● P.213)

連携機や装着しているオプション機能を使用すると きの各種設定を行います。

目次

| 機能一覧 | 2 |
|---|------|
| 製版時に設定する機能 | 2 |
| その他の機能 | 3 |
| 印刷時に設定する機能 | 3 |
| 文中の表記について | 9 |
| 安全上のご注意 | . 10 |
| 設置場所について | .10 |
| 電源の接続について | .10 |
| アースの接続について | .10 |
| | .11 |
| | .11 |
| | . 12 |
| 設置上の注意 | .12 |
| ご () () () () () () () () () () () () () | .13 |
| 印刷用礼に負90/12。 | .14 |
| ロートの記述していた。 原稿に関する注意 | 16 |
| 印刷に関する注意 | .17 |
| 各部の名称とはたらき | 18 |
| 給紙側 | .18 |
| 排紙側 | .19 |
| 操作パネル | .20 |
| ディスプレイ | . 22 |
| 画面の移り変わり | .22 |
| モードについて | . 25 |
| プリントモード | .25 |
| スキャンモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | .25 |
| RLP = - F | .25 |
| 基本画面の見かた | . 26 |
| 紙原稿をプリントする場合 | .26 |
| ディスプレイ上のボタンについて | .26 |
| | .27 |
| フリントの流れ(2 色ブリント) | . 28 |
| プリントの流れ(1 色プリント) | . 30 |

基本操作

| プリント前の準備 | 34 |
|--|----|
| 給紙台と用紙のセット | 34 |
| 排紙台のセット | 35 |
| 原稿をセットする | 37 |
| 原稿台ガラスにセットする | 37 |
| 原稿送り装置(オプション)にセットする | 37 |
| 紙原稿をプリントする | 39 |
| 2枚の原稿で2色プリントする | 39 |
| 1 色プリントする | 42 |
| パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント] [USB メモリ] | 48 |
| パソコンから指示をしてプリントする(ダイレクトプリント) | 48 |
| USB メモリからプリントする(USB メモリ) | 51 |
| 出力指示の変更 | 53 |
| 本機での停止タイミングの変更........................ | 55 |

製版するときに設定する機能

| 原稿に適したモードを選択する [原稿モード] | . 58 |
|---|------------------------|
| 原稿の読取濃度を選択する [読取濃度] | . 60 |
| 原稿を拡大/縮小する 【固定変倍】 [独立変倍] 【ズーム変倍】 [周囲余白] | . 61 |
| 固定倍率の拡大/縮小 [固定変倍] [周囲余白] | . 62 |
| 縦横比を変えた拡大/縮小 [独立変倍] | . 62 |
| | . 03 6/ |
| 「たか用紙に印刷する」「用紙サイス」 | . 0 4 65 |
| 税() C ノ リ ノ ト 9 る [) (注税) | . 05 |
| う具に縦尻をかける 「横尻」 | . 00 |
| 「与具の明暗を調節する」コントラスト強調」 | .67 |
| 写真の階調を調節する [トーンカーブ選択] | . 68 |
| インクを節約する [省インク] | . 69 |
| 1 枚の用紙に多面取りする [連写] [かんたん連写] | . 70 |
| 連写を使用するときの注意 | . 71 |
| かんたん埋与の裸作のしかた | . 73 |
| チケット連写の操作のしかた | . 74 |
| 1 枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [N アップ] | . 77 |
| 雑誌や本をプリントする [ブックモード] | . 80 |
| 原稿のトンボをカットしてプリントする [レイアウト原稿] | . 82 |
| 製版位置を調整する [とじしろ] | . 83 |
| フルサイズで製版する [フルサイズ製版] | . 84 |
| 1枚の原稿で2色プリントする [かんたん分版] | . 85 |
| かんたん分版の種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | . 85 |
| かんたん分版の操作手順 | . 90 |
| | . 91 |
| 製版前に印刷イメージを確認する [フレビュー表示] | . 92 |
| 片方のドラムのみ原稿を差し替える [シングル製版] | . 94 |

印刷するときに設定する機能

| 印刷速度を変える [印刷速度調節] | 98 |
|------------------------------|-----|
| 高速で印刷する [ハイスピード] | 99 |
| 印刷濃度を変える [印刷濃度調節] | 100 |
| 印刷位置を調整する [印刷位置調節] [①=②位置追従] | 101 |
| 両方のドラムの印刷位置をそろえる........... | 102 |
| 試し刷りをする [試し刷り] | 103 |
| 特殊な用紙を使うときの紙づまりを防ぐ [重送検知] | 104 |
| 裏移りを少なくする [インターバル印刷] | 105 |
| 特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う | |
| [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定] | 106 |
| 排紙ウイング特殊を設定する [排紙ウイング特殊] | 107 |
| 給紙に関しての設定をする [特殊給紙調整] | 107 |
| 排紙に関しての設定をする [特殊排紙調整] | 108 |
| 調整値リストへの登録と名称入力 | 109 |
| 調整値リストから呼び出す [特殊用紙設定] | 110 |
| 特殊用紙設定の設定内容の変更 | 111 |
| 特殊用紙設定の消去 | 112 |

いろいろな機能を使う

| 設定項目について | 114 |
|--|--|
| 認証設定の流れ | 116 |
| 認証方式の選択 | 118 |
| 認証の範囲(認証有無)の設定 | 119 |
| 管理者/ユーザーの登録 | 120 |
| 官理有/ユーリー豆球の変更 | 123 |
| グループの名称入力 | 125 |
| | 126 |
| クルーノ(クラム)分けしてノリントする 【ノロクラム】 | 127 |
| プリント方法 | 129 |
| プログラムの設定 | 129 |
| ノロクラムの登録 プログラムを呼び出してプロントする | 131 |
| プログラムの名称入力 | 133 |
| プログラムを消去する | 135 |
| ノロクラムの設定内容の変更かんたん分版とドリル印刷を組み合わせて使う | 135 |
| | 139 |
| メモリーの登録 | 140 |
| メモリーを呼び出してプリントする | 141 |
| メモリーの名何人力メモリーを消去する | 142 |
| 機密書類の複製を防止する [機密] | 144 |
| 割り込み印刷を防止する [占有延長] | 145 |
| アイドリングをする [アイドリング] | 146 |
| 再製版する [再製版] [オート再製版] | 147 |
| | |
| 再製版を実行する | 148 |
| 再製版を実行する [オート再製版] を使う 鼻後のページからプリントする [逆順印刷] | 148 |
| 再製版を実行する | 148 149 150 |
| 再製版を実行する [オート再製版]を使う 最後のページからプリントする[逆順印刷] | 148 149 150 152 153 |
| 再製版を実行する | 148 149 150 152 153 155 |
| 再製版を実行する | 148 149 150 152 153 155 157 |
| 再製版を実行する | 148 149 150 152 153 155 157 158 |
| 再製版を実行する [オート再製版]を使う 最後のページからプリントする[逆順印刷] | 148 149 150 152 153 155 157 158 159 |
| 再製版を実行する [オート再製版]を使う 最後のページからプリントする[逆順印刷] | 148 149 150 152 153 155 157 158 159 159 |
| 再製版を実行する | |
| 再製版を実行する | |
| 再製版を実行する | 148 149 150 150 153 155 157 159 159 163 163 163 169 |
| 再製版を実行する | 148 149 150 152 155 155 157 159 159 159 159 161 163 163 169 169 169 173 |
| 再製版を実行する [オート再製版]を使う 最後のページからプリントする[逆順印刷] | |
| 再製版を実行する [オート再製版]を使う 最後のページからプリントする [逆順印刷] | |
| 再製版を実行する | |

原稿データを保存して活用する

| 原稿データの保存と活用方法について | . 182 |
|-----------------------|-------|
| 紙原稿をデータ保存する [スキャンモード] | . 184 |
| 紙原稿をスキャンする | .185 |

| | データの情報設定をする | 187 |
|------|---|-----|
| | 休仔リイスで拍正90 | 189 |
| 保存デ- | −タを呼び出してプリントする [ホールド][USB メモリ] | 190 |
| | 保存データの呼び出しかた | 190 |
| | データの並び順を変える | 191 |
| | [ホールドデータ呼出]画面/[USB データ呼出]画面の使いかた. | 192 |
| 保存デー | -夕を活用する [オーバーレイ] [名入れ] | 193 |
| | 保存データを合成する [オーバーレイ] (1 色プリント時) | 194 |
| | 原稿と保存データで2色プリントする[名入れ](2色プリント時). | 195 |
| | 名入れデータに名前を付ける | 197 |
| | [名入れ] で2色プリントする | 198 |
| | 設定内容の変更のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 199 |
| | 名入れデータの設定内容の消去 | 200 |
| 保存デー | -タをコピー/移動する | 202 |

連携機 Prioa(別売)を接続して使う

| 連携機を使用したプリント機能について | |
|---|-----|
| 自動振分 | 206 |
| $RLP = - k \dots \dots$ | 206 |
| 連携機を使うための準備 [RLP 情報設定] | |
| 連携機情報を設定する | 207 |
| 設定項目一覧 | 208 |
| 紙原稿を読み取り連携機から出力する [RLP モード] | |
| 連携機のオプション機能を使う | |
| 設定可能な項目一覧 | 214 |
| 両面印刷のしかた [両面] | |
| RISO オートフィーダー DX-1 を装備している場合 | 219 |

消耗品を交換する

| 消耗品の残量を確認する | |
|-------------------|-----|
| マスター交換のしかた | |
| インクボトル交換のしかた | |
| 排版ボックスのマスターの処理 | |
| ドラムのセット(カラーチェンジ) | |
| ドラムの取り出しかた | 232 |
| ドラムのセットのしかた | 233 |
| 使用済み消耗品の回収、廃棄について | |

お手入れ

| クリーナーについて | |
|-----------|--|
| お手入れのしかた | |

こんなときには

| メッセージが表示されたときは | |
|------------------------------|-----|
| エラーメッセージの見かた | 242 |
| ワーニングメッセージ(ウインドウ表示)の見かた..... | 251 |
| 消耗品情報入力画面が表示されたときは | 262 |
| 「故障?」と思ったとき | |

付録

| 消耗品について | |
|-----------|--|
| オプションについて | |
| 仕様 | |
| 索引 | |

文中の表記について

本書では本文中の表記を次のように行っています。

■ 注意事項等のマークについて

全ページ通して、注意事項などは次のようなマークで統一して表しています。



「<u>小</u>警告」および「<u>小</u>注意」については P.10 をご覧ください。

■ 操作説明や機能説明の表記について

機能や操作説明は、次のような表記で行っています。



■ 本書で使用している用語について

- **製版** ………… 原稿を読み取ってマスターを作成する動作 印刷 ………… 製版されたマスターを使用して用紙に印刷
- 印刷 ………… 器成されにマスターを使用して用紙に印 する動作
- プリント …… 製版から印刷までの動作
- 押す ………… 操作パネルのキーを押すとき

- **タッチする** … ディスプレイ(液晶パネル)のボタンを押す とき
- ジョブ ……… 出力可能な状態となった原稿データ
- 初期設定 …… 電源を「ON」にしたときの設定値(各画面に 表示される値)

■ 本書の記載内容・使用している画面やイラストについて

- ディスプレイのイラストは、初期設定では表示されていないボタンや、オプションを装着した場合にのみ表示されるボタンも、表示している状態で記載しています。
- ●本書に記載している操作説明・イラスト・画面には、基本的に MD5650 を使用しています。
- •本書の操作例では、基本的にドラム1を「ブラック」、ドラム2を「レッド」として説明しています。
- 本書では、オプションの自動原稿送り装置 AF-VI と RISO オートフィーダーDX-1 をあわせて「自動原稿送り装置」と記載しています。



本機を設置する場所や電源に関する注意など、ご使用 前に必ず知っておいていただきたいことを記載して います。必ずお読みください。

警告表示について

本機を正しくお使いいただき人体への危害や財産へ の損害を未然に防止するため、次のような警告表示を 使用しています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをする と、人が死亡または重傷を負う可能性が想 定される内容を説明しています。

▲注意

この表示を無視して誤った取り扱いをする と、人が傷害を負う可能性が想定される内 容および物的損害のみの発生が想定される 内容を説明しています。

設置場所について

∕∕∖注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に 置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火 災、感電の原因となることがあります。

電源の接続について

∕≜警告

ります。

- 電源 90 ~ 100V の範囲内で、電流 10A 以上の電源 をご使用ください。火災、感電のおそれがあります。
- 分岐コンセントのご使用、タコ足配 線はおやめください。延長コードが 必要なときは 125V/10A 以上の規 格のケーブルを使用し、5m以上延 長しないようにしてください。火災、 感電のおそれがあります。



 ■ 電源コードを傷付けたり、破損した り、加工したりしないでください。ま た重いものをのせたり、引っぱった り、無理に曲げたりすると電源コー ります。

• プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで

∕∕注意

- ください(必ずプラグを持って抜いてください)。 コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあ ります。
- 連休などで長期間、本機をご使用にならない場合 は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから 抜いてください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プ ラグの刃の周辺部分を清掃してください。ほこりが たまると、火災の原因となることがあります。

アースの接続について

∕≜警告

• アース線を必ず接続してください。 アースの接続は、電源プラグを電源 につなぐ前に行ってください。また、 アース接続を外す場合は、必ず電源 プラグを電源から切り離してから 行ってください。



アース接続しないで万一、漏電した場合は、火災や 感電のおそれがあります。なお、アース接続ができ ない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会 社)にご相談ください。

- 次のようなところには絶対にアース線を取り付け ないでください。火災、感電のおそれがあります。 - ガス管
 - 電話専用アース線
 - 避雷針
 - 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口
- アース線は次の場所に取り付けてください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを、65cm 以上地中に埋めたもの
 - 接地工事(第1種~第3種)が行われている接地 端子
 - 水道局がアースの対象物として承認した水道管
- ドをいため、火災、感電のおそれがあ 同梱の電源コードは本機専用です。他の電気製品で は使用しないでください。火災、感電のおそれがあ
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでくださ い。感電のおそれがあります。

取り扱いについて

⚠警告

- 本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本機の近くで、可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。
 スプレーのガスや引火性溶剤が機械内部の電子部品などに接触すると、火災や感電のおそれがあります。
- 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすい ものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしな いでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 本機を分解したり改造しないでくだ さい。火災、感電のおそれがありま す。



万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグを



コンセントから抜いてください。そして販売会社 (あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。

万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



⚠注意

- 給紙台や排紙台回りのすきまには、絶対に指などを 差し込まないでください。けがの原因となることが あります。
- ドラム周辺や、ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないようにご注意ください。手などにインクが付いた場合は、早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。
- 本体内部に手を入れて用紙を取り除く際には、分離 爪に触れないように注意してください。分離爪の先端は鋭利になっているので、けがの原因となること があります。

- ドラムは垂直に立てないでください。床などを汚す ことがあります。
- クリーニングに使うクリーナーは事務機専用です。 顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでくだ さい。クリーナー使用後は必ず手を洗ってください。
- 本機を移動する場合は、販売会社(あるいは保守・ サービス会社)に連絡してください。無理に移動さ せると、機械が転倒して、けがの原因となることが あります。

インクについて

⚠注意

- 目に入った場合は、速やかに多量の水でよく洗い流 してください。
- 皮膚に付いた場合は、せっけんなどでよく洗ってく ださい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合は、吐かせずに多量の水(または牛乳)を飲ませ、様子をみてください。
- 万一、異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- •印刷中は充分な換気を行ってください。
- 印刷以外の用途には使用しないでください。
- 小さなお子さまの手の届かないところに保管して ください。

ご使用の前に

本機をご使用になる際に気をつけていただきたいこ とや、ご使用前に必ず知っておいていただきたいこと を記載しています。

設置上の注意

設置場所について

- 本機の設置場所につきましては、納入時にお客様と ご相談のうえ決定させていただきます。
- 本機は設置場所を固定することになっています。
 本機を移動するときは、販売会社(あるいは保守・ サービス会社)に連絡してください。
- 次のような場所には設置しないでください。誤動作 や故障、事故の原因となる場合があります。
- ・直射日光のあたる場所や窓際などの 明るい場所(やむをえない場合は、窓 にカーテンなどを付けてください)



- 温度が急激に変化する場所 - 高温多湿、低温少湿の場所
- 火気·熱気のある場所、クーラー等の冷風、ストー ブ等の温風、ふく射熱などが直接あたる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

使用環境について

 本機が水平に設置できる場所を選ん でください。(設置の水平度:前後 10mm 以下、左右 10mm 以下)



● 適正環境は次のとおりです。

温度範囲:15℃~30℃

• 湿度範囲:40%~70% (結露しないこと)



専有面積について

本機は給紙台、排紙台を広げたり、ドラムを引き出す 場所を必要とするため、以下のスペースが必要です。







単位:mm

オプション装着時は、さらに以下のスペースが必要となります。

| | 装着オプション | | |
|---|-------------------|----------------------|--|
| | 自動原稿送り 装置AF-VI | RISOオート フィーダーDX-1 | |
| A | +95mm | +115mm | |
| B | +95mm | +115mm | |
| C | +25mm | +20mm | |

ご使用上の注意

電源の接続について

電源プラグ部の接触不良がないよう
 に、プラグはコンセントに確実に接続してください。



- •本機はコンセントの近くに設置してください。
- 本機には、電源を「ON」にしたまま、一定時間使用しないときに、自動的に消費電力を下げる、または電源を「OFF」にして電力を節約する「省エネモード」機能および、決まった時間に本機の電源を「OFF」にする「シャット OFF」機能が搭載されています。
 P.166「省エネモード」
 - P.166「シャット OFF 時刻」

操作について

- 動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。
- 動作中にカバーを開けたり、機械を移動させたりしないでください。
- カバー類の開閉は静かに行ってください。
- 機械の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。

取り扱いについて

- 機械内部には精密部品および駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- 機械を移動するときは、販売会社(あるいは保守・ サービス会社)に連絡してください。
- 日本国外へ移動した場合は、保守サービスの責任を 負いかねますのでご了承ください。

USB メモリについて

- マスストレージクラスに対応した USB メモリをご 使用ください。ご使用の USB メモリの種類によっ て、正常に動作しない場合があります。
- USB メモリを接続または取り外しする際は、正し い手順で、ゆっくりと抜き差ししてください。
- 天災や不測の事態により、USBメモリデータが損傷した場合、USBメモリ内に保存されているデータの保証はいたしかねます。重要なデータは、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをおすすめします。

消耗品などの保管について

用紙、マスター、インクなどの消耗品やドラムは正し く保管してください。

次のような場所での保管は、おやめください。

- 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所(や むをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてくだ さい)
- 温度が急激に変化する場所
- 高温多湿、低温少湿の場所

パソコンとの接続について

本機をパソコン(対応 OS:Windows XP/Vista)と接続して、パソコンで作成した原稿データを直接本機で プリントできます。

市販のUSBケーブル(3m以内、Hi-Speed USB規格 準拠品)で、本機とパソコンを接続してください。





接続する前にパソコンと本機の電源を入れ、本機 のディスプレイに初期画面が表示された状態で 行ってください。



パソコンとネットワーク接続する場合は、オプ ションのネットワークインターフェース(RISO Network Card)と市販のイーサネットケーブル (10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したシー ルドケーブル)が必要です。詳細については、 「RISO Network Card 取扱説明書」を参照してく ださい。

ソフトウェアについて

同梱のCD-ROMには次のソフトウェアを収録してい ます。

RISO Printer Driver

初めてプリントを行うときにはインストールが必要 です。パソコンから原稿データを送信してプリントす るためのプリンタドライバです。 ご使用方法については、「リソープリンタドライバ取 扱説明書」を参照してください。

リソーユーティリティソフトウェア

「理想集計アプリケーション」と「理想 USB メモリマ ネージャー」の2つのソフトウェアが収録されていま す。

- 理想 USB メモリマネージャー 原稿データの情報を、パソコン上で管理するアプリ ケーションです。
- 理想集計アプリケーション USB メモリに出力した利用枚数データを、パソコ ン上で管理するアプリケーションです。

ご使用方法については、「リソーユーティリティソフ トウェア取扱説明書」をご覧ください。

RISO Network Card(オプション) 参考

本機をネットワークプリンタとして Windows パ ソコンから使用するためには、ネットワークイン ターフェース(RISO Network Card)が必要です。 RISO Network Card をインストールすると、パ ソコンから本機の状態を確認できるモニタリング 機能を利用できます。

印刷用紙に関する注意

印刷に使用できる用紙について

印刷用紙は、機械の性能やインクの特性を十分に活か す「理想用紙」、「理想環境用紙」の使用をおすすめしま す。詳細については、本体お買い上げの販売会社(また は保守・サービス会社)にお問い合わせください。 本機仕様に定められている範囲を超える用紙をご利 用いただく場合は、その紙に対しての通紙および印刷 に関しては製品保証対象外となります。

サイズ



(ハガキサイズ)

※ 長尺モード使用時は 555mm(給紙方向に対する天地の長 さ)まで使用できます。ただし、ドラム2のみの1色プリン ト(ドラム1取り出し)で、印刷速度がハイスピードのとき は 364mm ~ 432mm までの用紙が使用できます。



 本機は、[用紙サイズ登録]を設定することで、天地 555mm までの長尺用紙を使用(通紙)できます。 ● P.175「不定形サイズを登録する [用紙サイ ズ登録]]

P.176 [奉書(長尺の用紙)にプリントすると きは |

•1色または2色プリントで、使用できる最小の用 紙サイズが異なります。

2色プリント

- 最小 182mm × 257mm(B5 サイズ) ドラム1のみの1色プリント 最小 100mm×148mm(ハガキサイズ相当) ドラム2のみの1色プリント
 - 最小 182mm × 257mm(B5 サイズ)

重さ

以下の範囲内の上質紙、中質紙、再生紙(古紙パルプ配 合率 100%など)などが使用できます。 $46a/m^2 \sim 210a/m^2$ (40kg 連量:四六判~ 180kg 連量:四六判)



• 本機仕様内の「用紙サイズ」および「用紙の重さ」 であっても、紙質・環境・保管状態等により通紙 できない場合があります。あらかじめ、ご了承く ださい。詳しくは、お買い上げの販売会社(また は保守・サービス会社)にご相談ください。

• 不適切な印刷用紙の使用は、紙詰まりや故障、印 刷品質の低下の原因になることがありますので 注意してください。

- 給紙フェンスや排紙フェンス、ストッパーは、必ず印刷用紙のサイズに合わせてセットしてください。
 P.34「プリント前の準備」
- ・ 画用紙などの厚紙や滑りやすい紙を使用するときは、給紙圧調節レバーや排紙台の紙揃えプレートを調節してください。● P.34「プリント前の準備」
- ・ 裁断が悪い用紙や表面が粗い紙(画用紙など)
 は、よくさばいてから使用してください。
- 横目の用紙は紙詰まりの原因になる場合がありま すので、用紙は縦目のものを使用してください。
- 使用する紙によっては機械の使用時に紙粉が発 生することがあります。清掃、換気を充分に行う ように心がけてください。

用紙の保管について

用紙は湿気の少ない場所に保管してく ださい。湿気を含んだ用紙は、紙詰まり や印刷品質の低下の原因になります。



印刷に適さない用紙について

次のような用紙は、紙詰まりなどの原因となりますので使用しないでください。

- 紙厚の薄い用紙(46g/m²(40kg 連量:四六判)未満)
- 紙厚の厚い用紙(210g/m²(180kg 連量:四六判)を 超えるもの)
- 感熱紙、表カーボン紙等、化学処理した用紙
- しわ、カール、折り曲がり、破損(破れ)などの激しい 用紙
- 表または裏がコーティングされている用紙
- 先端がギザギザになっている用紙
- アート紙
- 糊付け、穴あけがある用紙



印刷範囲について

最大印刷範囲

本機で印刷可能な範囲(最大印刷範囲)は次のとおり です。

MD6650/5650: 291mm × 413mm



MD5450: 251mm × 357mm





最大サイズ(320mm×432mm)の用紙、あるいは 長尺用紙(天地方向555mmまで)を使用したとき でも、上記の最大印刷範囲内に印刷されます。

プリントエリア(製版範囲)について

原稿のサイズにかかわらず、給紙台にセットした用紙 サイズで、プリントエリア(製版可能範囲)が決まりま す。プリントエリアは、印刷用紙サイズに対して、下図 の余白を除いた範囲です。原稿は、あらかじめこの余 白を考慮して作成してください。



※ この数字は、A3 サイズ以下(MD6650/5650)または B4 サ イズ以下(MD5450)の用紙をセットした場合の余白です。

A4(297mm × 210mm)サイズの印刷用紙(縦方向 セット)の場合、プリントエリアのサイズは290mm× 204mmになります。

パソコンから原稿データを送信して印刷する場合も プリントエリアは同様です。



周囲に余白のない原稿をプリントするときは、
 「周囲余白(縮小)」を利用すると便利です。

P.62「固定倍率の拡大/縮小 [固定変倍]
 [周囲余白]」

 印刷用紙のサイズに関係なく、最大印刷範囲で 製版することができます。

● P.84「フルサイズで製版する [フルサイズ 製版]」

本書では、原稿のセット位置(自動原稿送り装置の場合は原稿の給紙方向)の側を「天方向」と呼んでいます。

原稿台ガラス





自動原稿送り装置

原稿に関する注意

不適切な原稿の使用は、紙詰まりや印刷品質の低 下の原因になることがありますので注意してくだ さい。

原稿の余白について

原稿の天方向には、必ず 5mm 以上の余白を取ってください。

原稿と同じサイズの用紙に等倍で印刷するときには、 原稿の天地左右すべてに余白が必要です。

■ 等倍でのプリントの際に必要な余白



※寺悟/ 縮小/ 拡大に関係なく、大万回には 5mm 以上の 余白が必要です。

原稿台ガラスヘセットする場合

● 原稿サイズ



- 原稿面を下向きにしてセットします。
- 10kg 以上の重さの原稿は、使用できません。
- しわ、カール、折れ曲がりの激しい原稿は、よく伸ば して原稿台ガラスから浮かないようにセットして ください。浮いている部分が、黒くプリントされる ことがあります。
- インクや修正液を使用した原稿は、よく乾かしてからセットしてください。原稿台ガラスが汚れ、きれいに印刷できなくなります。

自動原稿送り装置(オプション)ヘセットする 場合

■ 自動原稿送り装置 AF-VI の場合

約50枚までの原稿を自動的に送ることができます。 原稿は、読み取り面を下向きにセットします。

● 原稿サイズ



- 原稿(用紙)の重さ
 50g/m² ~ 128g/m²
 (43kg 連量:四六判~ 110kg 連量:四六判)
- 原稿面を下向きにセットします。

■ RISO オートフィーダーDX-1 の場合

約50枚までの原稿を自動的に送ることができ、両面原稿の読み取りが可能です。また、原稿の読み取り面(オモテ面/ウラ面)を指定することができます。

● P.153「自動原稿送り装置への原稿の セット方法 を選択する [AF 読取面指定]」

● 原稿サイズ



- 原稿(用紙)の重さ
 [AF 読取面指定]の設定により異なります。
 ● P.153
 [オモテ面→片面]の場合
 40g/m² ~ 128g/m²
 (35kg 連量:四六判~ 110kg 連量:四六判)
 [ウラ面→片面]、[両面→片面]の場合
 52g/m² ~ 105g/m²
 (45kg 連量:四六判~ 90kg 連量:四六判)
- 以下は、各自動原稿送り装置に共通の注意事項です。
- サイズの異なる原稿を混ぜてセットしないでください。
- 一度にセットできる原稿は約 50 枚までです。 (80g/m²(69kg 連量:四六判)以下の原稿使用時)
- 次の原稿は自動原稿送り装置では使用できません。
 原稿台ガラスにセットしてください。
 - 切り張りされたもの
 - しわ、カール、折れ曲がりが激しいもの
 - 糊付け、穴あけがあるもの
 - 破れていたり、先端がギザギザなもの
 - 感熱紙、カーボン紙等化学処理されたもの
 - OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透視 度が高いもの
 - 修正液、糊などを使用しているもの
 - 紙厚の薄い原稿(50g/m² 未満)
 - 紙厚の厚い原稿(128g/m²を超えるもの)
 - アート紙、コート紙などの表面が滑りやすいもの
 - 2枚以上重ねたもの、またはクリップやステープ ラーでとじてあるもの
 - キャリアシート(別売)

印刷に関する注意

個人が利用する場合でも、自由に何でも複写してよい というわけではありません。 特に、単にその印刷物を所有しているだけでも、法律 的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご 注意ください。

法律で印刷を禁止されているもの

次の文書は、法律で印刷を禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債 証券(たとえ「見本」の印があっても複写することは 禁じられています)
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用郵便切手、郵便はがきの類で、政府の模造許 可をとっていない場合
- 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙 類



- 通貨及ビ証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、 偽造変造及ビ模造二関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法



営利目的での印刷を禁止されているもの

次のような複写は、おやめください。

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複写
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の 免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切 符類の複写
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写(個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています)



各部の名称とはたらき

給紙側



排紙側



19

操作パネル

操作パネルは、<スタート>キーや<ストップ>キーなどの実装キー、および各種のメッセージや機能ボタンなど を表示する大型ディスプレイで構成されています。 ここでは各実装キーの名称とはたらき、ディスプレイ各部の名称について説明しています。



■ 操作パネル右側部分









- 認証画面について ―――

本機では、認証機能を設定することができます。 (● P.163「初期設定を変更する [環境設定]」)認 証が設定されている場合は、下の画面が表示され ます。この画面が表示されたら、暗証番号を入力す るか、認証用の USB メモリを挿入してください。 暗証番号および認証用 USB メモリについては、管 理者に確認してください。

暗証番号入力

| 暗証番号を入力してください <u>頃</u> 宝 | |
|---------------------------------|--|
| 認証用 USB メモリ挿入 | |
| 認証用USBメモリを 挿入してください | |

モードについて

プリントモード

2 色プリントか1 色プリントかを選択します。



■ 動作の選択

プリントの種類を選択した後に表示される[動作選 択]画面では、本機の動作(これから行う作業)を選択 します。



スキャンモード

原稿台にセットした原稿を読み取り、ホールド(保存) します。

このモードは、「メモリーカード DM128CF」(MD5650/ 5450 はオプション)を取り付けている場合に選ぶことが できます。

ホールドしたデータは、デジタイザ機能(MD5650/ 5450 はオプション)を利用して編集することもでき ます。

スキャンモードの詳細は、P.184「紙原稿をデータ保存 する [スキャンモード]」をご覧ください。

RLP モード

原稿台にセットした原稿を読み取り、本機に接続した 連携機 Prioa(別売)で出力します。この工程を「RLP (RISO Local Print)出力」といいます。

少部数のプリントを行うときは、本機で製版・印刷するよりも RLP 出力した方が経済的です。

RLPモードの詳細は、P.205「連携機 Prioa(別売)を接続して使う」をご覧ください。





基本画面の見かた

基本画面の各エリアの名称とはたらきを説明します。基本画面は、本機に原稿をセットしてプリントする場合と、 パソコンからの原稿データを受信してプリントする場合で、表示が異なります。

紙原稿をプリントする場合



ディスプレイ上のボタンについて

ディスプレイ上のボタンは、軽く指で触れる(タッチする)ことにより選択されます。

再度触れると選択が解除されます。

ボタンは決して強く押さないでください。

 選択されていない状態。
 変更を上書
 グレー表示されているときは、選択できません。

 意文字

 選択されている状態。

 五下に + 表示があるボタンは、選択すると画面を展開したり、
 各種設定画面を表示します。

その他の画面については該当する機能や設定項目のページを参照してください。

パソコンの原稿データをプリントする場合







プリントには以下の2つの工程があります。 製版:印刷のもととなるマスターを「製版」する(製版モード) 印刷:マスターを使って実際に「印刷」する(印刷モード) 「製版」と「印刷」の2つの工程を合わせて「プリント」と呼びます。







1 色プリントは、ドラム 1、ドラム 2 のどちらでも行うことができますが、基本的にはドラム 1 でのプリントをお勧めし ます。





- 34 プリント前の準備
- 37 原稿をセットする
- 39 紙原稿をプリントする
- 48 パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント] [USB メモリ]

プリント前の準備

ります。 P.14「印刷用紙に関する注意」

プリントを行う前に、給紙台、排紙台などをセットして、本機を使用可能な状態にします。

不適切な用紙を使用したり、サイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙詰まりや故障の原因にな

重要

基本操作

給紙フェンスは必ず、用紙にぴったりとあててく 重要 給紙台と用紙のセット ださい。 給紙フェンスの位置が合っていないと、正常に動 本機の電源を「ON」にする 作しないことがあります。 不定形(A、B 系列以外)の用紙を使う場合は、あら 参考 かじめ登録が必要です。 ● P.175「不定形サイズを登録する [用紙サイズ 登録]| 登録しないで使用すると、原稿が全面製版できな 電源 ON いことがあります。 C 給紙圧を調節する Δ 2 給紙台を開く ▲給紙圧 理想用紙やザラ紙、 画用紙などの厚紙や 上質紙などを使用 滑りやすい用紙を するとき 使用するとき 給紙台を手前に引き、止まるまで開きます。 (標準/薄紙) (厚紙/特殊) 給紙圧の設定状態は、基本画面の<用紙ボタン> 参考 用紙をセットする の上に表示されます。 1 印刷する方向に用紙を置く 5 基本画面を確認する 2 給紙フェンスをスライドさせて用紙にぴった りと合わせ、ロックレバーを回して固定する ● モードを選ぶ ゆ 動作選択画面で<製版ボタン>にタッチする (日白)フリー -フェンスを スライドするとき 動作選択 閉じる どちらをおこないますか? 印刷 版 ロック フェンスを固定するとき
参考

用紙サイズはオート検知しています。定形用紙を セットしているのにサイズ表示が「不定形」になっ ている場合は、給紙フェンスが用紙にぴったり 合っていません。 給紙フェンスは、用紙にぴったりと合わせてくだ さい。

用紙の補給と載せ換え —

印刷の途中で用紙を補給したり、別のサイズの用 紙に載せ換えるときは、給紙台上下ボタンを押し て、給紙台を下げてから行います。



ボタンを押し続けると、指を離した位置で給紙台 が止まります。

用紙がなくなったときや用紙をすべて取り除いたときは、給紙台が自動的に最下部まで下がります。



 別のサイズの用紙に載せ換えるときは、用 紙サイズに合わせて排紙フェンスやストッ パーもセットしなおしてください。

紙質の異なる用紙に載せ換えるときは、給
 紙圧調節レバーを切り替えてください。

- 給紙台の閉じかた —

給紙台を閉じるときは、用紙を取り除いてくだ さい。



排紙台のセット



 排紙フェンスの下部を持って、用紙の幅に合わ せて、排紙フェンスをスライドさせる





画用紙などの厚紙を使用するときは、排紙フェン スを実際の用紙の幅より少し広めにセットしてく ださい。

- ストッパーをセットする
- ストッパーを立てる





プリント前の準備

4

紙揃えプレートを調節する

用紙サイズやコシの強さなどによって、揃う 状態が異なるので、プリントされた用紙が揃う ように紙揃えプレートを調節します。 紙揃えプレートを出すときは紙揃えプレート ノブを押し、たたむときは上に引きます。



通常の印刷の場合:

紙揃えプレートノブを押し、4 つの紙揃えプ レートをすべて出します。



印刷部分が片寄っている場合: ベタ面の多い側の紙揃えプレートノブを押し て、紙揃えプレートを出します。



厚い用紙に印刷する場合: 本体に近い側のみ、左右の紙揃えプレートを出 します。



排紙台の閉じかた __ 排紙台を閉じるときは、印刷物を取り除き、以下 の手順で閉じてください。 ● ストッパーを排紙台の端まで広げる 2 内側に倒す 3 紙揃えプレートをたたみ、排紙フェンスを 左右いっぱいに広げる ④ 内側に倒す 5 排紙台を閉じる

基本操作

原稿をセットする

原稿台ガラスにセットする

原稿台ガラスに、原稿をセンター合わせで下向きに セットし、原稿台カバーを閉めてください。 本や雑誌、切り貼り原稿などは、原稿台ガラスにセッ トしてください。





ゲージシートが装着されている場合は、その下に 原稿をセットしてください。



原稿送り装置(オプション)にセットする

複数枚の原稿を連続してプリントするときは、自動原 稿送り装置を使用します。

原稿を、先に読み込む方が上になるように重ねます (ドラム 1、2 用の原稿を重ねる場合は、ドラム 1 用の 原稿を上にします)。その後、原稿セットフェンスを原 稿の幅に合わせて、先端を自動原稿送り装置の奥に当 たるまで差し込みます。



 原稿サイズが自動原稿送り装置にセットできる サイズより小さいときは、原稿台ガラスにセッ トしてください。

自動原稿送り装置には不適切な原稿を使用したり、サイズの異なる原稿を混ぜてセットしたりしないでください。
 紙詰まりや故障の原因になります。
 P.153「自動原稿送り装置への原稿のセット方法を選択する[AF読取面指定]」

- 原稿を2枚一度にセットしてプリントする場合は、ドラムごとにプリント機能の設定を変更することはできません。
- 自動原稿送り装置に原稿をセットすると「連続」[※] が「ON」になります。「連続」を「OFF」にする場合 は<連続>キーを押してランプを消してください。

※「環境設定」で自動原稿送り装置装備時の「連続」の設定 を変更することができます。

 P.65「続けてプリントする [連続]」、P.164「初期 設定を変更する [環境設定] / OP 連続自動設定」

- ・ 自動原稿送り装置には、一度に約 50 枚までの原稿をセットできます(80g/m²(69kg 連量:四六判)の原稿使用時)。
 - 「AF オート製版」を設定すると試し刷りで製版状態を確認できます。

 P.152「試し刷りを確認しながらプリント

する [AF オート製版]」

■ 自動原稿送り装置 AF-VI にセットする場合



原稿を下向きにセットします。



セットできる原稿サイズは、100mm × 148mm 以上です。

■ RISO オートフィーダーDX-1 にセットす る場合



原稿を上向きにセットします。

原稿を読み取る面を指定できます。設定の詳細については、P.153「自動原稿送り装置への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]」を参照してください。



セットできる原稿サイズは、105mm × 128mm 以上です。

原稿をセットする



紙原稿をプリントする

2枚の原稿で2色プリントする

ここでは、原稿を色別(ドラム1用とドラム2用)に読み取って、2色プリントする操作手順を説明します。

ドラム1用原稿



ドラム2用原稿



参考

182mm × 257mm(B5 サイズ)以上の印刷用紙 を使用してください。

- 1 枚の原稿を2 色に分版して2 色プリントをしたい場合は、P.85 を参照してください。
 - 連携機 Prioa(別売)を接続して「自動振分」機能 をお使いになる場合は、P.206をご覧ください。

本機の電源が「ON」であることを確認する

操作パネルを見て確認します。

参考

2

- ディスプレイも<ウェイクアップ>キーも消灯 しているときは、電源が「OFF」になっています。
 電源を「ON」にしてください。
 P.34「給紙台と用紙のセット」
- <ウェイクアップ>キーが点灯しているときは、
 本機がスリープ状態です。<ウェイクアップ>
 キーを押して、スリープを解除してください。

印刷用紙を確認する

使用する用紙がセットされていることを確認 します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ 換える場合は、以下のページを参照して用紙を セットしてください。

☞ P.34「給紙台と用紙のセット」 用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス/ ストッパーの位置を調整してください。

♥ P.35「排紙台のセット」

ディスプレイを確認する

3

■ 認証画面が表示されている場合

表示されている画面に従って、認証操作を行っ てください。認証操作の詳細については、 ● P.47「認証画面での操作について」を参照 してください。

認証されると、初期画面が表示されます。

■初期画面が表示されている場合 手順4へ進みます。 初期画面は、「環境設定」の「初期画面設定」により異なります。







2 色プリント以外の基本画面が表示されている場合は、<モード>キーを押してモード選択画面を 表示させてください。

紙原稿をプリントする



<スタート>キーを押す

g

ドラム1用の原稿の読み取りを開始します。 読み取りが終わると、ドラム1の製版が行われ、 ドラム1のみの試し刷りが1枚出てきます。続 いて、ドラム2のための製版基本画面が表示されます。



- ・ 手順6で、自動原稿送り装置に2枚一度に原稿を セットした場合は、ドラム1のみ試し刷りが1枚 印刷され、続けてドラム2の製版を行います。手 順13に進んでください。
 - 「オートアイドリング」の設定を変更できます。
 P.46「オートアイドリングについて」
 - 「連続」を設定している場合は、手順が異なります。
 P.65「続けてプリントする [連続]」

1 ドラム2用の原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプ ション)に原稿をセットします。 原稿のセットについては、P.37「原稿をセットす る」をご覧ください。

11 ドラム2用の原稿に対して、各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて、ドラム 2 用の原稿に対する各種 機能を設定することができます。 設定を行わない場合は、1 枚目の原稿と同じ設 定が適用されます。

ドラム2用の原稿に対しては以下の設定が可能です。

- 原稿モード(P.58)
- 読取濃度(P.60)
- 変倍(P.61)

参考

- 網点(P.66)
- コントラスト強調(P.67)
- トーンカーブ選択(P.68)
 レイアウト原稿(P.82)
- レイアワト原稿(P.8)
 とじしろ(P.83)

> ドラム2用の原稿の読み取りを開始します。 読み取りが終わると、ドラム2の製版が行われ、 2色刷りされた試し刷りが1枚出てきます。

13 試し刷りを確認する

スター

試し刷りが印刷されると、自動的に印刷基本画 面が表示されます。



仕上がりの印刷位置や濃度などを確認し、必要 に応じて調整します。

- •印刷位置(P.101)
- •印刷濃度(P.100)

調節(調整)が終わったら、<試し刷り>キーを 押して、試し刷りを確認してください。



長時間使用しないとドラム上のインクが乾き、プ リントしたときに、印刷物がかすれたり薄くなっ たりすることがあります。<試し刷り>キーを押 して、何枚か試し刷りをしてください。



印刷位置や印刷濃度、印刷速度は、印刷している最 中でも調整できます。



、入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。



枚数の入力をまちがえたときは、<C>キーを押し て消去した後に入力しなおしてください。

紙原稿をプリントする

15 <スタート>キーを押す

入力した枚数が印刷されます。

- ・印刷を途中で停止させたいときは、<ストップ
 >キーを押してください。
 - パソコンと接続した環境でご使用の場合、印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。この割り込みを防止する設定(占有延長)があります。チラシの印刷などで割り込まれたくない場合などは、「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。

● P.145「割り込み印刷を防止する [占有延長]」

 現在の設定をメモリーに登録しておくと、<リ セット>キーを押したり、電源を切って設定が 初期化されたりしても、メモリーを呼び出すこ とにより同様の設定でプリントができます。
 P.139「メモリー機能を使う「メモリー]|

16印刷終了後、<リセット>キーを押す

設定を初期値に戻します。

● 印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。
 第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。
 ● P.144「機密書類の複製を防止する [機密]」

 <リセット>キーを押さなかった場合でも、一定の時間(工場出荷時設定5分)が経過すると、自動的に設定はリセットされます。
 P.166「初期設定を変更する[環境設定]/ オートクリア設定]

7印刷された用紙を取り出す

排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。



1 色プリントする

ここでは、ドラム1またはドラム2のどちらか1つを 使用して、1色プリントする操作手順を説明します。





1 色プリントは、ドラム 1、ドラム 2 のどちらでも 行うことができますが、基本的にはドラム1でのプ リントをお勧めします。

本機の電源が「ON」であることを確認する

操作パネルを見て確認します。

 ・ディスプレイも<ウェイクアップ>キーも消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。
 電源を「ON」にしてください。
 ● P.34「給紙台と用紙のセット」

<ウェイクアップ>キーが点灯しているときは、本機がスリープ状態です。<ウェイクアップ>キーを押して、スリープを解除してください。

2 印刷用紙を確認する



使用する用紙がセットされていることを確認 します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ 換える場合は、以下のページを参照して用紙を セットしてください。

▼ P.34「給紙台と用紙のセット」
 用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス
 /ストッパーの位置を調整してください。
 ▼ P.35「排紙台のセット」

3

ディスプレイを確認する

■ 認証画面が表示されている場合

表示されている画面に従って、認証操作を行っ てください。認証操作の詳細については、 ● P.47「認証画面での操作について」を参照 してください。 認証されると、初期画面が表示されます。

■ 初期画面が表示されている場合

手順4へ進みます。 初期画面は、「環境設定」の「初期画面設定」によ り異なります。

4 モード選択画面で、使用するドラムのボタンにタッチする



- 参考

 ・ ①のボタンはドラム1を使った1色プリント、

 ②のボタンはドラム2を使った1色プリントに
 なります。
 - この画面には、現在セットされているドラムの色 が表示されています。
 - 1色プリント以外の基本画面が表示されている場合は、<モード>キーを押してモード選択画面を表示させてください。
 - ここでは、ドラム1を使った場合で説明します。
 ドラム2を使う場合は、P.45「ドラム2で1色プリントする」をご覧ください。

5 動作選択画面で<製版ボタン>にタッチ する





製版基本画面が表示されます。



6

 ステータスエリアに「展開中」と表示されている ときは、パソコンから送信された原稿データを 処理中です。しばらくお待ちください。

• RLP 基本画面が表示されているときは、<製版 >キーを押して製版基本画面に切り替えてくだ さい。

原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプ ション)に原稿をセットします。

原稿のセットについては、 ● P.37「原稿をセットする」をご覧ください。

紙原稿をプリントする



12 <スタート>キーを押す

入力した枚数が印刷されます。

- ・印刷を途中で停止させたいときは、<ストップ>
 キーを押してください。
 - パソコンと接続した環境でご使用の場合、印刷の 途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。その際に、他の人が パソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が 行われてしまいます。この割り込みを防止する設定 に有延長)があります。チラシの印刷などで割り込まれたくない場合などは、「占有延長」を設定してきる。

● P.145「割り込み印刷を防止する [占有延長]」

 現在の設定をメモリーに登録しておくと、 <リ セット>キーを押したり、電源を切って設定が 初期化されたりしても、メモリーを呼び出すこ とにより同様の設定でプリントができます。
 P.139「メモリー機能を使う「メモリー]|

13印刷終了後、<リセット>キーを押す

設定を初期値に戻します。

- ・印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。
 第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。
 - P.144「機密書類の複製を防止する [機密]」
 - <リセット>キーを押さなかった場合でも、一定の時間(工場出荷時設定5分)が経過すると、自動的に設定はリセットされます。
 - ☞ P.166「初期設定を変更する [環境設定]/ オートクリア設定」

印刷された用紙を取り出す

排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出しま す。



ドラム2で1色プリントする --

1 色プリントはドラム 1 側で行うことを推奨して いますが、ドラム2側で行うこともできます。ただ し、ドラム 1 側で行うときとは用紙サイズや本機 の動作が異なります。

■ ドラム1を取り出して、ドラム2だけを使う場合

以下のサイズの印刷用紙を使用してください。 ・給(排)紙方向長さが、257mm以上の用紙

- ハイスピード機能使用時は、給(排)紙方向長さ が、364mm(B4 縦サイズ相当)~432mm(A3 縦サイズ相当)までの用紙
- ドラム1をセットしたまま、ドラム2だけ を使う場合

用紙サイズは、上記と同じです。

- ・製版時に、ドラム1が自動的に「機密状態」になり ます(現在ドラムに巻き付いているマスターを廃 棄して、無製版のマスターを巻き付けます)。
- 印刷時に、ドラム1に機密状態でないマスターが セットされていると、警告メッセージが表示され ます。画面の指示に従って対処してください。

紙原稿をプリントする



- オートアイドリングについて —

「オートアイドリング」を「有効」に設定している と、製版する前にアイドリング動作を行う場合が あります。

工場出荷時には、前回の使用から12時間以上経過 すると、次の製版時に自動でアイドリングを行う ように設定してあります(オートアイドリング)。

「環境設定」で「オートアイドリング」の「有効/無効」や、実行までの時間などを変更できます。 ● P.167「初期設定を変更する [環境設定]/ オートアイドリング」 製版前、任意のタイミングでアイドリングを行う ことも可能です。 ● P.146「アイドリングをする [アイドリング]」

認証画面での操作について ____ 管理者によって認証機能が設定されていると、本機の操作時に認証を求められる場合があります。 認証画面では、設定されている認証方式(暗証番号または USB メモリ)に従って、認証操作を行ってください。 認証用の「暗証番号」や「USBメモリ」については、管理者に確認してください。 参考 ■ 暗証番号入力画面が表示された場合 テンキーで暗証番号を入力し、<確定ボタン> にタッチします。 暗証番号を入力してください 確定 誤った暗証番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。 参考 正しい暗証番号を入力しなおしてください。 ■ USB メモリ挿入画面が表示された場合 USB スロットに、認証用として登録されている USB メモリを挿入します。 認証用USBメモリを 挿入してください 1 「USB メモリ」での認証画面で、認証用として登録されていない USB メモリや、本機で使用できない USB メモリ 参老 を挿入すると、エラーメッセージが表示されます。登録済みの認証用 USB メモリを挿入してください。 認証されると、初期画面が表示されます。 操作を終了したら<ウェイクアップ>キーを押して、認証を解除(ログアウト)してください。(解除を忘れた場合は、 重要 オートクリアと同時に認証も解除されます。 P.166「初期設定を変更する [環境設定]/オートクリア設定」) 認証されていない第三者による使用を防ぐために、使用後は認証状態を解除しておくことをおすすめします。

パソコンデータをプリントする

[ダイレクトプリント][USB メモリ]

パソコンと本機をケーブルで接続し、パソコンで作成した原稿データを、直接本機でプリントすることがで きます。

原稿データを直接デジタル処理するので、プリントの什上がりが鮮明です。

パソコンと本機がケーブルで接続されていない場合でも、「USB メモリ」を使用することで、本機に直接デー タを持っていくことができます。

- プリントする前に、パソコンに専用のプリンタドライバをインストールしてください。 参考
 - パソコン画面での印刷の設定については、ここでは基本的な設定のみ説明しています。
 - インストール方法、原稿データの送信方法および各種設定については、「リソープリンタドライバ取扱説明書」 をご覧ください。

✓ プロパティ(P)

ブリンタの検索(D).

□ ファイルへ出力(L)

_____ ___ 手差し両面印刷(<u>X</u>)

□部単位で印刷(工

-

Ţ.

•

-

標準に戻す キャンセル

\$

ı



基本操作

印刷ダイアログボックスの[**OK**]ボタン をクリックする

Δ

5



パソコンから原稿データが送信されます。 本機がデータを受信するとプリンタドライバ の設定内容で、自動的にプリントを開始しま す。

連続モード[ON]でプリントするときは手順 6 に進んでください。

操作パネルでプリント操作をする

プリンタドライバの連続モードの設定(メイン 設定タブ)により、表示されている画面や操作 手順が異なります。

■ 製版前ストップでのプリント

ご使用方法や環境設定の内容によっては、手順 ②の製版基本画面で本機が停止していること があります。その場合は、<スタート>キーを 押してください。

●<出力待ちボタン>にタッチする



[受信ジョブ] 画面が表示されます。

2<出力ボタン>にタッチする

認証プリントを行う場合は、<認証ジョブ ボタン>にタッチしてください。

● P.50「認証プリントについて」





3<スタート>キーを押す 製版後、引き続き印刷を開始します。

■ 印刷前ストップでのプリント

データを受信して製版し、試し刷りを出して停 止しています。

●試し刷りの内容を確認し、必要があれば設定 を調整する

2<スタート>キーを押す 印刷を開始します。

■ 製版前・印刷前ストップでのプリント

- 「製版前ストップでのプリント」の手順1~
 3を行う
 製版して試し刷りを出して停止します。
- 2試し刷りの内容を確認し、必要があれば設定 を調整する
- 3<スタート>キーを押す 印刷を開始します。

参考

- 原稿データが複数ページあるときは、ページごとに同じ手順をくりかえしてください。
 - テンキーで印刷枚数を入力すると、プリンタド ライバで設定した印刷枚数は無効になります。

パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント][USB メモリ]



受信ジョブ画面について

| 力待ち] | オーナー | 枚数 F | Page | |
|----------------------------------|--------------|-----------|--------|------------|
| 動申請書定形.doc | RISO | 100 | 10 | |
| 削除 | | 出 | ħ. | |
| | | | | |
| 開待ち] 】願届書.doc | RISO | 200 | 1 | \bigcirc |
| 開待ち] 1 願届書.doc 2 稟議書.doc | RISO | 200 50 | 1 | |
| 開待ち] 21 願届書.doc 21 稟議書.doc | RISO RISO | 200 50 | 1 2 | |

データ受信後、基本画面で<出力待ちボタン>に タッチすると「受信ジョブ] 画面が開き、現在受信 しているジョブが確認できます。[受信ジョブ]画 面では、出力待ちジョブの出力や、[出力待ち/展 開中/展開待ち]のジョブの削除をすることがで

認証プリントについて

プリンタドライバから「認証プリント」として送 られたデータは、[認証ジョブ] 画面から呼び出し てプリントします。<認証ジョブボタン>にタッ チすると認証画面が表示されるので、画面の指示 に従って認証操作を行ってください。 認証画面の表示タイミングは、管理者が設定した

● P.115 ■ 認証方式 |





パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント][USB メモリ]

6 プリントする原稿データが保存されている USB メモリを USB スロットに挿入する



USBメモリを「認証用」としてではなく、データ 出力用としてのみ使用している場合は、手順9 に進んでください。



USBメモリは、プリントが終了するまで抜かないで ください。 途中で抜くと、データや設定内容の消失、または USBメモリの故障の原因になります。

参考 プリンタドライバの出力方法(メインタブ)で「USB メモリ出力(自動製版)」に設定した場合は、USB メモ リを挿入すると、連続モードの設定内容で製版・印刷 を開始します。設定方法については、「リソープリンタ ドライバ取扱説明書」をご覧ください。





< USB メモリボタン>にタッチする



[USBデータ選択]画面(認証なし)が表示されま す。(画面に<認証ありボタン>が表示されてい ます。)



9 プリントする USB メモリデータにタッ チする

[USB データ呼出]画面が表示されます。 別のフォルダに保存されているデータを選ぶ 場合は、フォルダのタブにタッチします。

- 参考 認証設定されているデータを呼び出す場合は、 <認証ありボタン>にタッチします。
 - 認証設定で「認証有無」が「認証なし」に設定され ている場合、<認証ありボタン>は表示されま せん。
 - USBメモリデータが画面に表示しきれない場合は、<▲ボタン> <▼ボタン>にタッチして表示させてください。

┃ ● 呼び出す USB メモリデータを確認する

サムネイルで呼び出したいデータかどうかを 確認します。



[USBデータ呼出] 画面では、USBメモリデータの確認や出力設定を行うことができます。 操作については、P.192「「ホールドデータ呼出] 画面/[USB データ呼出] 画面の使いかた」を参照してください。

<呼出ボタン>にタッチする

USBメモリデータが呼び出され、保存データ用 の製版基本画面が表示されます。



製版基本画面で、出力指示を変更したり、停止タイ 参考 ミングの変更ができます。詳しくは、P.53「出力指 示の変更」、P.55「本機での停止タイミングの変更」 を参照してください。

7 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されま す。

3 <スタート>キーを押す

データがプリントされます。 以降は、通常の製版・印刷工程と同様の操作を 行ってください。

出力指示の変更

製版/印刷基本画面で出力指示を変更することがで きます。



イメージを確認できます。

参考

「プレビュー表示」では、受信した原稿全体を製版 イメージとして表示しますが、実際の印刷では、プ リントエリア以外の部分は印刷できません。

- [次ページ]......現在指示待ちのページの処理 をキャンセルし、次のページ の処理を開始します。受信し た原稿データに不要なページ があり、そのページの処理を キャンセルするときに使用し ます。
- [ジョブ削除].....現在指示待ちの原稿データ全 体を削除します。まちがって 送信した原稿データや、指示 待ちで止まってしまっている 原稿データを削除するときに 使用します。



製版/印刷動作中には、<次ページボタン>や< ジョブ削除ボタン>は選択できません。 製版/印刷動作中に指示を変更するときは、<ス トップ>キーを押してください。 (製版処理中は製版終了後に動作を停止します。印 刷処理中は印刷を中止し、動作を停止します。)



指示待ち(製版できます/印刷できます)画面の状 態で、くリセット>キーまたはくモード>キーを 押して、<確認ボタン>にタッチしてからもジョ ブは削除できます。

パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント][USB メモリ]







現在の原稿データを削除します。

処理待ちの原稿データがあるときは、処理を開 始します。



基本操作

製版するときに設定する機能

| 58 | 原稿に適したモードを選択する [原稿モード] |
|----|--------------------------------------|
| 60 | 原稿の読取濃度を選択する [読取濃度] |
| 61 | 原稿を拡大/縮小する [固定変倍][独立変倍][ズーム変倍][周囲余白] |
| 64 | 不定形用紙に印刷する [用紙サイズ] |
| 65 | 続けてプリントする [連続] |
| 66 | 写真に網点をかける [網点] |
| 67 | 写真の明暗を調節する [コントラスト強調] |
| 68 | 写真の階調を調節する [トーンカーブ選択] |
| 69 | インクを節約する [省インク] |
| 70 | 1 枚の用紙に多面取りする [連写][かんたん連写] |
| 77 | 1 枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [N アップ] |
| 80 | 雑誌や本をプリントする [ブックモード] |
| 82 | 原稿のトンボをカットしてプリントする [レイアウト原稿] |
| 83 | 製版位置を調整する [とじしろ] |
| 84 | フルサイズで製版する [フルサイズ製版] |
| 85 | 1 枚の原稿で2色プリントする [かんたん分版] |
| 92 | 製版前に印刷イメージを確認する [プレビュー表示] |
| 94 | 片方のドラムのみ原稿を差し替える [シングル製版] |
| | |



[原稿モード]

文字のみ、または写真を含むものなど、モードを選択することで各種の原稿に 適した製版ができます。

参考

る

原稿(A4)

 ∰ ₹

 \hat{h}

1) 1) フラッ 2) レッド

(1<u>7</u>2)

賻

H,

ロレッド

🗐 文字

🔓 写真

園 えんぴつ

🚺 文字・写真

[写真].....写真原稿

2

「環境設定」で「原稿モード」の初期設定を変更できます。 ● P.163「初期設定を変更する [環境設定] / 原稿モード基本設定」

環境設定

用紙(標準)

크 A4

プレビュ 表示

製版基本画面で[原稿]ボタンにタッチす

 ①ドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください
 基本 お気に入り 機能一覧

読取濃度

オート

かんたん 分版 変倍

100%

かんたん 連写

□ READY ■READY 」 ● 情報

原稿の種類に適したモードを選択する

写真の種類

標 準

③ 顔写真
 圖 集合写真

[文字] ワープロ、新聞などの文字原稿

[文字・写真].......文字と写真が混在している原稿 [えんぴつ]......えんぴつ書きなどの薄い原稿

原稿モード 取消 確定

<写真ボタン>、<文字・写真ボタン>、<えん ぴつボタン>にタッチした場合は、さらに詳細 の設定を選びます。

_.....

| 医结束 1% | |
|-----------------|--------------------|
| 原稿モート (詳細設定) | 意味 |
| 写真 | |
| 標準 | [顔写真]や[集合写真]以外の写真 |
| | の場合に選択します。 |
| 顏写真 | 1人または2人のバストアップ写真 |
| | 向きの設定です。特に顔がきれいに |
| | 印刷できるように画像処理します。 |
| 集合写真 | 照明をあてて撮影した集合写真向 |
| | きの設定です。顔の目鼻が飛ばない |
| | ように画像処理するため、フラッ |
| | シュによって白飛びしている顔に |
| | も効果があります。 |
| | ただし、顔が暗い集合写真には向き |
| | ません。顔の暗い写真の場合は、[標 |
| | 準]にした方が効果的な場合もあり |
| | ます。 |
| 文字·写真 | |
| 文字優先 | 細かい文字を鮮明に印刷したい場 |
| | 合に選択します。 |
| 写真優先 | 写真をより鮮明に(明るく)印刷し |
| | たい場合に選択します。 |
| 下地カット | 下地色のある原稿の下地を消去し |
| | ます。 |
| | [下地カット]は、[文字優先][写真 |
| | 優先]とは別に選択できます。 |
| えんぴつ | |
| こいめ | 薄い原稿をはっきり印刷したい場 |
| | 合に選択します。 |
| うすめ | 切り貼りのあるえんぴつ原稿で、切 |
| | り貼りの影が出てしまう場合など |
| | に選択します。 |



文字のみの 原稿

3 <確定ボタン>にタッチする

指定した「原稿モード」に設定され、製版基本画 面に戻ります。

 選択する「原稿モード」により、設定できない機 能があります。

| | 文字 | 写真 | 文字·写真 | えんぴつ |
|---------------|----|----|-------|------|
| 網点 | × | 0 | 0 | Х |
| 読取濃度 (オート) | 0 | × | × | × |
| 読取濃度 (1~5) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| コントラスト 強調 | × | 0 | Х | × |
| トーンカーブ 選択 | × | 0 | 0 | 0 |

○:設定可 ×:設定不可

 「文字」モードの場合は、「読取濃度」を「オート」に 設定すると、下地の色は自動的に消去されます。
 ● P.60「原稿の読取濃度を選択する [読取濃度]」

参考

原稿の読取濃度を選択する

[読取濃度]

| 쁥 | 製版 | | | |
|----|--------|---------|-----|----|
| 1ے | | | | ٦, |
| | 搗 読 | ま 取湯 | 本農度 | |
| | | | | |

 原稿の地色や文字の濃淡などに合わせて、原稿の読取濃度を調節できます。 オートまたは、濃度(5 段階)を選択します。 オートでは、原稿の地色に合わせて、自動的に「読取濃度」を設定してプリントします。
 ◆

 </



指定したし読取濃度」に設定され、製版基本画 に戻ります。

原稿を拡大/縮小する

[固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]

原稿を拡大または縮小してプリントできます。 拡大/縮小の方法には、以下の5種類があります。

■ 固定変倍

A4 や B5 などの定形サイズの原稿を、他の定形サイズの印刷用紙に 拡大または縮小してプリントできます。

■ オート

給紙台にセットされている用紙に合わせて、自動的に拡大・縮小してプリントします。

■ 周囲余白

原稿全体を少し縮小してプリントします。 印刷物にとじ代をつけたいときや、プリントエリアの外まで文字や図などがある原稿をプリントするときに 使用します。 「環境設定」で縮小率を 90%~ 99%の間で変更することができます。

● P.165「初期設定を変更する [環境設定] / 周囲余白縮小率」



「周囲余白」は、「固定変倍」と併用できます。

■ 独立変倍

原稿の天地(上下)と左右を、任意の変倍率で別々に拡大または縮小してプリントします。 変倍率は、50% ~ 200% までの間で、1% きざみで指定できます。

■ ズーム変倍

任意の変倍率で拡大または縮小してプリントします。 変倍率は、50%~200%までの間で、1%きざみで指定できます。



 本機では、印刷物の紙詰まり(舞い上がり)や、裏移りを未然に防ぐために、用紙サイズいっぱいに印刷(縁なし 印刷)できないしくみになっています。特に天方向は必ず 5mm の余白が必要です。
 P.15「プリントエリ ア(製版範囲)について」
 原稿台ガラス(自動原稿送り装置も同様)の▲マーク側(天方向)5mmは、縮小・拡大にかかわらず読み取りま

原稿台ガラス(目動原稿送り装置も同様)の▲マーク側(大万向)5mmは、縮小・拡大にかかわらず読み取りません。



- 原稿の天方向 5mm に文字や画像がある場合、カットされた状態で印刷されますのでご注意ください。この 5mm は「フルサイズ製版」機能を使用した場合も、余白として残ります。
 P.84「フルサイズで製版する [フルサイズ製版]」
- 天方向に余白のない原稿は、「周囲余白」を設定しても、天方向 5mm の部分の原稿はカットされてしまいます。 5mm 程度ずらしてセットしてから縮小してください。



製版

基本変倍

原稿を拡大/縮小する [固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]

縦横比を変えた拡大/縮小 固定倍率の拡大/縮小 [固定変倍] [独立変倍] 【周囲余白】 製版基本画面で[変倍]ボタンにタッチする 製版基本画面で[変倍]ボタンにタッチす る ①2 0ドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください ①2 0ドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください 基本 お気に入り 機能一覧 環境設定 用紙(標準) 読取濃度 原稿(A4) 変倍 基本 お気に入り 機能一覧 環境設定 . 原稿(A4) 読取濃度 変倍 用紙(標進) . ₽ 크 B4 100% 100% 크 B4 プレビュ ガ かんたん 分版 MAZE° - N 表示 (1) ブラック ② レッド かんたん 分版 ガ プレビュ 表示 READY 日情報 1/17E° ~ N" ブラック
 レッド 2 指定する倍率のボタンにタッチする 2 <独立変倍ボタン>にタッチする 変倍 取消」確定」 原稿:A4 用紙:B4 推奨倍率:122% 現在の倍率:122% 周囲余白 変倍 取 消] 確 定] (× 94%) 原稿:A4 用紙:B4 推奨倍率:122% 周囲余白 61% A3→B5 122% A4→B4 現在の倍率:100% 100% $(\times 94\%)$ 71% B4→B5 A3→A4 オート 141% A4→A3 B5→B4 61% A3→B5 122% A4→B4 45→B5 100% 82% B4→A4 163% B5→A3 71% B4→B5 A3→A4 141% A4→A3 B5→B4 オート 独立変倍 87% A3→B4 A4→B5 主要しまた。対応 82% B4→A4 163% B5→A3 116% B4→A3 B5→A4 ズーム変倍 国一シハガキ 87% A3→B4 A4→B5 ふえーシン 打成 独立亦倍, 116% B4→A3 B5→A4 医一头穴疗率 ズー 倍率を等倍に戻すときは <100%ボタン>にタッチ します。 原稿の周囲に余白がない場合は、<周囲余白ボタン 3 <▲ボタン><▼ボタン>にタッチして >にタッチしてください。 天地または左右の倍率を指定する • 自動原稿送り装置(オプション)に、原稿をセット []P: 油] (酒 しているときは、[A4→ハガキ]は選択できません。 独立変倍 取消」確定」 **開始** 開始 [A4→ハガキ][B5→ハガキ][オート][ズーム変 通紙方向 倍] [独立変倍]を選択した場合は、[周囲余白]は * 左右変倍 100% ≻ 併用できません。 T (50-200) • 2色プリント時、またはドラム2での1色プリン 天地変倍 4 ト時は、[A4→ハガキ]と[B5→ハガキ]は選択で 100% į. ¥ きません。 (50-200) (テンキー入力も可能) ドラム1での1色プリント時のみ、[A4→ハガキ] (?.....)...e と [B5 →ハガキ] は選択できます。 倍率は、1% きざみで設定できます。 ●「固定変倍」と「周囲余白」を併用した場合、「現在 参考 倍率は、テンキーでも入力できます。 の倍率」には固定変倍率×周囲余白縮小率が表 参考 <C>キーを押すと等倍(100%)に戻ります。 示されます。 ● 原稿サイズが検知できなかった場合は、「----」と 表示されます。 <確定ボタン>にタッチする Δ 指定した倍率に設定され、製版基本画面に戻り 3 <確定ボタン>にタッチする ます。 指定した倍率に設定され、製版基本画面に戻り ます。



不定形用紙に印刷する



[用紙サイズ]

給紙台にセットした用紙が定形サイズの場合、自動でサイズを検知し、用紙に合わせた適正なサイズで製版を行います。不定形サイズの場合、自動でサイズ検知できないため、製版する前に印刷用紙のサイズを選択してください。



不定形サイズの用紙を使用するときは、あらかじめ「環境設定」で登録しておく 必要があります。登録せずに不定形用紙を使用すると、製版が正しく行われず、 原稿が欠けることがあります。 ● P.175「不定形サイズを登録する [用紙サイズ登録]」







この画面には、あらかじめ登録済みの不定形用紙 が表示されます。ここに表示されないサイズの用 紙を使う場合は、登録から行ってください。 ● P.175「不定形サイズを登録する [用紙サイズ 登録]]



定形サイズの用紙を使用するときは、<オートボ タン>にタッチしてください。

3 <確定ボタン>にタッチする

指定した用紙に設定され、製版基本画面に戻り ます。



[連続]



ONE

тоисн

製版から印刷までのプリント動作を、自動的に連続して行うことができます。 「連続」を設定しているときは、印刷枚数を入力した後に<スタートキー>を 押してください。

- → プリント終了後、印刷枚数は入力した枚数に復帰します。
 - •「環境設定」で本機の起動時やリセット時に「連続」が「ON」になるように設定できます。
 - P.164「初期設定を変更する [環境設定] / 連続基本設定」

<連続>キーを押す



連続ランプが点灯します。

- ●「連続」を解除するときは、再度<連続>キーを押してください。ランプが消灯します。
 - 初期設定では、自動原稿送り装置(オプション)に複数枚の原稿をセットして、[連続]を「ON」に設定すると、すべての 原稿が自動的にプリントされます。
 - 2 色プリント時に自動原稿送り装置(オプション)を使用する場合は、原稿のセット順序に注意してください。先に読み 取られる原稿がドラム 1 で製版されます。

| 写真に網点をかける ^[網点] | 製版 機能一覧 網 点 |
|---|----------------------|
| 写真原稿などに網点をかけることで、より鮮明なプリントができます。 網パターンは 4 種類から選択できます。 「原稿モード]が[文字]、[えんぴつ]に設定されているときは[網点]は できません。 | 設定 Photo Photo |
| 8 BRE-BEBER C< ARAMATAP>CAPAF Ja Image: Contract of the state of the s | |
| 表示 ジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジ | |

写真の明暗を調節する

[コントラスト強調]

if H

階調のはっきりしない写真原稿の場合、コントラストを強調することで、より 鮮明にプリントできます。 コントラストの強調は、2 種類から選択できます。



機能一覧画面で<コントラスト強調ボタ ン>にタッチする

| Ū2 | ○ドラム1の原稿をも スタートキーを押 | タットして してください |
|----|------------------------|-----------------|
| 基 | 本 お気に入り | 機能一覧 環境設定 |
| | プログラム | トーンカーブ選択 |
| | メモリー | 連写 |
| | 網点 | かんたん連写 |
| | <u>コントラスト強調</u> | Nアップ , |
| _ | P.1 | /5 |
| | $$ $$ | |



3

設定するコントラストのボタンにタッチ する



[うすめ] 濃い部分をより鮮明にしま す。写真全体が暗く、暗い被写 体がはっきりしない場合に設 定します。

<確定ボタン>にタッチする

指定した[コントラスト強調]に設定され、機能 一覧画面に戻ります。





写真の階調を調節する [トーンカーブ選択] ^{写真の明るい部分(ハイライト)の調子と暗い部分(シャドゥ)の調子を、それぞ れ3段階から選んで調節できます。}

機能一覧画面で<トーンカーブ選択ボタ

環境設定

- ブ選択

[原稿モード]が[文字]に設定されているときは[トーンカーブ選択]は設定で



製版

機能一覧 トーンカーブ選択

きません。

ン>にタッチする

プログラム

メモリー

● ひドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください
基本 お気に入り 機能一覧

網点 かん 辱 コントラスト強調 Nアップ Image: A start of the start P.1/5 \square 2 [ハイライト]または[シャドゥ]の調節ボ タンにタッチして、調節する トーンカーフ 選択 取消 確定 階調イメージ 0.8454h • ንቀኑ ' ゥ +1 +1 -1 [ハイライト]写真の光線を強く受けている 部分を調節します。 [シャドゥ]......写真の光線の弱い部分を調節 します。 < +1 ボタン>を選ぶとそれぞれが強調され、 <-1ボタン>を選ぶとそれぞれが弱まります。

3 <確定ボタン>にタッチする

指定したトーンカーブに設定され、機能一覧画 面に戻ります。

インクを節約する

[省インク]

重要

[省インク]を設定して製版すると、印刷するときに使用するインクの量が、通常 よりも少なくなるため、インクを節約して印刷できます。 インクの消耗量を抑える処理を行うため、印刷濃度は通常よりも薄くなります。

• 印刷時には設定できません。

- •「省インク」を設定しているときは、「読取濃度」および「印刷濃度」は設定できません。
 - P.60「原稿の読取濃度を選択する [読取濃度]」
 - P.100「印刷濃度を変える [印刷濃度調節]」
- 機能一覧画面で<省インクボタン>にタッチ





[省インク]が設定され、メッセージエリアに [▲省インク]アイコンが表示されます。



省インクは、製版時に有効な機能です。印刷時に設定(解除)を行っても、現在ドラムに巻きついているマスターには反映されません。 次回の製版時に設定(解除)されます。





1 枚の用紙に多面取りする

製版 機能一覧 連写

[連写] [かんたん連写]

1 枚の印刷用紙に複数の原稿を割り付けてプリントすることを「連写」といいます。 1枚の用紙に複数ページを割り付けて用紙を節約したい場合や、文集などの袋とじをするとき、伝言メモ用紙 をプリントするときなどに便利な機能です。 連写には「かんたん連写」と、複数の原稿の多面取りが可能な「連写」があります。

2 面取りで連写する場合は、「かんたん連写」を使うと便利です。 $A \rightarrow A A$



「連写」を行うときは定形用紙を使用してください。不定形用紙および「環境設定」でサイズ登録した用紙をセットしているときは、「連写」はできません。

■ かんたん連写

1枚の印刷用紙に2面取りします。

■ 連写

参考

[1 原稿連写]と[多原稿連写]では、それぞれ 2 面取り、4 面取り、8 面取り、16 面取りでプリントすることができます。

「かんたん連写」「連写」は、次の機能とは併用できません。

- 自動振分機能
- 自動 90 度回転
- レイアウト原稿
- ブックモード
- とじしろ
- 変倍([オート] [A4 →ハガキ] [B5 →ハガキ])
- スキャンモード時の原稿読み取りサイズ[オート]
- かんたん分版
- 省インク(「多原稿連写」で、原稿と原稿の間で「原稿モード」を変更する場合)
連写を使用するときの注意

「連写」をするときは、次の項目に注意してください。

■ 印刷用紙のセット方向

印刷用紙は、必ず右図の向きにセットしてください。



1 原稿時 \geq

Þ

多原稿時 Β

Β

≻

Þ

≻

Þ

■ 原稿のセット方向

面取りの数により、原稿のセット方向が異なります。 各面取りでのセット方向とプリント結果は、以下のようになります。

かんたん連写(2面のみ)



1枚の原稿を、1枚の印刷用紙に2面取りします(1原稿2面連写)。

連写

[1 原稿連写]および[多原稿連写]の場合:



1 枚の用紙に多面取りする [連写] [かんたん連写]



72

参考 「環境設定」で「連写待ち時間」の初期設定を変更できます。工場出荷時は 15 秒に設定されています。 ● P.166「初期設定を変更する [環境設定] / 連写待ち時間」

かんたん連写の操作のしかた

プリントモードを選ぶ

1 色プリントまたは 2 色プリントを選びます。 プリントモードの選びかたは、P.25「プリント モード」をご覧ください。



原稿、印刷用紙をセットする

• 原稿は必ず下図の方向にセットしてください。



• 印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い) にセットしてください。



参考

自動原稿送り装置(オプション)を使用すると、2原稿2面連写ができます。原稿を2枚重ねてセットしてください。

1原稿2面連写の場合は、原稿台ガラスにセットしてください。





各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定します。 以降は、通常の紙原稿の製版・印刷工程と同様 に操作してください。

原稿サイズと用紙サイズの組み合わせにより、 変倍率の設定が必要です。次の表を参考に設定 してください。

| 原稿印刷用紙 | A4 | B5 | A 5 | B 6 |
|-------------|------|------|------------|------------|
| A3 * | 100% | 116% | 141% | 163% |
| B4 | 87% | 100% | 123% | 142% |
| A4 | 71% | 82% | 100% | 116% |
| B5 | 61% | 71% | 87% | 100% |
| ※ MD5450 不可 | | | | |

| 原稿 | ^高 Δ6 | B |
|------|-----------------|---|
| 印刷用紙 | | |

| 印刷用紙 | A 6 | B7 | A7 | B8 |
|------|------------|------|------|------|
| A3 * | 200% | - | - | - |
| B4 | 173% | 200% | - | - |
| A4 | 138% | 163% | 200% | - |
| B5 | 122% | 141% | 173% | 200% |

※ MD5450 不可

4

5 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りが開始されます。

1 枚の用紙に多面取りする [連写] [かんたん連写]



9 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りが開始されます。 2 色プリントの場合は、続けてドラム 2 の原稿 をセットします。 以降は、通常の紙原稿の製版・印刷工程と同様

以降は、通常の私原情の要称・印刷工程と同様 に操作してください。



 「次の原稿をセットし、スタートを押してくださ いストップキーで中止します」のメッセージが 表示されたときは、次原稿待ちの状態です。次の 原稿をセットして、<スタート>キーを押して ください。連写を中止したい場合は、<ストップ >キーを押してください。

- 原稿台ガラスと自動原稿送り装置(オプション)の併用はできません。最初の原稿読み取りを原稿台ガラスで行ったときは、2枚目以降の原稿も原稿台ガラスにセットしてください。
- 原稿読み取りを自動原稿送り装置(オプション) で行い、「1 原稿連写」をする場合は、原稿を2回 セットする必要があります。
- ◆「多原稿連写」を行うとき、面取り可能な原稿枚 数より実際に読み取る原稿枚数が少なく、残り を空白でプリントしたい場合は、不足分の白紙 原稿を入れるか、次原稿待ちの状態で、<ストッ プ>キーを押してください。製版を開始します。
 ● P.71「連写を使用するときの注意」
 - •「連続」を設定しているときは、自動原稿送り装 置に原稿があれば続けてプリントします。
 - 一度確定した連写設定を解除したい場合は、手順3を行って面数を選択する画面を表示させます。< OFFボタン> にタッチして、<確定ボタン> にタッチしてください。



チケット連写の操作のしかた

[チケット連写]は、原稿の短辺サイズ(幅)を指定する だけで、面取り可能な数を自動的に割り出して、1枚の 印刷用紙にプリントします。

原稿の幅は、50mm~210mmの間で指定できます。 印刷用紙に面付けされる数は、「印刷用紙の長辺÷原稿の幅」で計算できます。 余りは余白になります。

例

原稿の幅 50mm 印刷用紙の長辺 297mm(A4 サイズ) 297 ÷ 50 = 5 余り 47 この場合、印刷用紙に 5 面取りでプリントされます。



プリントモードを選ぶ

1 色プリントまたは 2 色プリントを選びます。 プリントモードの選びかたは、P.25「プリント モード」をご覧ください。

原稿、印刷用紙をセットする

原稿台ガラスに上記の向きで原稿をセットします。

2 色プリント時は、ドラム 1 の原稿をセットします。

印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)に セットしてください。



3 機能一覧画面で<連写ボタン>にタッチ 1 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッ する チして、原稿の幅を指定する チケット連写 [取消][確定] (2) ロドラム1の原稿をセットして
スタートキーを押してください OFF ON 基本 お気に入り 機能一覧 環境設定 原稿の幅 プログラム トーンカーア選択 100 mm メモリー 逋 写 Α ¥ (50-210) (テンキー入力も可能) 28 ÷ かん 原稿を 右図の向きにセット してください コントデスト強調 A P.1/5 ► • 手順9(プリント機能を設定)で拡大/縮小を行う 4 使用する原稿サイズを選択する 場合は、次の点に注意してください。 いずれかの原稿のサイズボタンにタッチして、 拡大/縮小後のチケット幅を指定してください。 <次へボタン>にタッチしてください。(チ • 拡大を行う場合は、拡大後のサイズが、指定した 「原稿の幅」や印刷用紙の短辺からはみ出さない ケット連写の場合、どのサイズボタンを選択し ように注意してください。 ても、後の操作に影響はありません。) • 拡大を行う場合は、あらかじめ拡大後のサイズ に応じた印刷用紙をセットしてください。 原稿サイズ 取 消 ホペン 8 Α5 <確定ボタン>にタッチする A3 A4 🖞 Β4 B5 A5 🖞 [チケット連写]が設定され、機能一覧画面に戻 ۵4 B5 🖞 B6 ります。 -P.1/2 ► g 各種プリント機能の設定を行う [連写種類] 画面が表示されます。 必要に応じて各種機能を設定してください。 5 <チケットボタン>にタッチする 【 <スタート>キーを押す 原稿の読み取りを開始します。 閉じる 連写種類 2 2 色プリントの場合は、続けてドラム 2 の原稿 AA BA AAA をセットします。 以降は、通常の製版・印刷工程と同様の操作を 1 原稿 多原稿 チク ット 行ってください。 一度確定した連写設定を解除したい場合は、手順3 参考 を行って[チケット連写]画面を表示させます。< OFF ボタン>にタッチして、<確定ボタン>に タッチしてください。 6 < ON ボタン>にタッチする チケット連写 取消 確定 [取消][確定] チケット連写 ON OFI OFF μ^{μ} 原稿の幅 <u>____</u> ▲ A (50-210) (テンキー入力も可能) Α ¥ (テンキー入力も可能) (50 - 210)原稿を 右図の向きにセット してください A

1枚の用紙に連続した原稿を 割り付ける [Nアップ]



1 枚の用紙に連続する複数枚の原稿を割り付けることを「N アップ」と いいます。 用紙を節約したいときや、袋とじ文集を作成するときなどに便利です。



「Nアップ」は、「かんたん分版」、「自動90度回転」とは併用できません。

設定項目について

■ 原稿サイズ設定

使用する原稿のサイズを設定します。



重要

原稿サイズと印刷用紙サイズにより、変倍率が決定します。変倍率が適切でないときはエラーメッセージが表示 されます。サイズの異なる印刷用紙を使用するか、原稿のサイズを変えてください。

■ 面数

1枚の用紙に割り付ける原稿の枚数を設定します。

2面 4面 8面 16面

■ 原稿セット方向(記載の向き)

原稿のセット方向は、設定した面数により決まっています。原稿の記載がタッチパネル側から見てどの向き になるかを設定します。

左向き



■ 面付け順序

印刷された紙を、記載内容が読める向きにしたときに、どの順に面付けするかを設定します。 [例] 面数:8 面付け、原稿セット方向(記載の向き): 読める向き

左上から横へ





右上から下へ



左上から下へ

参考



1 5 3 2 8 6 4

[面数]、[原稿セット方向]の設定により、[面付け順序]の設定内容は異なります。

1 枚の用紙に連続した原稿を 割り付ける [N アップ]

プリントモードを選ぶ

1 色プリントまたは 2 色プリントを選びます。 プリントモードの選びかたは、P.25「プリント モード」をご覧ください。

2 原稿、印刷用紙をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプ ション)に原稿をセットします。

2 色プリント時は、ドラム 1 の原稿をセットします。

原稿のセットについては、P.37「原稿をセット する」をご覧ください。

• 原稿のセット方向に注意してください。

自動原稿送り装置を使用する場合、セットされた原稿は指定した面数分ずつ読み取られた後、自動的にドラム1→ドラム2の順に面付けされます。そのため、1つのドラム用に使用する原稿が面数より少ない場合(余白部分が生じる場合)、すべての原稿をセットしても正しく製版されません。

例えば、4 面付けの2 色プリントで、1 ページ目 から3ページ目をドラム1用の原稿、4ページ目 から6ページ目をドラム2用の原稿とし、4面目 が余白になるように読み取らせることはできま せん。

1 つのドラム用に使用する原稿が面数より少な い場合は、ドラム1用原稿とドラム2用原稿の間 に不足分の白紙原稿を入れるか、ドラムごとに 原稿をセットしてください。

印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)
 にセットしてください。

| | 非紙方向 |
|--|---------|
| | 孙小小八八八日 |

3 機能一覧画面で<Nアップボタン>に タッチする



使用する原稿サイズを選択する

原稿のサイズに一致するボタンにタッチして、 <次へボタン>にタッチしてください。



自動的に変倍率が設定され、[N アップ]画面が 表示されます。

5 設定する面数のボタンにタッチする

割り付ける面数のボタンにタッチして、<次へ ボタン>にタッチしてください。





4

原稿のセット方向が、指定した面数ごとに決めら れた方向になっているか確認してください。



6

[Nアップ]の設定を中止する場合は、<取消ボタン>にタッチしてください。

原稿の記載の向きを設定する

原稿の記載が、タッチパネル側から見てどの向きになっているかを[左向き][読める向き]から選択します。

| Nアップ | <戻 | <u>م</u> | 確定 |
|-----------------------------------|--------|----------|-----|
| 原稿セット方向 <u>左向</u> た 面付け!!!! | 読める向き | <u>م</u> | |
| 左上から横へ | 右上から横へ | | |
| 左上から下へ | 右上から下へ | ω | - |
| | | 4 | N₂, |

設定する面付け順のボタンにタッチする

<確定ボタン>にタッチする

「N アップ」が設定され、機能一覧画面に戻ります。

9 各種プリント機能の設定を行う 必要に応じて各種機能を設定してください。

10 <スタート>キーを押す 1ページ目の原稿の読み取りを開始します。

・ 手順2で、自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は、指定した面数分の原稿の読み取りが終わると、ドラム1のみの試し刷りが1枚印刷され、続けてドラム2の製版が行われます。

▲▲ すべての原稿を読み取り、製版する

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 を入れ替えて、手順9、10を繰り返します。 プリントモードにより、操作方法が異なります。

■1色プリントの場合

設定した面数まで、読み取りを繰り返します。 原稿が面数より少ない場合は、すべての原稿を 読み取った後、<読取終了ボタン>→<はいボ タン>の順にタッチします。読み取られなかっ た部分は余白になります。

原稿読み取りが終わると、製版が行われ、印刷 基本画面が表示されます。

■2色プリントの場合

ドラム1用の原稿について、設定した面数まで、 読み取りを繰り返します。

原稿が面数より少ない場合は、すべての原稿を 読み取った後、<読取終了ボタン>→<はいボ タン>の順にタッチします。読み取られなかっ た部分は余白になります。

引き続き、ドラム2用の原稿をセットし、手順9 ~11を繰り返してください。原稿読み取りが終 わると、ドラム1とドラム2の製版が行われ、印 刷基本画面が表示されます。

以降は、通常の製版、印刷工程と同様の操作を 行ってください。 • 原稿は、読み取られた順に面付けされます。

参考

 ・ 面数が設定されている状態からNアップ設定を 解除したい場合は、手順3を行ってNアップ画 面を表示させます。<OFFボタン>にタッチし て、<確定ボタン>にタッチしてください。







原稿のトンボをカットして 機能一覧 プリントする [レイアウト原稿] レイアウト原稿 原稿の先端(天)部分を0~99mmの間でカットして製版することができます。 トンボのある原稿をプリントする場合、[レイアウト原稿]を設定し、原稿のトン ボ内のサイズの印刷用紙を使用することで、トンボのない印刷物を作ることが できます。 「変倍」が設定されているときは、「レイアウト原稿」で設定した分をカットした状態から拡大/縮小します。 重要 •「オート変倍」は使用しないでください。 •「レイアウト原稿」は、「かんたん連写」「連写」とは併用できません。 [レイアウト原稿]は、2色プリント時にはドラム1用、ドラム2用のそれぞれの原稿に対して個別に設定する ことができます。 ドラムのセット状況(インク色)や印刷目的に応じて、両方の原稿に設定したり、片方の原稿のみにも設定が 可能です。 4 原稿台に原稿をセットする <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッ チして、カットする幅を指定する 原稿台ガラスに原稿をセットします。 原稿のセットについては、P.37「原稿をセット する」をご覧ください。 レイアウト原稿 取消」確定 原稿の先端(天)部分を 指定した分だけカットして 製版します all. 2 機能一覧画面で<レイアウト原稿ボタン OFF >にタッチする ∩ I mm ¥ (0-99) (1)2) ロドラム1の原稿をセットして フタートキーを押してください (テンキー入力も可能) 本 お気に入り 機能一覧 環境設定 0~99mmの間で設定できます。 ブックモード 占有延長 <u>.</u> <u>برا محم</u> <u>محم</u> ト原稿 AFオート製版 テンキーでも入力できます。 参考 プレビュー表示 the Meeting フルサ 坝版 • P.2/5 5 <確定ボタン>にタッチする [レイアウト原稿]が設定され、機能一覧画面に 3 < ON ボタン>にタッチする 戻ります。 こと デムエの 開業をセット レイアウト原稿 取消 確定 原稿の先端(天)部分を 指定した分だけカットして 製版します ~ OFF ¥ ()--33) (テンキー入力も可能)

製版

製版

機能一覧とじしろ

製版位置を調整する

[とじしろ]

重要

参考

2

原稿の天地左右のいずれか一方に、とじしろ(余白)をつけて製版することがで きます。調整範囲は天地左右 0 ~ 50mm の間です。

> 「とじしろ」は、製版位置を調整する機能です。とじしろを追加する機能では ありません。

- 原稿の周囲に余白がないときは、画像が製版可能エリアを超える場合があります。製版可能エリアを越えた部 分は製版されません。
- とじしろの位置は、排紙台に排出された印刷物を排紙台の真上から見たときの、用紙搬送方向となります。
- とじしろが設定できるのは、印刷物の天側、地側、右側、左側のいずれか一箇所のみです。
- 変倍が設定されている場合は、変倍した後の画像を移動します。
- •「90 度回転」および「180 度回転」と併用できます。
- 操作パネルによる印刷位置調整を併用すると、元の原稿に対して最大約 65mm まで、仕上がりの印刷位置を 移動することができます。
 - •「とじしろ」は、次の機能とは併用できません。
 - 連写
 - かんたん連写
 - 変倍([A4 →ハガキ][B5 →ハガキ])
 - オーバーレイ
 - AF 読取面指定

機能一覧画面で<とじしろボタン>に タッチする



<天側ボタン>、く地側ボタン>、く左側 ボタン>、く右側ボタン>の調整したい 方のボタンにタッチする



3 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッ チして、移動量を設定する

テンキーでも入力できます。

く自動縮小ボタン>にタッチした場合は、とじしろ幅で指定した移動量を除いた面を印面とし、その印面の中央を基準に原稿が収まるようにサイズを縮小します。

▲ <確定ボタン>にタッチする

とじ代の移動量が設定され、機能一覧画面に戻 ります。

参考

参考

ー度確定したとじしろを解除したい場合は、<リ セット>キーを押すか、手順2で< OFF ボタン> にタッチしてから、<確定ボタン>にタッチして ください。



フルサイズで製版する

製版 機能一覧 フルサイズ製版

[フルサイズ製版]

通常の製版では、印刷用紙の周囲に余白ができるように用紙サイズを 検知して、サイズ規制をかけています。これは、紙詰まりや、内部の ローラーがインクで汚れることを防ぐためです。 [フルサイズ製版]を設定すると、印刷用紙や原稿のサイズにかかわらず、 最大印刷範囲のサイズで原稿を読み取って製版を行います。 必ず、原稿と印刷用紙のサイズを確認してから実行してください。 最大印刷面積 MD6650/5650: 291mm × 413mm MD5450: 251mm × 357mm • 天方向 5mm には製版できません。 重要 製版された原稿よりも小さいサイズの印刷用紙を使用しないでください。本機内部のローラーなどにインク が付着する恐れがあります。(ローラーが汚れると、以降の印刷物の裏面に、汚れが転写されてしまいます。) 原稿台ガラス全体に汚れがないか確認してください。最大印刷範囲で読み取るため、原稿より外側にある汚れ も製版され、内部のローラーを汚す原因となります。

機能一覧画面で<フルサイズ製版ボタン>に

タッチする



[フルサイズ製版]が設定されます。

1 枚の原稿で2 色プリントする

[かんたん分版]

ドラム 1

製版

機能一覧 かんたん分版

「かんたん分版」は「スキャナ」を使って、1枚の原稿を 読み取るときに、原稿の濃い部分と薄い部分の2つの データに分けて製版する機能です。原稿の濃い部分 (元原稿)はドラム1側に、原稿の薄い部分(手書き部 分)はドラム2側へと分版され、製版をします。ドラム への原稿の割り当ては「刷り色入れ替え」で入れ替え が出来ます。



ここでは、ドラム 1 側に黒インク、ドラム 2 側に 赤インクがセットされていることを前提に説明 します。



「かんたん分版」には以下の2タイプ/6種類があります。

原稿の濃度で分版する

原稿の濃度の濃い部分と薄い部分を自動判別して分版します。

- 赤色分版
- 書き込み分版
- 書き込み分版(インク)

エリアを指定して分版する

原稿の分版したい部分を当社推奨ペン(または指)で囲んで指定し、分版します。

- エリア指定分版
- トレース分版
- デジタイザ分版[※]

※ ソフトデジタイザ(MD5650/MD5450 はオプション)装着時のみ、表示されます。



- [赤色分版]、[書き込み分版]、[書き込み分版(インク)]、[デジタイザ分版] (MD5650/MD5450 はオプション)を使 用すると「原稿モード」は自動的に「文字」になります。
- 文字・写真混在の原稿や写真原稿をご使用の場合は、「エリア指定分版」、「トレース分版」をおすすめします。
- •「かんたん分版」で「赤色分版」、「書き込み分版」、「書き込み分版(インク)」のいずれかを選択すると、「読取濃度」は自動的に「オート」になります。
- また、「エリア指定分版」、「トレース分版」を選択すると、「読取濃度」の「オート」は選択できなくなります。
- かんたん分版で分版したデータは、ホールドデータとして保存することはできません。
- ホールドデータや USB メモリデータをかんたん分版用の原稿として使用することはできません。(デジタイザ分版 を除く)
- ・ よく使う分版を機能一覧画面にボタン表示することができます。環境設定の「分版ボタン登録」でいずれかの分版を 選択すると、機能一覧に選択した分版名のボタンが表示できます。
 - •「かんたん分版」は、次の機能とは併用できません。
 - 読取濃度(エリア指定分版/トレース分版時は「オート」は併用できません)
 - 連写
 - 変倍
 - デジタイザ
 - 名入れ
 - シングル製版
 - かんたん連写
 - ブックモード



1 枚の原稿で2 色プリントする [かんたん分版]

- 自動振分機能
- Nアップ
- とじしろ

■ 赤色分版

黒と薄い赤の2色で作られた原稿を使用します。 原稿の黒部分をドラム1、赤部分をドラム2に分けて製版 します。

> パソコンなどで原稿を作成する場合は、赤はオレンジ (朱色)を使用してください。



■ 書き込み分版

コピー機やレーザープリンタなどで印刷した(黒がはっき りしている)原稿に、**推奨のペンや薄めの鉛筆、シャープペ** ンで手書きした原稿を使用します。

元の原稿部分をドラム 1、手書き部分をドラム 2 に分けて 製版します。

- 参考 書き込みには、ボールペンは使用しないでください。 赤色ボールペンであっても、黒と判断される場合が あります。
 - シャープペンは、H~2B程度を使用してください。



P.89「[赤色分版]、[書き込み分版]、[書き込み分版(インク)]の原稿について」

■ 書き込み分版(インク)

当社製印刷機やインクジェットプリンタで印刷した(水性 インクなどで黒が少し薄めに印刷された)原稿に、推奨の ペンや薄い赤鉛筆で手書きした原稿を使用します。 元の原稿部分をドラム 1、手書き部分をドラム 2 に分けて 製版します。



■ エリア指定分版

分版したいエリアを推奨のペンで直接囲んだ原稿を使用 します。

エリア外をドラム 1、エリア内をドラム 2 に分けて製版します。



写真やカラー画像が含まれている原稿の場合は、[トレース分版]を使用してください。

 ・ 自動原稿送り装置(オプション)との併用はできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。



1

2

プリント結果

トレース用紙

E

トレース用紙

■ トレース分版

原稿と、分版したいエリアを推奨のペンで囲んだ別紙(ト レース用紙)を用意します。

トレース用紙で指定したエリア外をドラム 1、エリア内を ドラム2に分けて製版します。



トレース用紙について

書き込みのできない大事な原稿や他の印刷物と共有し ている原稿、または原稿内に写真やカラー画像がある原 稿の分版には、トレース用紙を使用します。

トレース用紙には、原稿と同じサイズの白い紙が適して います。

原稿に白い紙をのせ、分版したい(色刷りしたい)箇所を ペン枠で囲みます。 ■ デジタイザ分版

デジタイザ分版は、ソフトデジタイザの機能から分版機能 だけを抜粋した簡易デジタイザ機能です。

本機のスキャナで読み取った原稿や、あらかじめ本機に ホールドしてあるデータおよびUSBメモリデータを呼び出 して、タッチパネル上で分版したいエリアを指定します。 エリア外をドラム1、エリア内をドラム2に分けて製版しま す。



- この機能を使用するには、メモリーカード DM128CF およびソフトデジタイザが必要です(両方とも、 MD5650/5450 はオプション)。
- デジタイザ分版では編集機能を使用できません。指定したエリアを編集したい場合は、「機能一覧画面」から「デジタイザ」を選択してください。



操作の流れ(デジタイザ分版以外)



.[赤色分版] 、[書き込み分版] 、[書き込み分 _ 版(インク)]の原稿について

[かんたん分版]は、原稿の濃度の濃い部分と薄い 部分を判別し、分版する機能です。色では判断し ません。

本機では、濃い部分はドラム1(黒版)、薄い部分は ドラム2(赤版)に製版します。

- 赤ペンであっても、書き込みの濃度が濃いと、
 黒と判断されます。また、濃度が極端に薄い場合、赤版にも黒版にも製版されません。
- 原稿の文字は、10.5 ポイント以上のゴシック 体を推奨します。明朝体の場合は、18 ポイント 以上にしてください。ポイントが小さいと、黒 い文字でも赤と判断されます。
 - **あ** 10.5 ポイント
 - あ 18 ポイント
- 中間濃度(濃くもなく、薄くもない)の文字は、
 黒版と赤版の両方に製版されてしまうため、文字のエッジが汚くなります(赤黒の文字になったり、文字が欠けたりします)。
- 写真やグラデーション、網がかかった部分は、 濃度により黒または赤になってしまいます。写 真やグラデーションがある場合は、トレース分 版をおすすめします。

~ 【エリア指定分版】、【トレース分版】についての注意~

エリアを指定するペン枠には、推奨のペンを使用 してください。推奨のペン以外でエリアを指定す ると、正しく分版されない場合があります。

 ペン枠の端は、確実につないでください。つな がっていない場合は、ペン枠として認識されま せん。



ペン枠の線幅は、1mm~3mm(2.25 ポイント~4.5 ポイント)にしてください。1mm 未満、または 3mm を超える線は、ペン枠として認識されません。

1mm (2.25pt)

3mm (4.5pt)

- ペン枠の大きさが 10mm × 10mm の矩形以下の場合は、ペン枠として認識されません。
- ペン枠内には、濃度の濃くなるような点を作らないでください。



- 1 枚の原稿に使用できるペン枠の数は、最大 20 個です。20 個を超えると、エラーとなります。
- ペン枠どうしを接触させないでください。接触した場合は、ペン枠として認識されません。
 ペン枠どうしの間隔は、3mm以上空けてください。



 ペン枠の線は、原稿の文字や画像から約3mm 離してください。ペン枠の線から約3mmの部 分は欠けてしまいます。



 ペン枠は二重に書かないでください。二重にする と、内側の枠はペン枠として認識されません。



Х

 プリントエリアからはみ出したペン枠は、分 版されません。

1枚の原稿で2色プリントする [かんたん分版]



使用する分版のボタンにタッチする



[デジタイザ分版]を選択した場合は、以降の操 作が異なります。詳しくは P.91「デジタイザ分 版する(ソフトデジタイザ搭載時)」をご覧くだ

- 画面右下には、ドラム 1(1)とドラム 2(2)に 原稿のどの部分が製版されるか表示されていま す。刷り色を入れ替える場合は、<刷り色入替ボ タン>にタッチしてください。
 - 「かんたん分版」の設定を中止する場合は、<取 消ボタン>にタッチしてください。

<確定ボタン>にタッチする 「かんたん分版」が設定され、機能一覧画面に戻



各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて、各種機能を設定してください。

[プレビュー表示]を設定すると、分版終了後、いっ たん停止します。分版が正しく行われたかを確認 することができます。 ● P.92「製版前に印刷イメージを確認する [プ

<スタート>キーを押す

原稿の読み取りを開始します。 以降は、通常の2色プリントの製版、印刷工程と 同様の操作を行ってください。



製版前に印刷イメージを確認する



[プレビュー表示]

スキャナで読み取った原稿やパソコンから送信した原稿データを、実際に製版する前に確認できます。 「かんたん分版」できちんと分版できたかを確認したり、連写やレイアウトの仕上がりイメージを確認したりす るのに便利な機能です。

プレビュー画面では、以下の操作が行えます。



タッチするたびにプレビュー表示を拡大します。

モードにより、操作や表示のタイミングが異なります。

| 原稿タイプ(モード名) | 設定するタイミング | 表示のタイミング | 「連続」時の動作 |
|-------------|------------------|----------|---------------------|
| 紙原稿 | 製版に関わる機能を設定すると | 原稿の読み取り後 | 原稿を読み取った後、いったん停止して |
| | き(機能一覧から設定) | | プレビュー画面を表示します。 |
| スキャンモード | 読み取りに関わる機能(製版機 | 原稿の読み取り後 | スキャンモードは原稿を読み取って保存 |
| | 能)を設定するとき(機能一覧か | | するだけなので、「連続」という動作はあ |
| | ら設定) | | りませんが、自動原稿送り装置に複数枚 |
| | | | の原稿をセットした場合、プレビュー表 |
| | | | 示の後、<閉じるボタン>にタッチする |
| | | | と、次の原稿の読み取りを開始します。 |
| パソコンからの原稿 | 本機が原稿データを受信した後、 | タッチ時にすぐ | プリンタドライバから[連続モード] |
| データをプリント | 製版前ストップで停止している | 表示 | [ON]で送信した場合、プレビューは表 |
| | とき(データ受信画面で設定) | | 示できません。 |
| ホールドデータ/ | ホールドデータ/ USB メモリ | タッチ時にすぐ | 呼び出した画面で<プレビューボタン |
| USB メモリデータ | データを呼び出したとき(保存 | 表示 | >にタッチすると、すぐに表示されま |
| | データ用の製版基本画面で設定) | | す。<閉じるボタン>にタッチすると、 |
| | | | 「連続」で製版・印刷が行われます。 |

◆ 読み取った原稿をそのまま表示します。実際のプリントには余白が必要です。余白が十分あるかどうか確認して ください。

- 2色プリントのときは、ドラム1/ドラム2それぞれの原稿を読み取ってから、2色分のプレビューを表示します。
- 1 枚の原稿でかんたん分版した場合も、分版した結果をそれぞれ表示します。
- ・パソコンから原稿データを送信した場合は、データ受信画面で確認できます。
 P.50「受信ジョブ画面について」
- RLP モードの場合(連携機 Prioa(別売)接続時)、原稿を読み取った後、連携機から出力される前にプレビューが 表示されます。



以降は、通常の紙原稿の製版・印刷工程と同様

93

片方のドラムのみ原稿を差し替える



[シングル製版]

2 色プリントをする場合、2 枚の原稿のいずれか片方 だけを差しかえて、プリントすることができます。 例えば、商品の紹介部分は同じで、販売店の住所や地 図部分のみを変えたチラシなどを、簡単に作ることが できます。



2 色プリントを行う

参考

パソコンと接続した環境でご使用の場合、印刷の 途中でも、本機が動作していないときや操作して いない状態で一定の時間が経過すると、本機は作 業が終了したと認識します。その際に、他の人がパ ソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理 が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行わ れてしまいます。この割り込みを防止する設定(占 有延長)があります。チラシの印刷などで割り込ま れたくない場合などは、「占有延長」を設定してお くことをおすすめします。

● P.145「割り込み印刷を防止する [占有延長]」

2 機能一覧画面で<シングル製版ボタン> にタッチする



3 原稿を差し替えるドラムのボタンにタッ チする



[シングル製版]が設定され、機能一覧画面に戻ります。

4 差し替える原稿をセットする 原稿台ガラスまたは自動原稿送り装置(オプ ション)にセットします。 原稿のセットについては、P.37「原稿をセット する」をご覧ください。

5 各種プリント機能を設定する

必要に応じて、差し替える原稿に対して各種機 能を設定します。 設定を行わない場合は、最初のプリントと同じ 設定が適用されます。

くスタート>キーを押す
 手順3で指定したドラムの製版を開始し、印刷
 基本画面が表示されます。

試し刷りを確認する

試し刷りが印刷されると、印刷基本画面が表示 されます。



仕上がりの印刷位置や濃度、排紙位置などを確認し、必要に応じて調整します。

- •印刷位置(● P.101)
- 印刷濃度(● P.100)
- インターバル印刷(● P.105)
 排紙ウイング特殊(● P.106)
 調整が終わったら、<試し刷り>キーを押し
- て、再度試し刷りを確認してください。

8

9

テンキーで印刷枚数を入力する

入力枚数は、枚数カウンターに表示されます。

<スタート>キーを押す

入力した枚数が印刷されます。

印刷するときに設定する機能

- 98 印刷速度を変える [印刷速度調節]
- 99 高速で印刷する [ハイスピード]
- 100 印刷濃度を変える [印刷濃度調節]
- 101 印刷位置を調整する [印刷位置調節] [①=②位置追従]
- 103 試し刷りをする [試し刷り]
- 104 特殊な用紙を使うときの紙づまりを防ぐ [重送検知]
- 105 裏移りを少なくする [インターバル印刷]
- 106 特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

印刷速度を変える

[印刷速度調節]

印刷速度を毎分 60 枚から 120 枚まで、5 段階で調節できます。 速度は、印刷中にも変えられます。

参考

【環境設定〕で、印刷速度の初期設定を変更できます。工場出荷時設定は3(約100枚/分)に設定されています。
 ● P.164「初期設定を変更する [環境設定]/印刷速度基本設定」



<◀>キーまたは<▶>キーを押して印刷速度を調節する



ランプのレベルと印刷速度の関係

| ランプのレベル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-----------|------|------|-------|-------|-------|
| 印刷速度(枚/分) | 約 60 | 約 80 | 約 100 | 約 110 | 約 120 |



機能一覧画面に、より速い印刷ができる「ハイスピード」機能があります。 ● P.99「高速で印刷する [ハイスピード] 」

高速で印刷する

[ハイスピード]

印刷 機能一覧 ハイスピード

[ハイスピード]を使用すると、[印刷速度調節]での調節よりも、さらに高速(約150枚)で印刷することができます。



- 本機内部の温度が 15 ℃未満の場合、<ハイスピードボタン>はグレー表示され、使用できません。通常の印刷速度 調節(1~5)で使用してください。内部温度が15℃以上に上昇するまでの時間は、ご使用の環境により異なります。
 ドラム 2 を使う 1 色プリントで、ドラム 1 を取り出している場合、給(排)紙方向長さが 364mm(B4 縦サイ
- ズ相当)~ 432mm(A3 縦サイズ相当)の用紙を使用してください。
- •「RISO マスターD タイプ HG」をお使いの場合に「ハイスピード」を使用すると、印刷濃度が薄くなります。

機能一覧画面で<ハイスピードボタン>に タッチする



[ハイスピード]が設定され、操作パネルの印刷 速度ランプが消灯します

- ・印刷中に「ハイスピード」をやめたい時は、操作 パネルの<印刷速度調整>キーでスピードを設 定してください。
 - POPエリアに登録しておくと、印刷の最中にワン タッチで[ハイスピード]を設定することができま す。

P.173「よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り]」

印刷濃度を変える



→ \ **A**

AI

<►/A

[印刷濃度調節]

印刷濃度を、「うすく」から「こく」まで、ドラムごとに5段階で調節できます。 濃度は、印刷中にも調節できます。

参考

[省インク]を設定しているときは、印刷濃度は調節できません ● P.69[インクを節約する [省インク]]

[環境設定]で、印刷濃度の初期設定を変更できます工場出荷時設定は3(標準)に設定されています。 ● P.164「初期設定を変更する[環境設定]/印刷濃度基本設定」

<◀>キーまたは<▶>キーを押して印刷濃度を調節する



ŧ₹

印刷位置を調整する

[印刷位置調節] [①=②位置追従]





F.1031 試し削りをする [試し削り]]

調整したいドラム側の印刷位置調整キー(<▲><▼><◀><▶>キー)を押して調整する



- 参考
- [印刷位置調整]で調整した数値は目安です。実際の位置は、印刷物を見て確認しながら調整してください。
- 片方のドラムの印刷位置のみを調整した直後には、前回の印刷位置の跡が残り、ぶれたように印刷されることがあります。その場合は、残像がなくなるまで数枚試し刷りしてください。
 P.103「試し刷りをする [試し刷り]」
- 両方のドラムを同じ印刷位置に調整する場合は、いずれか一方のドラムを調整するだけで、もう一方のドラムを同じ 位置にそろえることができます。

P.102「両方のドラムの印刷位置をそろえる」

● 位置調整をした場合の移動量は、各ドラムに記憶されます。ただし、電源の ON / OFF やくリセット>キーを押した ときは、調整前の位置に戻ります。

印刷位置を調整する [印刷位置調節] [①=②位置追従]



いずれか一方のドラムの印刷位置を調整 する

印刷基本画面に調整結果が表示されます。

2 機能一覧画面で<①=②位置追従ボタ ン>にタッチする



参考

もう一方のドラムが、同じ印刷位置に調整され ます。

両方のドラムを別々に調整した場合は、最後に調 整したドラムの位置にそろいます。

3 [基本]タブにタッチして、印刷基本画面 を確認する



印刷位置の微調整について

[印刷位置微調整]ができるように設定されてい る場合は、印刷位置を約0.1mm単位で微調整で きます(通常は0.5mm単位)。



[印刷位置微調整]を使えるように設定した い場合は、お買い上げの販売会社(あるいは 保守・サービス会社)にご連絡ください。

[印刷位置微調整]が使える場合は、機能一覧画面 に<印刷位置微調整ボタン>が表示されます。 <印刷位置微調整ボタン>にタッチすると、[印 刷位置微調整]が[ON](白黒反転)になり、印刷 位置調整が0.1mm単位になります。[OFF]にす ると、0.5mm単位になります。



試し刷りをする

[試し刷り]



TEST

PRINT

 \triangleright

印刷の位置や濃度などの調整後、仕上がりを確認できます。 試し刷りをしても、枚数カウンターに表示される印刷枚数は変化しません。

参考
 <試し刷り>キーを押し続けると、連続して試し刷りができます。
 連携機 Prioa(別売)からは、試し刷りを出力することはできません。

<試し刷り>キーを押す

試し刷りが1枚印刷されます。



特殊な用紙を使うときの 紙づまりを防ぐ [重送検知]



本機には、印刷用紙の給紙状態を監視し、用紙が重なったまま送 られると自動的に停止する[重送検知]機能を搭載しています。

[重送検知]のセンサーは、一般的な印刷用紙に合わせて設定さ れているため、使用する用紙によっては正常に1枚給紙された場 合も重送と検知し、エラーが表示されることがあります。以下の 場合には、[重送検知]を[OFF]にしてください。

● 重送していないのに度々「重送検知」メッセージが表示される

工場出荷時には、[重送検知]は[ON]に設定されています。

- 地色が濃い用紙(黒・赤・紺など)を使用している
- 裏面にすでに印刷されている用紙を使用している

参考



機能一覧画面でく重送検知ボタン>にタッチ

する



ボタンが白黒反転表示から通常の表示に変わ り、「重送検知]が「OFF]になります。



特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う

[排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

特殊な用紙を使用して印刷を行う場合や、印刷画像にムラなどが発生した場合に、給紙・排紙設定を調整する ことができます。

■ 排紙ウイング特殊

事前に登録してある排紙ウイングの特別な設定を呼び出します。通常、自動的に調節される排紙ウイングの 位置では、適切に排紙できない用紙に印刷する場合に使用します。



- 「排紙ウイング特殊」は、あらかじめ登録されている場合のみ、表示されます。
- あらかじめ登録できる設定は1種類です。
- 登録したい場合や、設定を変更したい場合は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡 ください。



「排紙ウイング」は、印刷物を排紙台に飛ばすための装置です。通常は、給紙台にある「給紙圧調節レバー」の位置 (標準/厚紙)によって、自動的に調節されています。



■ 特殊用紙設定

設定した内容を登録しておくと、次回から同じ設定を簡単に呼び出してプリントできます。 「特殊用紙設定」では、以下の設定が可能です。

特殊給紙調整

使用する用紙の特性に合わせて、給紙台の位置や、用紙のたるみ量を調整できます。

特殊排紙調整

原稿の画像種類や用紙の種類によっては、エアブロー、分離ファンなどの影響を受けて、印刷画像にムラやブレ が発生する場合があります。そのような場合に、エアブロー、分離ファンの加減を調整してプリントできます。



「環境設定」で「特殊用紙設定」の初期設定を変更できます。 ● P.164「初期設定を変更する [環境設定] / 特殊排紙調整基本」
排紙ウイング特殊を設定する[排紙ウイング特殊]

機能一覧画面で<排紙ウイング特殊ボタン> にタッチする



「排紙ウイング特殊」が指定されます。

| 給約 | 紙に関しての設定をする[特殊給紙調整] |
|----|---|
| 1 | 機能一覧画面で<特殊用紙設定ボタン> にタッチする |
| | Oドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください 基本 お気に入り、機能一覧 環境設定 アイドリング 用熱師 機密 :1ート用熱師 省インク テーブ仕分け インターパル印刷 特殊野気器定 P.4/5 P.4/5 |
| 2 | <特殊給紙調整ボタン>にタッチする |
| | 特殊用紙設定 閉じる 登録/呼出 変更を上書 たるみ量 まート たるみ量 たファン(2)3 3 |
| 3 | 必要に応じて<手動調整ボタン>にタッ チする |
| | 給紙台上限位置やたるみ量を調節します。詳細 ボタンにタッチすると、さらに給紙 ON タイミ ングと給紙 OFF タイミングが調節できます。 |
| | 特殊給紙調整 取消 確定 オート オート |
| | 手(開設) |
| | |
| | 特殊給給調整 詳細 取消 確定 給紙ONタイミング (-20~+20) |

▲ ▼

1

(-20~+20)

特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]





未登録のボタンにタッチする



実線で表示されているボタンが未登録です。 登録済みの調整値はグレー表示されタッチで

<確定ボタン>にタッチする



設定した調整値が登録され、[調整値リスト]画

設定の名称を入力する場合は、次の手順に進ん

 登録後、[調整値リスト]画面の<閉じるボタン > にタッチすると、[特殊用紙設定] 画面に戻り

• [特殊用紙設定]画面の <閉じるボタン>にタッ チすると、機能一覧画面に戻り、登録した調整値 でプリントできます。

 設定の登録のみで、調整値を反映させたプリン トを行わないときは、操作パネルの<リセット >キーを押してください。

<名称変更ボタン>にタッチする



特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

印刷するときに設定する機能

8 名称を入力したいボタンにタッチする 調整値リストから呼び出す [特殊用紙設定] 未登録のボタンは、グレー表示されタッチでき ません。 機能一覧画面で<特殊用紙設定ボタン> にタッチする g 文字ボタンにタッチして、1 文字ずつ入 ①2 Uドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください 力する 基本 お気に入り 機能一覧 環境設定 名称入力 [取消] 確定] 認証POP登録 特殊用行設定 ポスター 🔍 hn init 排紙ウィ 英小文字 英大文字 カナ カナ拡張 ハイス ワラヤマハナタサカア 利用枚数集計 ヲリユミヒニチシキイ • P.5/5 ンルヨムフ ヌッスクウ 2 <登録/呼出ボタン>にタッチする 入力したい文字種類にタッチすると表示が切 特殊用紙設定 閉じる り替わります。 登録/呼出, 死更在上書 ● P.134「名称入力画面について」 特殊給紙調整 給紙台上限位計 オート オート בדדים- () UN 名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、 参考 (2) ON 特殊排紙調整 < <C ボタン>にタッチ、または< C >キーを押 分離ファン ①93 (2) 4 分離ファンプラス **a** 3 して消去できます。 🛚 すべての文字を入力後、<確定ボタン> [調整値リスト]画面が表示されます。 にタッチする 入力した名称が登録され、[調整値リスト]画面 3 <呼出ボタン>にタッチする に戻ります。 特殊用紙設定 PR 1 77. 調整値リスト 閉じる <閉じるボタン>にタッチする .# 呼び出すボタンを選択してください [特殊用紙設定] 画面に戻ります。 登録 A-1 à-4 呼 ポスター à-6 名称 à--3 à~6 湄 Δ 呼び出したいボタンにタッチする 未登録のボタンは、グレー表示されタッチでき ません。 選択した調整値が呼び出され、[特殊用紙設定] 画面に戻ります。 調整内容を確認してください。 別の調整値を呼び出したい場合は、再度手順2~5 参考 を行います。

5 <閉じるボタン>にタッチする

呼び出した調整値が反映され、機能一覧画面に 戻ります。

ひきつづき、通常の手順で印刷を行うことがで きます。



特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

特殊用紙設定の消去

[調整値リスト]画面を表示させる

P.110の手順 1、2 を行います。



消去して良い内容かどうかを確認してください。(設定を呼び出して内容を確認後、手順2以降を行ってください。)

• 消去確定後は復帰させることはできません。





3 消去するボタンにタッチする

未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。



5

<確定ボタン>にタッチする



選択した調整値が消去され、[調整値リスト]画 面に戻ります。

<閉じるボタン>にタッチする

いろいろな機能を使う

114 認証設定をする [認証設定]

- 127 グループ (クラス)分けしてプリントする [プログラム]
- 139 メモリー機能を使う [メモリー]
- 144 機密書類の複製を防止する [機密]
- 145 割り込み印刷を防止する [占有延長]
- 146 アイドリングをする [アイドリング]
- 147 再製版する [再製版] [オート再製版]
- 150 最後のページからプリントする [逆順印刷]
- 152 試し刷りを確認しながらプリントする [AF オート製版]
- 153 自動原稿送り装置への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]
- 157 原稿を180度回転して製版する [180度回転]
- 158 各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]
- 161 ユーザーごとに POP 登録する [認証 POP 登録]
- 163 初期設定を変更する [環境設定]
- 173 よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り]
- 175 不定形サイズを登録する [用紙サイズ登録]
- 178 印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]

認証設定をする

セキュリティの強化やユーザー管理を充実させるために、本機 では認証機能を用意しています。 認証機能とは、暗証番号の入力や認証用のUSBメモリ挿入によ り、誰が使用しているかを本機に認識させる機能です。 認証機能を利用するには、あらかじめ管理者が認証の種類や認 証方式の設定、ユーザーの登録を行う必要があります。 ここでは、管理者が認証設定を行う方法を説明します。

■ 認証の種類

認証の種類には、「本体認証」と「認証プリント」があります。

本体認証

本機の操作をする際に、「認証」を必要とする設定です。本体認証を行うと、以下のメリットがあります。

- ユーザーごとの使用状況を把握できる P.158 [各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]]
- 本機の利用者を制限したり、ユーザーごとに印刷枚数などを制限できる
 P.120「管理者/ユーザーの登録」
- ユーザーごとに、よく使う機能を POP エリアに登録できる P.161「ユーザーごとに POP 登録する [認証 POP 登録]」

認証プリント

パソコンから送るデータに認証をかけて、送信します。データは認証待ちになり、暗証番号の入力(USB メモリの挿入)により出力されます。他人に見られたくない文書をプリントする場合などに有効です。



■ 認証方式

参考

認証方式には、「暗証番号」を使用する方法と「USB メモリ」を使用する方法があります。ユーザーは「本体認証」や「認証プリント」を行う際に、管理者が設定した認証方式で、認証を求められます。

暗証番号を使用する方法

ユーザーごとに最大8桁までの暗証番号を設定します。

ユーザーとして登録する利用者のリストを用意し、ユーザー登録番号と、暗証番号を記録することをおすすめ します。

各ユーザーに、設定した暗証番号とユーザー登録番号(認証登録番号)をお知らせください。

USB メモリを使用する方法

使用するユーザーの人数分 USB メモリを用意し、本機に登録します。 USB メモリは、誰にどの USB メモリを配布するのかが、分かるように準備することをおすすめします。 各ユーザーに、登録した USB メモリとユーザー登録番号(認証登録番号)を配布してください。

ユーザー登録番号(認証登録番号)は、プリンタドライバで「認証プリント」を設定する際に必要です。

| - | 1 | | | | |
|------------------|---|-----|---|---------------------------------------|------------|
| ユーザー登録 | 閉じる | | | | |
| 登録するボタンを選択してください | | | | | |
| | U-5 | | | | |
| 変更 1 U-1 6 | U-6 | | O MD 6 Series のプロパラ | テイ 教理 応用 オナション パージョン | 2 |
| 消去 2 U-2 7 | U-7 | ET. | 1.专业度: | ▶#定 _ | 「 ハイスピード |
| 3 U-3 8 | U-8 | EF: | 19).泉度①: 19).泉度②: | 未指定 ▼ 未指定 ▼ | 匚 インターバル印刷 |
| 4 U-4 9 | U-9 | E | 1刷店P数: | | |
| | | | 动方法: | 「 ダイレクトラリント ・ | F¥eeffy定 |
| | | Г | プログラム印刷 | | 詳新職役定 |
| | | | "逆順印刷 | | |
| ユーザー登録番号(認証登録 | 录番号) ———————————————————————————————————— | | | 認証登録番号: 1 三 | [0e - 0] |
| | | | ・パッキロタリアロンごせます。 ・パッキロタリアロンごです。 ・パッキロタリアロンジェントし、 | てから出力する | |
| | | | | | 標準に戻す |
| | | | | | OKキャンセル |

認証設定をする [認証設定]

認証機能を有効にするには、あらかじめ管理者により認証設定を行っておく必要があります。 ここでは、認証設定の設定項目とその詳細について説明します。

設定項目について

■ 認証方式(● P.118)

認証する方法を選択します。

: 認証画面で、ユーザー登録時に設定した暗証番号を入力します。 暗証番号

USBメモリ :認証画面で、ユーザー登録時に認証用に設定したUSBメモリを、USBスロットに挿入します。 認証設定消去 : 認証設定で登録した情報(管理者/ユーザー登録含む)が消去され、工場出荷時の設定に戻ります。

参考

参考

認証方式を変更すると、管理者の登録を含むすべての認証設定が消去されます。はじめに認証方式を確定してか ら、他の設定を行ってください。

■ 認証有無(認証の範囲)(● P.119)

使用したい認証機能に応じて、認証の範囲を以下の3種類から選択します。

- 本体認証、認証プリント :本体認証と認証プリントの両方を使用します。 認証プリントのみ 認証なし
 - : 認証プリントのみ使用します。 :本体認証と認証プリントのいずれも使用しません。

認証有無の設定と、認証操作の要・不要との関係、および使用できる認証機能との関係は、以下のようになります。

| | 認証操作 | | その他の認証機能 | | | |
|-----------------|-------|----------------|---|---------------------|------------------------|--|
| 認証 有無 | 本体操作時 | 認証プリント時 | 利用枚数集計 (●P.158) | 認証POP登録 (●P.161) | 認証データの保存* (< P.187) | |
| 本体認証、 認証プリント | 必要 | 不要 | 使用可 (各ユーザーの使用状況を 正確に把握できる) | 使用可 | 使用可 | |
| 認証プリント のみ | 不要 | 必要 | 使用可 (使用状況を正確には 把握できない) | 使用不可 | 使用不可 | |
| 認証なし | 不要 | 認証プリント 使用不可 | 使用不可 | 使用不可 | 使用不可 | |
| | | | | | | |

■ ユーザー登録(☞ P.120)

認証する管理者/ユーザーを最大 100 件(管理者を含む)まで登録できます。 登録の際に、以下の項目を設定します。

- ユーザー名称
- 所属グループの設定
- 製版・印刷の上限枚数
- 利用の許可/不許可

登録した内容は、変更・消去が可能です。 ユーザー登録や、その他の認証設定を行うには、管理者の登録が必要です。管理者の登録をすると、認証機能 が働きます。

■ グループ名称(● P.125)

グループ管理をする場合に、グループの名称を設定します。 最大 32 グループまで登録できます。

■ カウントオールクリア(● P.126)

すべてのユーザー、グループの利用枚数カウントをクリアします。

認証設定の流れ

認証設定は、以下の順に設定することをおすすめします。



認証設定をする [認証設定]



管理者用の暗証番号を入力します。

| m | 暗証番号を入力してください | EX +1: |
|---|---------------|--------|
| | | |
| | 取消」確定 | |

■ 認証方式が「USB メモリ」の場合

管理者認証用の USB メモリを USB スロット

| (XO) | ○ドデム1の開稿をセットして フラートキーを押してください。 | |
|------|-----------------------------------|------|
| | | |
| | 認証用USBメモリ を挿入してください | en e |
| | | |
| | 取消 | |
| | | |

<認証設定ボタン>にタッチする



[認証設定]画面が表示されます。

閉じる

グループ名称

認訪ら式

2



認証設定をする [認証設定]

管理者/ユーザーの登録

認証機能を有効にするには、管理者を登録する必要が あります。 最大 100 件まで登録できます。(管理者を含む)



[認証設定]画面を表示させる

P.118「認証方式の選択」の手順1~4を行います。



<ユーザー登録ボタン>にタッチする





未登録のボタンにタッチする



実線で表示されているボタンが未登録です。 登録済みのボタンはグレー表示されタッチで きません。



• 必ず最初に管理者を設定してください。

- 管理者を登録していない場合は、<0管理者ボタン>以外はタッチできません。
- < 0 管理者ボタン>は、管理者専用ボタンです。
 名称を変更しても管理者として扱われます。

4 暗証番号を入力するか、USBメモリを挿 入する

■ 認証方式が「暗証番号」の場合

テンキーで暗証番号を入力します。



最大8桁まで入力できます。

数値をクリアするときは< C >キーを押しま す。

■ 認証方式が「USB メモリ」の場合

認証用の USB メモリを USB スロットに挿入 します。



認証用 USB メモリを区別する番号が表示されます。

参考

多数の USB メモリを登録する場合は、ユーザー名 を USB メモリに貼っておくなど、後から USB メ モリを識別できるようにしておくことをおすすめ します。

登録済みの暗証番号を入力したり(認証方式 「暗証番号」)、すでに認証用に設定済みの USB メモリが挿入されていると(認証方式「USB メ モリ」)、確定にタッチしたときに次のメッセー ジが表示されます。

<閉じるボタン>にタッチし、未登録の暗証番 号を入力するか、認証未設定のUSBメモリを挿 入してください。

各種の設定をする

5

6

7

必要に応じて以下の設定を行います。

- 名称変更(● P.121)
- グループ設定(● P.122)
- 上限設定(● P.122)
- •利用停止(● P.123)

<確定ボタン>にタッチする

管理者またはユーザーが登録され、[ユーザー 登録]画面に戻ります。 複数のユーザーを登録するときは、<登録ボタ

複数のユーリーを豆球するときは、く豆球バタン>にタッチして、手順3~6を繰り返してください。

<閉じるボタン>にタッチする

[認証設定]画面に戻ります。ひき続き、ユー ザー登録、グループ名称の設定ができます。 認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で <閉じるボタン>にタッチして、[環境設定]画 面に戻ります。

ユーザー名を入力する

[登録]画面で<名称変更ボタン>にタッ チする







入力したい文字種類にタッチすると表示が切 り替わります。

● P.134「名称入力画面について」



2

名称入力欄の文字は、< \P C ボタン>にタッチ、または< C >キーを押して消去できます。

<確定ボタン>にタッチする

入力した名称が登録され、[登録]画面に戻りま す。

認証設定をする [認証設定]



ユーザーを利用停止にする 管理者/ユーザー登録の変更 [登録]画面で<利用停止ボタン>にタッチし [認証設定]画面を表示させる て[ON]にする P.118「認証方式の選択」の手順1~4を行いま 取消 確定 登録 す。 名称変更_=User 01 暗証番号を入力してください [グループ設定]=G-1 2 <ユーザー登録ボタン>にタッチする 上限設定 = 有効 認証設定 閉じる 利用於計上 = 0N 00000000 認証有無の設定ができます(3種類) (1桁~8桁) 認証有無 📄 = 本体認証、認証プリント ユーザー登録に関係する設定ができます 「利用停止」が有効になり、利用停止されたユー <u>ユーザ</u>A登録 . グループ名称 ザーは認証できなくなります。 m その他 • 利用停止を解除するときは、<利用停止ボタン カウントオールクリア 認証方式 参考 >にタッチして[OFF]にします。 • 管理者の[登録]画面では、<利用停止ボタン> は設定できません。(グレー表示されます。) 3 <変更ボタン>にタッチする ユーザー登録 閉じる 変更するボタンを選択してください 登録 0 管理者 🔹 U-5 変⋒更 1 User 01 U-8 μ 湄 11-7 ÷ 0-2 U-3 U-8 ą U-4 9 U-9 P.1/10 4 変更するユーザーボタンにタッチする ユーザー登録 閉じる 変更するボタンを選択してください 管理者 登録 U-5 ____ ∩≃^{Us} 変 更 1 01 U-8 <u>ا ال</u> 消去 U-7 U-8 U-4 3 11-9 P.1/10 登録済みのボタンが実線で表示されます。未登 録のボタンはグレー表示されタッチできませ h. 5 各種の設定を変更する P.120「管理者/ユーザーの登録」の手順4、5を 行います。

認証設定をする [認証設定]

いろいろな機能を使う

6

7

く確定ボタン>にタッチする 登録内容が変更され、[ユーザー登録]画面に戻 ります。

<閉じるボタン>にタッチする [認証設定]画面に戻ります。 認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で <閉じるボタン>にタッチして、[環境設定]画 面に戻ります。





6

<確定ボタン>にタッチする



選択したユーザーの設定が消去され、[ユー ザー登録]画面に戻ります。

<閉じるボタン>にタッチする

[認証設定]画面に戻ります。 認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で <閉じるボタン>にタッチして、[環境設定]画 面に戻ります。



認証設定をする [認証設定]

いろいろな機能を使う

6

5 <確定ボタン>にタッチする [グループ名称] 画面に戻り、入力した名称が登 録されます。

<閉じるボタン>にタッチする [認証設定]画面に戻ります。 認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で <閉じるボタン>にタッチして[環境設定]画 面に戻ります。

全ユーザーの利用枚数のクリア

全ユーザーの利用枚数を一度にクリアすることがで きます。



[認証設定]画面を表示させる P.118「認証方式の選択」の手順1~4を行いま す。

2 <カウントオールクリアボタン>にタッ チする





3

<確定ボタン>にタッチする



すべてのユーザー別利用枚数がクリアされ、 [認証設定]画面に戻ります。

認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で <閉じるボタン>にタッチして[環境設定]画 面に戻ります。



「プログラム」は、印刷枚数などをあらかじめ設定することで、そのつど、印刷枚数を入力しないでプリントできる機能です。 各区切りで印刷がいったん停止します。 設定したプログラムを登録しておくと、呼び出して使用することができます。学

| | \rightarrow | | |
|---|---------------|---|--|
| | | J | |
| Ч | \rightarrow | | |
| | | J | |
| | | | |

[プログラム]には、[1原稿プログラム][多原稿プログラム][ドリル印刷]の3種 類があります。 一度設定した[プログラム]は、プログラムメモリーに登録して、呼び出して繰り返し利用することができま す(3種類あわせて12件まで登録できます)。 ● P.131[プログラムの登録]



「プログラム」は、「オート再製版」とは併用できません。

校などで、各学年のクラスの人数を登録しておくと便利です。

プログラムの種類

[プログラム]には、以下の3種類が用意されています。

1 原稿プログラム

1つの原稿(1色プリントは1枚、2色プリントは2枚で1組)をグループに分けてプリントします。 最大50グループまで、1グループに最大9999枚で99組まで設定できます。各グループに対してプリント枚数と その枚数を何組プリントするかを設定できます。





[1 原稿プログラム]でプリントする原稿が複数ある場合、自動原稿送り装置(オプション)に複数枚(最大 50 枚まで)の 原稿をセットし、[連続]を[ON]にすれば、設定した[プログラム]が繰り返され、セットした原稿すべてを指定した枚数 のグループに分けてプリントできます。

多原稿プログラム

複数の原稿(1 色プリントは複数枚、2 色プリントは 2 枚を 1 組とした複数組)をそれぞれ異なる枚数でプリントします。

原稿の数は最大 20 原稿まで、1 原稿の最大プリント枚数は 9999 枚までです。

1 色プリント時:





ドリル印刷(2色プリント時のみ使用可能)

2枚の原稿または2色原稿から、グループ(クラス)ごとに1色プリントと2色プリントをします。 ドラム1のみで1色プリントした後、ドラム1、2両方を使った2色プリントを差し込みます。 プリント枚数は、1色プリントはグループごとに設定できます。2色プリントは、全グループ共通か、各グループの1 色プリントと同じ枚数を設定できます。

学校で、生徒数分の問題用紙と、答えの入った先生用の解答用紙を作成したいときなどに便利です。 最大 50 グループまで、各グループの各プリントごとに最大 9999 枚まで設定できます。





[ドリル印刷]は、印刷枚数を設定する機能です。赤と黒に分版する機能ではありません。2 色原稿の場合は、[かんたん分版] などと併用してご利用ください。

P.136「かんたん分版とドリル印刷を組み合わせて使う」

プリント方法

[プログラム]を使用してプリントする方法は、2 種類 あります。

- プログラムを設定してプリント(登録しないでプリントする場合) P.129
- 登録済みのプログラムを呼び出してプリント(あらかじめ登録した設定でプリントする場合) P.132

[プログラム]使用時に印刷基本画面に表示されるボ タンでは、次の指定ができます。

指定するときは、それぞれのボタンにタッチしてくだ さい。



…………最後に製版したデータを利用して、 再度製版することができます。 ● P.147「再製版する「再製版」 [オート再製版]] [次原稿]または[次グループ組]

.....実行中の印刷を中止し、次の組また はグループの原稿のプリントに切り 替えます。 [プログラム OFF]

.....[プログラム]を解除します。



オプションのSTソーターとプログラムを組み合わ せて使用すると便利です。 ST ソーターを使用すると、設定した組や原稿の印 刷終了ごとに自動的にテープが出力され、仕分け が行われます。組ごとに印刷物を取り除いたり、合 紙を入れたりする必要がありません。 ST ソーターを使用するときは、機能一覧画面で 「テープ仕分け」を「ON」にしてください。 ST ソーターがない場合は、区切りの停止中に排紙台 から印刷物を取り出すか、合紙を入れてください。

プログラムの設定

[プログラム]画面の表示方法は、2種類あります。

- ディスプレイで機能一覧画面の<プログラムボタン>にタッチする方法
- テンキー部分の< P >キーを押す方法

以下の手順では、テンキー部分の< P >キーを押す方 法で説明します。



4 <+>キーまたは<*>キーを押す

手順を繰り返してください。

複数のグループを設定する場合は、 ① ~ ④ の

いろいろな機能を使う

 <×>、<+>、<*>の各キーでも、入力ボッ 参考 クスを移動することができます。 <×>キーを押すと[組数]、<+>キーを押す と[枚数]を、それぞれ上から下へ移動します。 <*>キーを押すと、[組数]→[枚数]→1つ下の [組数]の順で移動します。 枚数または組数をまちがえたときは、<C>キー を押して消去した後に入力しなおしてくださ 1,). <オールCボタン>にタッチすると、入力したす べての枚数と組数を一度に消去できます。 • 入力したすべてのプリント枚数の合計が画面上 部に表示され、実際に印刷する枚数を確認でき ます。 ここで設定した[プログラム]を登録する場合は、 <登録/呼出ボタン>にタッチしてください。 登録する場合は、P.131「プログラムの登録」の手順 2 へ進んでください。 ■ 多原稿プログラムのとき 多原稿プログラム 取消]確定] 【Program-B】合計枚数:21 粒数 粒数 登録/呼出 原稿01 [1 原稿04 [4 家種を上ま 原稿02 2 原稿05 [5 原稿03 3 原稿06 6 オールC P.1/4 ● テンキーで枚数を入力する 2 <+>キーまたは<*>キーを押す 3 上記の 1、2 手順をくり返して、各原稿のプ リント枚数を入力する ● <+>、<*>の各キーでも、入力ボックスを上 参考 から下へ移動することができます。 参考 枚数をまちがえたときは、<C>キーを押して消 去した後に入力しなおしてください。 <オールCボタン>にタッチすると、入力したす べての枚数を一度に消去できます。 入力したすべてのプリント枚数の合計が画面上 部に表示され、実際に印刷する枚数を確認でき ます。 ここで設定した[プログラム]を登録する場合は、< 登録/呼出ボタン>にタッチしてください。 登録する場合は、P.131「プログラムの登録」の手順 2 へ進んでください。

■ ドリル印刷のとき



- テンキーでドラム1でプリントする枚数を入 力する
- 2 <+>キーまたは<*>キーを押す
- 3 上記の 1、2 手順をくり返して、各グループのプリント枚数を入力する



⑤ <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチする



- テンキーでも入力できます。
 - 1 色プリントと同じ枚数を2 色プリントする場合は、< ()と同数ボタン>にタッチします。
 - (1) ②印刷枚数は全グループ同じ枚数になりま す。グループ毎に変更はできません。
 - ダイレクトプリントで[ドリル印刷]を指定する と、1ページ目は[印刷前ストップ]で停止しま す。操作パネルにドリル印刷の画面が表示され るので印刷枚数を入力してください。

6 <確定ボタン>にタッチする



<+>、<*>の各キーでも、入力ボックスを上か ら下へ移動することができます。

重要

ここで設定した[プログラム]を登録する場合は、 <登録/呼出ボタン>にタッチしてください。 登録については、P131[プログラムの登録]をご覧 ください。



<確定ボタン>にタッチする 設定した[プログラム]でプリントできる状態 になり、元の画面に戻ります。



枚数または組数を入力後に<確定ボタン>にタッ チしなくても、<スタート>キーを押せばプリン トを開始することができます。

プログラムの登録

よく使う[プログラム]の設定を登録しておくと、呼び 出して繰り返しプリントできます。 [プログラム]の設定は、3種類あわせて 12件まで登 録できます。

プログラムを設定する

P.129「プログラムの設定」の手順1~3を行います。

2 プログラム画面で、<登録/呼出ボタン >にタッチする



未登録のボタンにタッチする

3



実線で表示されている未登録のボタンにタッ チしてください。(グレー表示のボタンは、登録 済みです。)

4 <確定ボタン>にタッチする プログラムを呼び出してプリントする プログラムリスト BBC 2 受課で 登録済みのプログラムを呼び出して、プリントや設定 ∰ [P-04 内容の変更ができます。 設定内容を登録します よろしいですか? ₩ji < P > キーを押す :::# Ŵ <u>消 確</u>心 取 123(4)(5)(6)設定した[プログラム]が登録され、[プログラ (8)(9)ムリスト]画面に戻ります。 (*)必要があれば、P.133「プログラムの名称入力」 の手順3へ進んでください。 2 登録後、[プログラムリスト] 画面の<閉じるボタ <プログラムリストボタン>にタッチす 参考 ン>にタッチすると、プログラム画面に戻ります。 る プログラム画面の<確定ボタン>にタッチする と、登録したプログラムでプリントできます。 プログラム種類 1 原稿プログラム 016 90 【Program-A】合計枚数:620 Ð m 枚数 組数 枚数 組数 登録 B. 02G DDD 016 20 × 2 046 50 × 5 9 深邃之上武 多原稿 ドリル印刷 1 原稿 026 30 × 1 056 50 × 3 Ŗ, プログラムリスト。 036 40 × 2 066 70 × (オールC) THE BY P.1/9 3 呼び出したいプログラムのボタンにタッ チする ______ プログラムリスト 呼び出すボタンを選択してください ロフゴ1年 發 県 エイゴ2年 呼出 リカ1年 名称変更 [エイズ1年] 消 去

参考

1色プリント時には、「ドリル印刷]の「プログラム] は呼び出せません。

P--06

P--06

P--07

P--03

0

000 000 000 000 000

67

+

閉じる

01G

02G

. 0 470

閉じる

P--03

P--10

P--11

P--12

<確定ボタン>にタッチする

呼び出したプログラムでプリントできる状態 になり、元の画面に戻ります。



Δ

プログラム印刷を中止したい場合は、<P>キー を押して(または機能一覧画面で<プログラムボ タン>にタッチして)、表示される画面で<プログ ラム OFF ボタン>にタッチしてください。 <リセット>キーを押してプログラム印刷を中止 した場合、そのときの他の設定もリセットされて しまいます。

プログラムの名称入力

登録した[プログラム]の名称は、用途や目的に合わせ て変更できます。



いろいろな機能を使う

4 名称を変更したい[プログラム]のボタン 名称入力画面について ―― にタッチする 英小文字 取消」確定 5 名称入力 文字ボタンにタッチして、1 文字ずつ入 力する 英小文字 英大文字 カナ カナ拡張 名称入力 取消」確定」 1234567890 P-04 qwert yuiop asdf ghjkl 英小文字 英大文字 カナ カナ拡張 zxcv bn m フラヤマハナタサカア _ = <u>+ - _</u> , <u>. ! ~</u>(ヲリユミヒニチシキイ ンルヨムフヌツスクウ 英大文字 取消」確定 名称入力 入力したい文字種類にタッチすると表示が切 [3⊵] り替わります。 英小文字 英大文字 カナ カナ拡張 ● P.134「名称入力画面について」 1234567890 QWERT YUIOP 名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、 ASDF GH JKL 参考 ZXCVBNM 押して消去できます。 **| # \$ % & @ () []** 6 すべての文字を入力後、<確定ボタン> カナ にタッチする 名称入力 取消」確定 (3)¢ 入力した名称が登録され、[プログラムリスト] 画面に戻ります。 英小文字 英大文字 カナ カナ拡張 フラヤマハナタサカア ヲリユミヒ ニチシキイ ンルヨムフ ヌッスクウ <u>。レーメヘ ネテセケエ</u> カナ拡張 名称入力 取消。確定 英小文字 英大文字 カナ カナ拡張 ャァ全学年 パバダザガ ユィ県校組 ピビヂジギ ョゥ市期部 プブヅズグ ッ エ 町 科 課 ペ ベ デ ゼ ゲ _____オ 月 係 ポ ボ ド ゾ ゴ カナは最大で5文字まで、英数字は最大で 参考 10 文字まで入力できます。 数字は、テンキーでも入力できます。 • 入力した文字を消去するときは< ◀C ボ タン>にタッチしてください。1 回タッチ するたびに、1文字消去されます。



かんたん分版とドリル印刷を組み合わせて使う

「かんたん分版」により、原稿をドラム1、2へと分版します。(問題用紙がドラム1、解答を書き換えたものがドラム2 へ分版されます)

また、「ドリル印刷」により、ドラム 1 によるプログラム印刷と、グループ(クラス)の変わり目にドラム 1、2 両方を 使った 2 色プリントを行います。

これを利用することで、以下の例のようなプリントができます。

例:学校でテストを実施するときに、生徒用の問題用紙と先生用の解答入りの問題用紙を、一度の操作でグループ (クラス)ごとの枚数に分けてプリントする

原稿は、1色(黒)で印刷された問題用紙(生徒用)に、推奨のペンで解答を書き加えたもの(先生用)を使用します。

グループ(クラス)ごと印刷枚数

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 |
|-------------------------|------|------|------|------|------|
| 生徒用 (ドラム①での1色プリント) | 50 枚 | 40 枚 | 55 枚 | 53 枚 | 48 枚 |
| 先生用 (ドラム①+②での2色プリント) | 2枚 | 2枚 | 2枚 | 2枚 | 2枚 |



「ドリル印刷」はプログラム印刷の 1 種です。あらかじめクラスの人数と解答入りの問題用紙の枚数を登録しておくと、 次回からはそのプログラムを呼び出すだけでドリル印刷ができます。

参考



4 プリントを実行する

● <スタート>キーを押す

[かんたん分版]の設定に従って、読み取り、分版、製版が続けて行われます。

2 試し刷りを確認する

仕上がりの印刷位置や濃度、排紙位置などを確認し、必要に応じて調整します。

- •印刷位置(● P.101)
- •印刷濃度(● P.100)
- インターバル印刷(
 P.105)
- 排紙ウイング特殊(● P.107)

❸ <スタート>キーを押す

[ドリル印刷]の設定に従って、印刷が行われます。

メモリー機能を使う

[メモリー]

プリント時に行った各種の設定を[メモリー]に登録できます。 以後、同様の設定でプリントをしたいときには、登録したメモリーを呼び出すだけで、同じ設定のプリントが できます。

[メモリー]には、最大 10 件を登録できます。

[メモリー]に登録できる設定は、次のとおりです。

■2色/1色プリント時(製版/印刷)

| 原稿モード | 印刷濃度 |
|----------|-----------------------|
| 網点 | 印刷位置 |
| 読取濃度 | 重送検知 |
| 省インク | 特殊給紙調整 |
| 変倍 | 排紙ウイング特殊 |
| 周囲余白 | 連続 |
| 用紙サイズ | AF オート製版 [※] |
| フルサイズ製版 | インターバル印刷 |
| ブックモード | テープ仕分け* |
| 連写 | かんたん分版 |
| レイアウト原稿 | オート再製版 |
| コントラスト強調 | エアブロー |
| トーンカーブ選択 | 分離ファン |
| とじしろ | Nアップ |
| 印刷枚数 | AF 読取面指定 [※] |
| 印刷速度 | |

※オプション装着時のみ

■ RLP モード(連携機 Prioa(別売)接続時のみ)

| 原稿モード | 両面※ |
|----------|----------|
| 網点 | 電子ソート** |
| 読取濃度 | 区分積み※ |
| 変倍 | ステープル* |
| 周囲余白 | パンチ* |
| 用紙トレイ | 中綴じ※ |
| ブックモード | メールボックス* |
| レイアウト原稿 | ソート* |
| コントラスト強調 | 回転ソート** |
| トーンカーブ選択 | フェイスアップ* |
| 印刷枚数 | リバース出力* |
| | ブックレット※ |

※オプション装着時のみ

メモリー機能を使う [メモリー]



設定内容を確認する

<▼ボタン>にタッチして、最後の項目まで確 認してください。



変更したい内容があるときは、<取消ボタン>に タッチして、設定しなおしてください。

<確定ボタン>にタッチする

設定がメモリーに登録され、[メモリー]画面に

必要があれば、P.142「メモリーの名称入力」の 手順2へ進んでください。



, 設定内容を確認して、<確定ボタン>に タッチする

| 設定確認 | 取消」確定 |
|-------------------------|------------------|
| 【RISO NEWS】呼出 | −τή ⁴ |
| 01. 原稿モード | = 文字 () |
| 02. 網 点 03. 読取濃度 | = UFF |
| 04. 省インク | = OFF |
| U5. 发倍 06. 周囲余白 | = 100% = OFF |
| 07. 用紙サイズ | = オート |
| 08. フルサイズ製版 | = OFF |
| US. ノックモート 10. 連 写 | = 0FF |

呼び出したメモリーの設定でプリントできる 状態になり、機能一覧画面に戻ります。 通常の手順でプリントを行ってください。

呼び出したメモリーを取り消したい場合は、<リ
 セット>キーを押してください。

かんたんな呼び出しかた __

ディスプレイにタッチせずに、キー操作だけでメ モリーの呼び出しができます。 たとえば、「M-2」(登録番号 2)を呼び出してプリ

ここえは、「M-2」(豆球番号 2)を呼び出してフリントしたい場合には、<*>→(2)(登録番号)→ <スタート>の順にキーを押せば、「M-2」が呼び出されてプリントが開始されます。



メモリー機能を使う [メモリー]


取消]

= 文字

= 0FF

= オート = 0FF

= 100%

= OFF

= オー

= OFF = 0FF

= OFF

確∩定

m

펳

4 <確定ボタン>にタッチする メモリーを消去する 設定確認 【RISO NEWS】 消 去 機能一覧画面で<メモリーボタン>に 01. 原稿モード 02. 網 占 タッチする 03. 読取濃度 04. 省インク 05. 変倍 06. 周囲余白 ○ドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください 07. 用紙サイズ 基本 お気に入り 機能一覧 08.フルサイズ製版 09.ブックモード 環境設定 10. 連 写 プログラム <u>___</u> ___ ___ 連 写 [メモリー]が消去されます。 かんたん連写 00115 Nアップ 5 <閉じるボタン>にタッチする P.1/5 ► £ 機能一覧画面に戻ります。 2 <消去ボタン>にタッチする メモリー 閉じる 消去するボタンを選択してください 登録 1 M-1 ß M-8 呼 出 2 RISO NEWS M-7 名称変更 M-3 M--8 • M-4 M-9 去 h 5 M-5 0 M--10 3 消去するボタンにタッチする メモリー 閉じる 消去するボタンを選択してください 登録 M-1 6 M--{: 1 2 RISO NEWS 呼 出 M-7 μų_] 名称変更 3 M--8 . 消 去 M-9 M-5 0 M--10 5 • 消去して良い設定内容かどうかを確認してくだ 重要 さい。 • 消去確定後は復帰させることはできません。

機密書類の複製を防止する

[機密]



いろいろな機能を使う

印刷

機能一覧 占有延長

割り込み印刷を防止する

[占有延長]



- オートシャット OFF 時刻:次の日のその時刻までシャット OFF しません。
- P.166「初期設定を変更する [環境設定] / 省エネモード」

機能一覧画面でく占有延長ボタン>にタッチ

する



「占有時間」が延長されます。

アイドリングをする







稿をセットすることなく、同じ設定で再度マスターを製版できます。 原稿の向きを180度回転させて再製版することもできます。 [オート再製版]は、一定枚数の印刷が終了した時点で、自動的に[再製版]

最後に製版したマスターのデータは、本機に一時的に記憶されています。 [再製版][オート再製版]は、そのデータを利用することで、あらためて原

を実行する機能です。 何千、何万枚単位で大量に印刷する場合、印刷完了前にマスターが劣化することがあります。 あらかじめ[オート再製版]を「ON」にして印刷を開始すると、印刷枚数が一定枚数(再製版開始枚数)に到達 した時点で[再製版]して自動的に印刷を続行するため、刷りはじめから終わりまで、一定の品質で印刷でき

した時点で「再製版」して自動的に印刷を続行するため、刷りはじめから終わりまで、一定の品質で印刷できます。

- ・ 2色プリント時には、[再製版]を行うドラムを選択することができます。1色プリント時には、使用しているドラムが[再製版]されます。
 - 2 色プリント時には、ドラム1とドラム2のマスターを入れ替えて[再製版]することができます(刷り色の入れ替え)。
 - パソコンから送ったデータでも[再製版]できます。ただし、複数ページのジョブ終了後は、最終ページのみ実 行されます。
 - [180 度回転]をして[再製版]することができます。
 - [再製版]は次の状態では実行できません。
 - 起動直後
 - <リセット>キーを押した後
 - 「オートクリア」実行後 🖝 P.163「初期設定を変更する [環境設定]」
 - 機密実行後
 - カードカウンター(オプション)集計製版後
 - 製版完了前にエラーが発生したとき
 - RLP 出力実行後
 - ●「オート再製版」時の試し刷りの枚数は、環境設定で変更できます。● P.167
 - 印刷位置を調整した場合、[再製版] [オート再製版] を行うと、試し刷りが 2回(印刷位置が調整されていない 状態と調整されている状態)出てきます。





再製版する [再製版] [オート再製版]



[オート再製版]を使う

[オート再製版]を使うには、あらかじめ[環境設定]で 「オート再製版設定」を有効にしておく必要がありま す。



[環境設定]で[オート再製版設定]を有効にしていないと、[オート再製版]は[ON]にできません。

P.163「初期設定を変更する [環境設定]」

- [オート再製版]は、以下の場合には「OFF」になります。
 - [プログラム]による印刷を選択したとき
 - <モード>キーを押したとき
 - ダイレクトプリントで次のジョブを処理しようとしたとき

参考

工場出荷時には、有効にした場合は1000枚ごとに 再製版し、3枚試し刷りを行う設定になっていま す。この設定は[環境設定]で変更することができ ます。

P.167「初期設定を変更する [環境設定]/
 オート再製版設定」

機能一覧画面で<オート再製版ボタン>に タッチする



[オート再製版]が「ON」になります。

この状態でプリントを実行すると、指定した枚数の印刷後に、[オート再製版]が実行されます。



<オート再製版ボタン>がグレー表示されている ときは、「環境設定」の「オート再製版設定」で「有 効」を選択してください。 ● P.167「オート再製版設定」

最後のページからプリントする

[逆順印刷]



プリントモードを選ぶ

1 色プリントまたは 2 色プリントを選びます。 プリントモードの選びかたは、P.25「プリント モード」をご覧ください。

原稿、印刷用紙をセットする

2

3

Δ

5

6

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプ ション)に原稿をセットします。 2色プリントの場合は、ドラム1の原稿からセッ トします。

原稿のセットについては、P.37「原稿をセット する」をご覧ください。

機能一覧画面で<逆順印刷ボタン>に タッチする



ボタンが白黒反転表示に変わり、[逆順印刷]が [ON]になります。

各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定します。

<スタート>キーを押す

1 枚目の原稿を読み取ります。 自動原稿送り装置(オプション)を使用してい る場合は、すべての原稿の読み取りが終わった 後、手順7 に進んでください。

原稿が複数ページある場合は、原稿を入れ替えて手順4、5を繰り返す

<読取終了ボタン>にタッチする



製版開始確認の画面が表示されます。

8

<はいボタン>にタッチする

保存データ用の製版基本画面が表示されます。 各種出力指示の変更ができます。

P.53「出力指示の変更」

参考

q

製版をせずに逆順印刷を中止したい場合は、<いいえボタン>にタッチしてください。1つ前の手順に戻るときは、<戻るボタン>にタッチしてください。

<スタート>キーを押す

1 ページ目の製版が開始され、保存データ用の 印刷基本画面が表示されます。

● テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

┫ <スタート>キーを押す

印刷が開始されます。 以降は、手順9~11を繰り返してください。



いろいろな機能を使う

その他

機能一覧

AF読取面指定

自動原稿送り装置への原稿の セット方法を選択する [AF 読取面指定]

RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を使って原稿を読み取る場合、原稿の読み取り面を「オモテ面」、 「ウラ面」、「両面」の3種類から選択できます。



RISO オートフィーダーDX-1 に原稿をセットしたときは、「ブックモード」、「A4 →ハガキ変倍」、「B5 →ハガキ 変倍」を併用できません。

- 原稿をセットしたときの上面が「オモテ面」です。 セットした原稿は、上から順に読み取られます。
 - 「環境設定」で片面原稿の読み取り面の初期設定(オモテ面またはウラ面)を変更できます。 P.164「初期設定を変更する [環境設定] / AF 読取面変更※」

AF 読取面指定

■ オモテ面→片面

セットした原稿のオモテ面(上面)を読み取って、片面にプリントします。





「自動振分」機能を「有効」にしている場合や、「レイアウト原稿」機能を使う場合は、必ず「オモテ面→片面」に設定してく ださい。

■ ウラ面→片面

セットした原稿のウラ面(下面)を読み取って、片面にプリントします。

印刷物



■ 両面→片面

店箱

A

セットした原稿の両面を読み取って、片面にプリントします。原稿は、オモテ面→ウラ面の順に読み取られます。原 稿に合わせて「原稿セット方向」と原稿の「ページめくり方向」を指定してください。

| 尿恒 | |
|----|--|
| | |
| | |





「2色プリント」設定時は、「両面→片面」の設定はできません。(「両面→片面」設定後、2色プリントに設定すると、「オモテ 面→片面」または「ウラ面→片面」に戻ります。)

両面原稿に白紙が含まれている場合、白紙のページも読み取ってからプリントされます。

自動原稿送り装置への原稿の セット方法を選択する [AF 読取面指定]

■ 原稿のセット順と印刷用紙の排出順

RISO オートフィーダーDX-1 にセットした原稿は、上から順に読み取られ、読み取られたものから印刷されます。



「ウラ面→片面」の場合、最終原稿(いちばん上の原稿)から読み取るので、最終原稿が画面上の「原稿 01」になります。

読み取り面の指定

機能一覧画面で< AF 読取面指定ボタン >にタッチする ① 〇製版できます 基本 お気に入り 機能一覧 環境設定 .;; ~ - - ト 興教(夢 機密 テープ仕分け 省インク インターバル印刷 特殊用紙設定 AF読取面指定 m • P.4/5 7 2 原稿の読み取る面を選んでボタンにタッ チする 取消][確定 AF読取面指定 【オモテ面 → 片面】 オモテ面 → 片面 ╔┯₽ ウラ面 → 片面 自動原稿送り装置に セットした原稿の オモテ面〈上面〉だけが 読み取られます 両面 → 片面 「両面→片面」を選んだとき 参考 画面に「原稿セット方向」と「ページめくり方向」の ボタンが表示されるので、それぞれ選んでタッチ します。 [取消][確定] AF読取面指定 オモテ面 → 片面 【両面 → 片面】 →₽₽ F. ウラ面 → 片面 自動原稿送り装置に セットした原稿の 両面が読み取られます 両面 → 片面

原稿セット方向 ページめくり方向 🕙 左右開き

各読み取り面についての詳細は、P.153 を参照 してください。

▲ 國家 (國家)

(気)左向き

はA見読める向き

<確定ボタン>にタッチする

3

「AF 読取面指定」の設定が反映され、各基本画面 に戻ります。

現在の「AF 読取面指定」の設定内容を確認したい 参考 ときは、もう一度[AF 読取面指定]画面を開いてく ださい。

> その時点で選択されている読取面のボタンが反転 して表示されます。

自動原稿送り装置への原稿の セット方法を選択する [AF 読取面指定]

両面原稿から用紙の両面に印刷する ――

RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を使うと、「AF 読取面指定」の読み取り面ボタンを使い分けることで、簡単に両面原稿から用紙の両面にプリントできます。 【例】両面原稿から用紙の両面にプリントする



157

[180 度回転]

ダイレクトプリント時、パソコンからの原稿データ を 180 度回転して製版することができます。天側に 広範囲のベタがある原稿データなどに使用すると、 紙詰まりを防ぐことができます。

本機が原稿データを受信後、機能一覧画面で< 180 度回転ボタン>にタッチする



[180 度回転] が設定されます。

P.2/2

参考 パソコンから原稿データを送信するときは、「連続 モード」を[OFF]または[製版前ストップ]に設定 しておいてください。

 \triangleright







各ユーザーの利用枚数を確認する

[利用枚数集計]



お知らせ日を設定する 利用枚数を出力する 機能一覧画面で<利用枚数集計ボタン> 機能一覧画面で<利用枚数集計ボタン> にタッチする にタッチする ()ドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください ①2 Oドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください 基本 ▼お気に入り▼機能一覧 基本 お気に入り 機能一覧 環境設定 環境設定 ハイスピード ハイスピード 特殊用紙設定 特殊用紙設定 利用枚数集計 利用枚数集計 排紙ウイング特殊 排紙ウイング特殊 AF読取面指定 IZIIP m AF読取面指定 認証P h RLP両面 RLP両面 • P.5/5 > • P.5/5 **>>** 2 集計出力から出力先を選んでボタンに <お知らせ日登録ボタン>にタッチする 7 タッチする 利用枚数集計 閉じる 利用枚数集計 閉じる 集計出力 プリント メール送信 集計出力 USBメモリへ出ナ x I ISR X お知らせ日設定 お知らせ日登録 お知ら お知らせ日登録 お知らせ日設定 お知らせクリア 3 選択した方法で出力され、基本画面に戻りま <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッ す。 チして、お知らせ日を指定する <メール送信ボタン>は、メール設定されてい お知らせ日登録 [取消][確定] ない場合は、選択できません。設定方法につい お知らせ日を設定してください ては、お買い上げの販売会社(あるいは保守・ サービス会社)にお問い合わせください。 毎月20日 < USB メモリへ出力ボタン>は、USB メモリ が挿入されていない場合はグレー表示となり、 設定しない 選択できません。 (テンキー入力も可能) <xx日ボタン>がグレー表示されている場合は、 <設定しないボタン>にタッチしてください。 テンキーでも入力できます。 参考 設定する日付は1~31の間で選択できます。 • お知らせ日を29日~31日のいずれかに設定し た場合、日数が少なく、その日がない月(2月な ど)は、最終日にお知らせ画面が表示されます。 • お知らせ日を設定しない場合は、<設定しない ボタン>にタッチします。

各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]



ユーザーごとに POP 登録する

[認証 POP 登録]

通常、基本画面の POP エリアに表示される機能は初期設定で登録されていたり、管理者によって変更された りしますが、認証設定がされている場合は、「認証 POP 登録」でユーザーごとに POP エリアの機能を登録で きます。

POP エリアに表示できる機能は、モード(製版/印刷/スキャン/ RLP)ごとに個別に登録可能です。(各 モードとも4件まで)



—POP エリア

「認証 POP 登録」は、他のユーザーに変更されることなくユーザーごとに保持され、そのユーザーとして認証したときに表示されます。



• 「認証設定」で「本体認証、認証プリント」に設定されている場合に、「認証POP登録」を設定することができます。

• 「認証 POP 登録」を設定していないときは、POP エリアには通常 POP 登録されている機能が表示されます。 通常の POP 登録については、P.173「よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り]」を参照してくだ さい。



ユーザーごとに POP 登録する [認証 POP 登録]

いろいろな機能を使う

4 登録する機能名にタッチする [取消][確定] 機能選択 登録しない オート再製版 機密 テープ仕分け 省インク インタ南バル印刷 特殊用紙設定 h ハイスピード P.4/5 Γ \blacktriangleright • 表示された画面内に目的の機能名がないとき 参考 は、<▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチ して表示を切り替えてください。 • 機能を登録しないときは、<登録しないボタン >にタッチしてください。 • 登録済みの機能名は、グレー表示されタッチで きません。 オプションを使用しているときのみ表示される 機能があります。 5 <確定ボタン>にタッチする [認証POP登録]画面に戻り、ボタンに選択した 機能名が登録されます。 複数の機能を登録するときや、登録済みの機能 を他の機能に変更するときは、手順3~6を繰 り返します。 6 <確定ボタン>にタッチする 機能一覧画面に戻ります。

初期設定を変更する

[環境設定]

使用状況に合わせて、各種機能の初期設定を変更できます。変更された内容を設定しなおすこともできます。



参考

 認証設定で管理者が登録されている場合、環境設定には管理 者としての認証が必要です。● P.120

 使用環境により[環境設定]が設定できない([環境設定]タブ が表示されていない)場合があります。詳しくはお買い上げの 販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。

初期設定(設定の初期値)とは、電源を「ON」にしたときや、<リ セット>キーを押したときに表示される設定値です。



その他

環境設定

設定可能な項目一覧

《》は工場出荷時の設定です。

| 表示セレクトボタン | 設定項目 | 設定内容 |
|--------------------------------|---|---|
| | POP 登録 各モードの基本画面に、よく使う機能を登録できます。 | ☞ P.173「よく使う機能を画面に 登録する [POP] [お気に入り] 」 |
| | お気に入り登録 各モードのお気に入り画面に、よく使う機能を登録できます。 | ● P.173「よく使う機能を画面に 登録する [POP] [お気に入り]」 |
| | 初期画面設定 起動直後に最初に表示される画面を変更できます。 | モード選択画面·① ②2 色製版/ 印刷·①1 色製版/印刷·②1 色製版/ 版/印刷·スキャン·RLP [※] |
| | 起動アニメ選択 起動したときに表示される画面(アニメ)を変更できます。 | RISO ロゴ・《MD ロゴ》・ マスコット |
| <表示設定> | 液晶表示調整 画面の背景色と濃さおよび明るさを変更できます。 | 背景色:《白》·青 濃さ:-5~《0》~+5 明るさ:-2~《0》~+2 |
| ジョ: ホール 画面で 表示 画面に | ジョブリスト表示切替 ホールドデータ選択画面/受信ジョブ画面/ USB データ選択 画面で表示されるファイル名表示のしかたを変更できます。 | 《先頭表示》·末尾表示 |
| | 表示言語 画面に表示される言語を設定します。 設定を変更する場合は、販売会社(または保守・サービス 会社)にお問い合わせください。 | #01~ |
| | 原稿モード基本設定 [原稿モード]の初期設定を変更します。 | 《文字》 ·写真·文字/写真・ えんぴつ |
| < 基本設定 > | 読取濃度基本設定 [読取濃度]の初期設定を変更します。 | 1・2・3・4・5・《オート》 |

初期設定を変更する [環境設定]

| 表示セレクトボタン | 設定項目 | 設定内容 |
|-----------|---|--|
| | 分版ボタン登録 ソフトデジタイザ(MD5650/5450はオプション)装着時に、こ こで選択した分版が、機能一覧画面でボタン表示されます。 | 《OFF》・赤色分版・書き込み分版・書 き込み分版(インク)・エリア指定分 版・トレース分版・デジタイザ分版 |
| | 変倍基本設定 [変倍]の初期設定を変更します。 | 《100%》・オート |
| | 印刷速度基本設定 [印刷速度]の初期設定を変更します。 | 1.2.(3).4.5 |
| | 印刷濃度基本設定 [印刷濃度]の初期設定を変更します。 | ドラム① 1·2·《3》·4·5 ドラム② 1·2·《3》·4·5 |
| | AF 読取面変更 [※] RISO オートフィーダーDX-1(オプション)装備時、片面 原稿の場合の[AF 読取面指定]の初期設定を変更します。 ● P.153「自動原稿送り装置への原稿の セット方法を選択す る [AF 読取面指定]」 | 《オモテ面→片面》・ウラ面→片面 |
| | OP 連続自動設定 [※] オプションの自動原稿送り装置装備時に、[連続]を自動的に [ON]にするかしないかを設定します。 | ≪ON》·OFF |
| <基本設定> | AF オート製版基本 [※] 自動原稿送り装置(オプション)装備時に[AF オート製版]の初 期設定を変更します。 | ON·《OFF》 |
| | 連続基本設定 [連続]の初期設定を変更します。 | ON·《OFF》 |
| | 重送検知基本設定 重送(用紙が重なって送られること)を検知するかどうかを設定 します。 | ≪ON»·OFF |
| | テープ仕分け基本設定 [※] ST ソーター(オプション)装備時に[テープ仕分け]の初期設定を 変更します。 | ON·《OFF》 |
| | 排紙ウイング特殊基本 排紙ウイング位置の基本設定を変更します。 | //_+ _ L \\ #+T#+ |
| | 重要 この設定は、あらかじめ特殊用紙の設定をしている場 合にのみ表示されます。設定が必要な場合は、お買い上 げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡 ください。 | 《⊿ート》・特殊 |
| | 特殊排紙調整基本 エアブローおよび分離ファンの初期設定を変更します。 | エアブロー :①《ON》·OFF :②《ON》·OFF 分離ファン :①OFF·1·2·3·《4》 :②OFF·1·2·3·《4》 |
| | | 分離ファンプラス∶②OFF・1・2・ 《3》・4 |

| 表示セレクトボタン | 設定項日 | 設定内容 |
|-----------|--|---|
| 私小ビレンドホラン | | |
| <基本設定> | ノオルダ基本設定 ^(**) メモリーカード DM128CF(MD5650/5450 はオプション)装着 時に、スキャンモード(オプション)で読み取ったデータを保存す るフォルダと、パソコンから送信されてきたデータを保存する フォルダを指定します。 | スキャン保存先 6フォルダ 受信ジョブ保存先 6フォルダ |
| | 用紙サイズ登録 不定形の印刷用紙を使用するときに、あらかじめ用紙のサイズを 登録します。 | ☞ P.175「不定形サイズを登録する [用紙サイズ登録]」 |
| | 不定形原稿サイズ固定 不定形サイズの原稿を定形サイズとして読み取るように指定し ます。 | 《OFF》·A3·B4·A4·A4 縦·B5· B5 縦 |
| | フォルダ名変更 [※] メモリーカード DM128CF(MD5650/5450 はオプション)装 着時に、データ保存用フォルダのフォルダ名を変更します。 | 6 フォルダ |
| | 名入れ用データ[※] メモリーカード DM128CF(MD5650/5450 はオプション)装 着時に、[名入れ]で合成するホールドデータを登録します。 | ● P.193「保存データを活用する [オーバーレイ] [名入れ]」 |
| | CI 切替 「内蔵 CI」と「外部 CI」の設定を切り替えます。 IS300(オプション)装着時は「外部 CI」に設定します。 | 《内蔵 CI》·外部 CI |
| <システム> | 外部 CI 情報設定[※] IS300(オプション)装着時に、本機をネットワークに接続するた めの IP アドレスを設定します。IP アドレスの設定は、本システ ムを取り込むネットワークの管理方法によって異なります。 | |
| | 参考 入力先を切り替えるときは、直接ボタンにタッチするか、<*>キーを押して移動させてください。 [外部 Cl 情報設定]ボタンを押して「ネットワーク接続が確認できません」のメッセージが表示された場合は、[中止]にタッチした後、IS300 が起動完了するまで待ってから再度操作してください。 | DHCP サーバーを使用するとき < DHCP を使用するボタン> |
| | 本機 IP アドレス設定 本機をネットワークに接続するための IP アドレスを設定しま す。 IP アドレスの設定は、本システムを取り込むネットワークの管 理方法によって異なります。 | 手入力で IP アドレスを設定する とき <手入力するボタン> <▲ボタン><▼ボタン> またはテンキー |
| | ・入力先を切り替えるときは、直接ボタンにタッチするか、<*>キーを押して移動させてください。 ・ [本機 IP アドレス設定]ボタンを押して「RISORINC-NETを起動中です」のメッセージが表示された場合は、「中止]にタッチした後、RISORINC-NET(ネットワークカード)が起動完了するまで1分程度待ってから再度操作してください。 | |
| | 周囲余白縮小率 周囲余白縮小率の初期設定を変更します。 | 90 ~ 99% (工場出荷時 94%) |

初期設定を変更する [環境設定]

| 表示セレクトボタン | 設定項目 | 設定内容 |
|-----------|---|--|
| | 自動 90 度回転 原稿台ガラスまたは自動原稿送り装置(オプション)にセットし た原稿に対し、給紙台にセットされている用紙のサイズは適合し ているが向きが一致しない場合、画像を 90 度回転して製版する かしないかを設定します。 | ≪ON»·OFF |
| | 日時設定 本機に内蔵されている時計の設定を行います。 時刻は[●情報]画面に表示されます。 ● P.224「<情報ボタン>について」 | 年/月/日 時:分 |
| | 連写待ち時間 「多原稿連写」をするときに、次の原稿をセットするまでの待ち時 間を設定します。 | 《15 秒》·30 秒 |
| | 次原稿待ち時間 2色プリント時に、ドラム2用の原稿をセットするまでの待ち時 間を設定します。 | 5分・《無限》 |
| | 占有時間 本機を操作していない状態で、一定の間、パソコンからの原稿 データの出力指示を制限する(受信のみ可能)時間を変更します。 | OFF·《15 秒》·30 秒·60 秒 |
| | 占有延長時間 [占有延長]を設定したときにデータの割り込みを制限できる時 間を変更します。 | 《5 分》·10 分·30 分 |
| <システム> | オートクリア設定 一定時間使用しない場合に、設定を自動的に初期設定に戻しま す。オートクリア実行後には「再製版」機能は使えません。「再製 版」をよく使う場合は、「無効」に設定することをおすすめします。 | オートクリア設定 無効・《有効》 動作までの時間 1~60分(工場出荷時5分) |
| | 省エネモード 本機を一定時間使用しないときに、電源を自動的に切ったり、ス リープ状態にすることができます。 ●無効 電源スイッチの「ON」/「OFF」に従い、「省エネモード]に は切り替えません。 ・オートスリープ パソコンからの原稿データの受信のみを可能にし、その他 は電源を切った状態にします。 ・オートシャット OFF 電源を自動的に切ります。(データを受信しません) 参考 「プロテクト」が有効に設定されている場合は、「無効」 に設定することはできません。また、「オートスリープ」 「オートシャット OFF」の動作までの時間は1分に固定 され、時間変更できません。 | 省エネモード 無効・《オートスリープ》・ オートシャット OFF 動作までの時間 1~60分(工場出荷時5分) |
| | シャット OFF 時刻 設定した時刻になると、本機の電源を自動的に切ります。 ただし、設定した時刻に本機(外部接続機器を含む)を使用してい たり、データを受信していたときには、[シャット OFF]されませ ん。 | シャット OFF 時刻 《無効》·有効 シャット OFF する時間 時:分 |

| 表示セレクトボタン | 設定項目 | 設定内容 |
|-----------|--|--|
| | 認証設定 認証機能の設定を行います。 認証有無 認証を必要とする範囲を設定します。 ユーザー登録 本機の管理者や、認証できるユーザーの設定をします。 グループ名称 グループの名称を変更します。 カウントオールクリア 各ユーザーの製版/印刷利用枚数をすべてクリアします。 認証方式 認証をするときの方法を設定します。 | ● P.114「認証設定をする [認証 設定]] |
| | プロテクト プロテクト機能を設定します。 ● P.178「印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテク ト]」 | 《無効》·有効 |
| <システム> | オートアイドリング 一定以上の時間、未使用の状態が続いたとき、次の製版時に自動 的に[アイドリング]を行うかどうかを設定します。 また、[オートアイドリング]開始までの時間、および動作回数を 設定できます。 | オートアイドリング 無効・《有効》 未使用時間 1~《12時間》 動作回数 《1》~3回 |
| | オート再製版設定 設定した印刷枚数に達すると、自動的に使用中のマスターを廃棄 して再製版するように設定できます。再製版後に試し刷りする枚 数も設定できます。 | 《無効》・有効 再製版開始枚数 1~9999枚(工場出荷時1000枚) 再製版試し刷り枚数 0~99枚(工場出荷時3枚) |
| | 最低印刷枚数 最低印刷枚数を設定します。 設定枚数未満の印刷枚数が入力されたときは、製版できません。 設定値を変更できないようにロックをかけることができます。詳細についてはお買い上げの販売会社(あるいは、保守・サービス会社)にお問い合わせください。 | 《無効》·有効[2 ~ 99 枚] |
| | サプライ在庫管理 現在の在庫数が確認できるように、購入した本数を入力しておきます。 在庫が[確認在庫数]で入力した本数以下になると、画面に確認メッセージが表示されます。 参考 入力先を切り替えるときは、直接ボタンにタッチするか、 < * > キーを押して移動させてください。 | 購入した本数 《0》~99本 確認在庫数 《0》~99本 |

初期設定を変更する [環境設定]

| 表示セレクトボタン | 設定項目 | 設定内容 |
|---|--|---|
| <システム> | ブザー音 キー・ボタン操作時やエラー発生時のブザー音の有無を設定します。 ON キー・ボタン操作時やイベントの発生・終了時などブザー音が 設定されている場面すべてでブザー音を鳴らします。 限定 キー・ボタン操作時、本機の復帰動作中にはブザー音を鳴らし ません。 OFF ブザー音は鳴らしません。 | OFF·限定·《ON》 |
| | RLP 情報設定 RLP 接続設定 本機に連携機 Prioa(別売)を1台だけ接続する(他の連携機やパ | P.207「連携機を使うための準備 (RLP 情報設定]」 《通常接続》・1 対 1 接続 |
| < RLP > 連携機 Prioa(別売) 接続時のみ表示され ます。 | ソコンがネットワークにない)場合は、[1対1接続]にします。 自動振分枚数 出力先を切り替えるときの基準の印刷枚数を設定します。入力した印刷枚数が自動振分枚数未満のときは連携機から、設定した枚数以上のときは本機からそれぞれ出力されます。 ・初期値は 20枚に設定されています。 ・[自動振分枚数]を[有効]に設定しているときは、[最低印刷枚数]は設定できません。 | 有効[自動振分枚数] 2 ~ 99 枚/無効 (工場出荷時 20 枚) |
| | RLP 両面待ち時間 両面印刷をするときに、2枚目の原稿をセットするための待ち時 間を設定します。 | 《15 秒》·30 秒 |
| | 受信ジョブ自動振分 パソコンから受信したデータを[自動振分枚数]の設定値で自動振分するかしないかを設定できます。 参考 [自動振分枚数]が[無効]に設定されていると、この項目はグレー表示になり設定できません。 | 《有効》· 無効 |
| | 色ドラム自動振分設定 1 色プリント時に黒以外のドラムがセットされている場合に、 [自動振分枚数]が設定されていると、現在セットされているドラ ム色で印刷するかどうかを設定します。 | 《有効》· 無効 |
| | RLP 情報取得時間 連携機からの情報を本機が取得するタイミングを設定します。 | 10 ~ 999 秒 (工場出荷時 15 秒) |
| くデジタイザ> (MD5650/5450 は オプション) | 使用色基本設定 ツールバー左右基本 サブツールバー基本 原稿表示方向基本 | ● ソフトデジタイザの取扱説明書 をご覧ください。 |
| | | |

初期設定の変更のしかた

設定の変更は、本機が動作していないときに行うこと ができます。

プリントの諸設定をしていない状態で行ってください。



 認証設定で管理者が登録されている場合、[環境 設定]画面を表示するためには管理者認証が必 要です。
 P.120

• [環境設定]画面では、現在の設定が各項目のボ タンの右側に表示されています(一部を除く)。







< OK ボタン>にタッチする



参考

認証設定で管理者が登録されている場合は、認証 画面が表示されます。管理者認証を行ってくださ い。既に管理者として認証済みのときは、認証画面 は表示されません。 管理者以外のユーザーの認証は許可されません。

■ 認証方式が「暗証番号」の場合

テンキーで管理者用の暗証番号を入力し、<確 定ボタン>にタッチします。



■ 認証方式が「USB メモリ」の場合

USB スロットに、管理者認証用の USB メモリ を挿入します。





認証されると、[環境設定]画面が表示されます。

初期設定を変更する [環境設定]

いろいろな機能を使う

3

る

設定を変更する機能のボタンにタッチす

| 環境設定 | 正 終了 |
|-------|--------------------|
| | |
| すべて | POP登録 |
| 表示設定 | お気に入り登録 |
| 基本設定 | 初期画面設定 🔵 = モード選択画面 |
| システム | |
| RLP | 液晶表示調整 |
| デジタイザ | P.1/11 |

■ 表示セレクトボタンについて

[環境設定]で設定できる機能は、グループに分 けられています。表示セレクトボタンにタッチ すると、そのグループの機能名のみが表示され るので、変更したい機能を速やかに見つけるこ とができます。

| [すべて] | .すべての機能を表示 |
|---------|----------------|
| [表示設定] | .画面表示に関する機能だけを |
| | 表示 |
| [基本設定] | .各機能の初期値を設定する機 |
| | 能だけを表示 |
| [システム] | .システム全体に関する機能だ |
| | けを表示 |
| • [RLP] | |
| | DIDエードに思する機能だけ |

を表示 (連携機(別売)を接続してい るときにのみ表示されます)

• [デジタイザ]ソフトデジタイザ(MD5650/ 5450はオプション)に関する機 能だけを表示

設定を変更する

4

機能によって、設定画面が表示されるものとさ れないものがあり、また、設定画面による変更 のしかたも異なります。

次のタイプを参考にして変更を行ってください。

■ 設定画面なし

(選択肢が二者/三者択一のもの)

機能名のボタンにタッチするたびに、設定値が 切り替わります。

ボタン右側の表示で、設定値を確認しながら設 定してください。



■ 設定画面あり

ボタン選択タイプ

初期値にするボタンにタッチします。



目盛り調節・数値増減タイプ

<▲ボタン><▼ボタン>にタッチして、数値 を増減させます。

数値を変更する設定ではテンキーによる数値 の入力も可能です。



設定部分が複数あるタイプ

設定を変更するボタンにタッチした後、各ボタンやテンキーなどで設定を変更します。

| シャットOFF時刻 | 取 消 確 定 |
|---|-------------------------------------|
| 設定した時刻に電源を OFFにします | |
| <u>無</u> 効 有 効 | |
| | (テンキー入力も可能) |
| - | |
| | ▼ |
| シャットOFF時刻 | ▼ |
| シャットOFF時刻 設定した時刻に電源を OFFにします | ▼ <u>取消〕確定</u> 時 分 |
| シャットOFF時刻 設定した時刻に電源を OFFにします 無効 有効 | ▼ 取消 <u>確定</u> 時分 ■:□ ▼ |

<有効ボタン>にタッチすると、画面右側の設 定ができるようになります。

文字入力タイプ

名称を変更するボタンにタッチした後、名称を 入力します。

ボタンにタッチすると、[名称入力] 画面が表示 されます。

| フォルダ名変更 | 取 | 消 | 確定 |
|---|---|------------------------------|---|
| 🗅 1_folder | | | |
| 🗅 2_folder | | 5 | |
| 🗀 3_folder | | | |
| 🗀 4_folder | | | |
| 🗀 5_folder | | | |
| 🛅 6_folder | - | | |
| | | | |
| | | | |
| L, | ▼ | | |
| 名称入力 | ▼ | 消 | <u>a z</u>) |
| 名称入力 1_ ■ | ▼ IR:: | 消] | |
| 名称入力 1_ | ▼ 取: 】 【 取: 】 】 【 】 】 | 消〕(| 確定 |
| 名称入力 1- 英小文字 英大文字 フ ラ マ マ ハ | ▼ 取: 】 4℃」 カナ (ナ) タ | 消〕(〕()(サ | 確空 カナ拡張 カアア |
| 名称入力 1- 夏小文字 夏大文字 フラヤマハ フリユミヒ | ▼ 取] 4℃] | 消〕 ■ (〕 サ 〕シ | <u>確</u> 空 カナ拡張 カア キイ |
| 名称入力 1- 英小文字 英大文字 フラヤマハ フラヤマハ フリユミヒ シルヨムフ | | 消〕 () サ) シ) ス | 薙 空 カナ拡張 カナ 加張 フ ク ク ク |
| 名称入力 1_ 夏小文字 夏大文字 フラママハ フラレマスト | ■ 取 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | 確 空 カナ拡張) カ ア) キ イ |

文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力します。 文字種類のボタンにタッチして表示を切り替 え、入力したい文字を探してください。 ☞ P.134「名称入力画面について」

データ指定タイプ

ホールドデータを指定する画面が表示されます。 指定のしかたについては、P.190「保存データを 呼び出してプリント する [ホールド][USB メ モリ]]をご覧ください。



初期設定を変更する [環境設定]

いろいろな機能を使う

5 <確定ボタン>にタッチする 本機IPアドレス設定 🛛 取 消 🗋 🔐 定 手入力する DHCPを使用する ▲ 0 (テンキー入力も可能) 設定画面のないタイプの場合は手順6に進んで ください。 ● <取消ボタン>にタッチすると、変更を中止し 参考 て[環境設定]画面に戻ります。 • 設定値は、機能名の右隣に表示されます(一部を 除く)。 6 <終了ボタン>にタッチする 各基本画面に戻ります。

よく使う機能を画面に登録する

[POP] [お気に入り]

よく使う機能を各モードの基本画面の「POP エリア」または「お気に入り画面」に登録することができます。 機能一覧画面から探す手間を省き、ワンタッチで本機能を設定したり、設定を呼び出したりすることができ ます。

機能は、モード(製版/印刷/スキャン/ RLP)ごとに個別に登録可能です。

各モードで登録できる件数

| 基本画面 | 製版 | 印刷 | スキャン | RLP |
|--------|----|----|------|-----|
| ポップエリア | 4 | 4 | 4 | 4 |
| お気に入り | 9 | 9 | — | 6 |



| ▲ へどう人士の原稿たわった」 ス | |
|---------------------|------|
| (12) スタートキーを押してください | |
| 基本お気に入り機能一覧 | 環境設定 |
| ブック モード メモリー | |
| 連 写 プログラム | |
| 機 密 【省インク | |
| | |

お気に入り画面

- それぞれのモードには、そのモードで有効な機能を登録すると便利です。
 - P.2「機能一覧」

参考

- POP エリア、お気に入り画面には、出荷時にあらかじめ機能が設定されていますが、変更できます。
- 登録できる機能は、機能一覧画面から実行できる機能です。
- 連携機 Prioa(別売)を複数台接続して使用しているときに、RLP モードの「POP エリア」または「お気に入り 画面」の登録・変更をする場合は、登録・変更したい連携機を選択した後に、[環境設定]で設定しなおしてくだ さい。
- オプションを接続した場合は、POP(お気に入り)の未登録ボタンに自動的に登録されます(連携機のオプションの場合は、[環境設定]での登録が必要です)。
- 認証の範囲が「本体認証」のときは、ユーザーごとに POP エリアに表示される機能を設定できます(認証 POP 登録)。設定方法については、P.161「ユーザーごとに POP 登録する [認証 POP 登録]」を参照してください。

よく使う機能を画面に登録する [POP] [お気に入り]



以下の手順では、POP エリアへの登録とお気に入り画面への登録を一度に説明します。

環境設定画面で< POP 登録ボタン>ま たはくお気に入り登録ボタン>にタッチ する 環境設定 終了 □► すべて POP登録 お気に入り登録 表示設定 基本設定 初期画面設定 _____= モード選択画面 起動アニメ選択 = マスコット システム RLP 液晶表示調整 デジタイザ P.1/11 2 登録するモードにタッチする 取消」確定」 POP登録 製版 印刷 スキャン RL P h ボタン1 ボタン3 ボタン4 プレビュー 表示 かんたん 連写 ለፈን⊦° ∽ኑ" 分版 3 登録するボタンにタッチする 登録済みのボタンにタッチすると、別の機能に 変更することができます。 Δ 登録する機能名にタッチする 機能選択 取消」確定 登録しない 重送検知 インターズル印刷 アイドリング 面 h 機密 オ 栭 省インク 学社另合 \frown P.4/5 • •表示された画面内に目的の機能名がないとき 参考 は、< ◀ボタン>または< ▶ボタン>にタッチ してページを切り替えてください。 • 違う機能を選択してしまったときは、<登録し ないボタン>にタッチしてください。 • 登録済みの機能名は、グレー表示されタッチで きません。 オプションを使用しているときのみ表示される

機能があります。

- 5 <確定ボタン>にタッチする
 [POP 登録]または[お気に入り登録]画面に戻り、選択した機能名が表示されます。
 複数の機能を登録するときや、登録済みの機能を他の機能に変更するときは、手順3~5を繰り返します。
 6 <確定ボタン>にタッチする
 - **く確定ボタン>にタッチする** お気に入り画面(または POP エリア)の場合も 同様です。
- 7 <終了ボタン>にタッチする 製版または印刷基本画面に戻ります。

不定形サイズを登録する

[用紙サイズ登録]

A4 や B4 などの定形サイズ以外の用紙を使用するときは、あらかじめ用紙サイ ズを登録してください。 一度登録した用紙は、製版基本画面の[用紙]ボタンで選択して、使用することが ша できます。 用紙登録は30件まで登録可能です。また、登録した内容を変更、消去することも できます。 登録できる用紙サイズ 最小 100mm × 148mm ~最大 320mm × 555mm ただし、長さが 436mm 以上の場合は、長尺モードで印刷されます。 ● P.176 奉書(長尺の用紙)にプリントするときは 不定形用紙は必ず登録してください。登録せずに使用すると、原稿の読み取りが正しく行われないことがありま 重男 す。 3 <システムボタン>または<▶ボタン> 用紙サイズの登録と名称変更 にタッチして、画面に<用紙サイズ登録 ボタン>を表示させる 各モードの基本画面で[環境設定]タブに タッチする 4 <用紙サイズ登録ボタン>にタッチする ①20 Uドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください 環境設定 基本 お気に入り 機能一覧 環境 終了 設定 , 原稿(A4) 読取濃度 用紙(変倍 すべて 用紙サイ ズ登録 100% 「 」 国定] = OFF 不定形原 表示設定 基本設定 フォル a l かんたん 分版 かんたん 連写 プレビュ 表示 システム 名入れ用データ MAZE° - N" RLP CI切替 = 内蔵CI (1) ブラック ② レッド READY READY 日情報 デジタイザ P.1/5 2 < OK ボタン>にタッチする 5 未登録のボタンにタッチする ①2 〇ドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください 用紙サイズ登録 閉じる 基本 お気に入り 機能一覧 環境設定 登録するボタンを選択してください 環境設定に入ると、現在設定中の 登録 11-1 W200×H300 mm 各種プリント機能設定はリセット されます 0-2 W150×H220 mm 変 更 W240×H300 mm U-3 名称変更 -Îĥ-(未登録) 消去 (未登録) P.1/6 認証画面が表示されたら、認証操作を行ってく ださい。操作については、P.169「初期設定の変 登録済みのボタンはグレー表示されます。 更のしかた」手順2を参照してください。



不定形サイズを登録する [用紙サイズ登録]

|いろいろな機能を使う

6 用紙サイズを入力する



通紙方向(給紙台にセットする方向)に対して、 W(幅)と H(長さ)を設定します。<▲ボタン> または<▼ボタン>にタッチするか、テンキー で入力してください。

<確定ボタン>にタッチする

必要があれば、引き続き名称を変更します。

名称を変更しない場合は、<閉じるボタン>に タッチしてください。

<名称変更ボタン>にタッチする

名称を変更するボタンにタッチする

し 文字ボタンにタッチして、1 文字ずつ入 力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切 り替わります。

● P.134「名称入力画面について」



8

名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、 < ◀ボタン>にタッチ、または< C >キーを押し て消去できます。

┃ 名称入力後、<確定ボタン>にタッチする

参考 名称を修正するときは、手順8からやりなおしてく ださい。

12名称を確認して<閉じるボタン>にタッ チする

用紙サイズ登録を終了し、[環境設定]画面に戻 ります。

奉書(長尺の用紙)にプリントするときは_

本機では、「ユーザー登録用紙」として登録することにより、436~555mm(給紙方向に対する天地の長さ)までの長さの用紙を使用して印刷できます。

[用紙サイズ登録]画面で、給紙方向に対する天地の長さを436mm以上に設定すると、その用紙は 「長尺用紙」として扱われます。

登録した「長尺用紙」を製版/印刷基本画面の用 紙ボタンにタッチし、用紙サイズ画面で選択する と、本機は[長尺モード]に切り替わります。



奉書の種類や紙質によって通紙できない場合 や、印刷物の内容(画像の位置)によって部分 的に汚れが発生する場合があります。詳しく は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・ サービス会社)にご相談ください。

「長尺モード」について

- 本機が[長尺モード]のときは、メッセージエリアの表示が【製版できます[長尺]】または【印刷できます[長尺]】に変わります。
- [長尺モード]では、給紙方向に対する天地の長 さが 436mm ~ 555mm までの長さの用紙に 印刷できます。ただし、最大印刷面積および天 地印刷位置の調整範囲は、通常時と同様です。
 ● P.15「印刷範囲について」
 ● P.101「印刷位置を調整する [印刷位置調
- 節][①=②位置追従]]
 [長尺モード]では、印刷のタイミングや速度が、通常の印刷時とは異なります。あらかじめご了承ください。
- [長尺モード]時の給紙台、排紙台のセット方法 については、お買い上げの販売会社(または保 守・サービス会社)にお問い合わせください。



印刷済みのマスターを安全に管理する

[プロテクト]

印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されない ようにドラム上のマスターを廃棄することができます。(「機密」機能といいます。) また、使用済みのマスターは排版ボックスに送られます。それらのマスターが、悪意を持つ第三者によって排 版ボックスから取り出され、流出することを防ぐため、本機ではプロテクト機能を用意しています。

■「プロテクト」設定

「プロテクト」設定を有効にすると

- ●印刷終了後、「機密」を実行して、ドラムに巻き付いたままのマスターを廃棄するよう促すメッセージが表示されます。
- 印刷待機中に排版ボックスが取り出せないようにロックされます。(ただし、排版部でマスターがつまったり、排版ボックスがいっぱいになった場合は、排版ボックスを取り出すことができます。)

■ 排版ボックスの施錠

排版されたマスターの流出を防ぐため、排版ボックスを管理者以外が取り外せないように、南京錠等でロックすることができます。(南京錠は、市販のものをお買い求めください。錠を差し込む穴の直径は7mmです。) 排版ボックスの施錠は、ロックレバーを取り付けてある場合のみ行うことができます。



プロテクト機能の状態と制限範囲について

| プロテクト機能の 状態 | 制限範囲 |
|--------------------|---------------------------|
| プロテクト:無効 南京錠:なし | 印刷機利用制限なし ^{※1} |
| プロテクト:有効 | 機密実行メッセージ表示 |
| 南京錠:なし | 排版ボックスのロック ^{※ 2} |
| プロテクト:無効 | 機密実行のメッセージ表示なし |
| 南京錠:施錠 | 管理者以外の排版処理は不可 |
| プロテクト:有効 | 機密実行のメッセージ表示 |
| 南京錠:施錠 | 管理者以外の排版処理は不可 |

※1 通常の「機密」機能は任意で実行できます。

※2 一部、排版部でマスターがつまったり、排版ボックスがいっぱいになった場合には、ロックが解除されます。


印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]

■「プロテクト」設定を解除する

「プロテクト」設定の解除は、必ず管理者が行ってくだ さい。

各モードの基本画面で [環境設定]タブ にタッチする





< OK ボタン>にタッチする



認証画面が表示されたら、認証操作を行ってく ださい。操作については、P.169「初期設定の変 更のしかた」手順2を参照してください。

3 <プロテクトボタン>にタッチする



「しばらくお待ちください」と表示された後、 「プロテクト」設定が解除されます。

原稿データを保存して活用する

- 182 原稿データの保存と活用方法について
- 184 紙原稿をデータ保存する [スキャンモード]
- 190 保存データを呼び出してプリントする [ホールド] [USB メモリ]
- 193 保存データを活用する [オーバーレイ] [名入れ]
- 202 保存データをコピー/移動する

原稿データの保存と活用方法について

本機には、原稿データを保存する機能があります。この機能を使用するためにはメモリーカード DM128CF (MD5650/5450 はオプション)または USB メモリが必要です。

保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントすることができます。

原稿データの保存方法には、印刷機本体内のメモリーカード DM128CF(MD5650/5450 はオプション)に保存する「ホールド」と、USB メモリに保存する「USB メモリ」があります。どちらも、次のように原稿データを保存できます。

● 紙原稿を印刷機のスキャナーから読み取って保存

• パソコンで作成した原稿データを保存

ここでは、紙原稿の保存方法と、保存してある原稿データのプリント方法を説明します。パソコンで作成したデータの保存方法については、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。



•「ホールド」または「USBメモリ」に保存したデータで、以下のことができます。

- 保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントすることができます。

- 複数ページのホールドデータの場合は、奇数ページや偶数ページ、またはページを指定してプリントすることができます。

● P.192「[ホールドデータ呼出]画面/[USB データ呼出]画面の使いかた」

- ホールドデータと紙原稿を組み合わせてプリントすることができます。
 - P.190「保存データの呼び出しかた」

「ホールド」は、本機内のメモリーにある6個のフォルダを、本機の使用者全員で使うことができます。
 共有のデータを保存して利用する場合などに便利です。
 「USBメモリ」は、USBメモリごとに6個のフォルダが作られるので、USBメモリを個人あるいは部署などで管理すれば、個別にデータ管理をしたい場合などに便利です。



天災や不測の事態により、本機のホールドデータや USB メモリデータが損傷した場合のデータの保証はいたしかねます。 重要な書類は、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをおすすめします。

参考

メモリーカード DM128CF または USB メモリの空き容量が少なくなったときや、不要になった保存データを削除したいときは、簡単に削除できます。空き容量は、[ホールドデータ選択]画面または[USB データ選択]画面に表示されます。

- P.192「[ホールドデータ呼出]画面/[USB データ呼出]画面の使いかた」
- 原稿データを保存するフォルダは、メモリーカード DM128CF に 6 個、USB メモリの場合は、メモリごとに 6 個用 意されています。共有で使用する場合には、フォルダのルール(例えば、部署ごとに分ける、データの種類ごとに分け るなど)を決めておくことをおすすめします。
- ・メモリーカード DM128CF のフォルダ名は、環境設定で変更できます。
 P.165「初期設定を変更する [環境設定] / フォルダ名変更※」
- USBメモリのフォルダ名を変更する場合は、付属のCD-ROMに収録されている「リソーユーティリティソフトウェア」(理想USBメモリマネージャー)を利用してください。(パソコンのエクスプローラ画面などで変更すると、本機で認識されなくなります。)

☞「リソーユーティリティソフトウェア取扱説明書」(CD-ROM)

ホールドデータや USB メモリデータは、並び順を入れ替えることができます。
 P.191「データの並び順を変える」

紙原稿をデータ保存する

[スキャンモード]

スキャンモードは、紙原稿を本機のスキャナーで読み取り、ホールドデータまたは USB メモリデータとして 保存する機能です。

スキャンモードで保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントできます。

同じ印刷物をプリントする場合には、あらためて原稿を読み込ませる手間を省くことができます。

● P.190「保存データの呼び出しかた」

また、原稿の紛失や、経年変化による劣化の心配もありません。



RISOコントローラIS300(オプション)を装着している場合は、本機のホールド機能を使用できません。スキャ ンモードで読み込んだデータは IS300 に保存されます。



参考 メモリーカード DM128CF(MD5650/5450 はオプション)または USB メモリの空き容量が少なくなったと きは、不要になった保存データを削除してください。 ● P.192 [[ホールドデータ呼出] 画面 / [USB データ呼出] 画面の使いかた」

スキャンモードでは、以下の機能を使うことができます。機能の使いかたについては、それぞれの機能の説明 をご覧ください。

- 原稿モード(● P.58)
- 読取濃度(● P.60)
- 変倍(● P.61)
- 網点(● P.66)
- ■コントラスト強調(● P.67)
- トーンカーブ選択(● P.68)
- 連写、かんたん連写(● P.70)
- N アップ(● P.77)
- ブックモード(☞ P.80)
- ・プレビュー表示(● P.92)

以下は、スキャンモード固有の機能です。

- サイズ
 - P.189「保存サイズを指定する」
- 色指定

紙原稿をスキャンする

原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプ ション)に原稿をセットします。 原稿のセットについては、P.37「原稿をセット する | をご覧ください。

スキャンモードを選ぶ

2

モード選択画面で<スキャンボタン>にタッ チします。

● P.22「画面の移り変わり」

スキャンモード選択後、以下の[サイズ] 画面が 表示された場合は、保存サイズを選択して、< 確定ボタン>にタッチしてください。

| サイズ | 取消 | 育 [確定] |
|-----|-------|--------|
| | | |
| オート | A4 | B5 D |
| A3 | A4 D | A5 |
| B4 | B5 | A5 D |
| | P.1/2 | |

スキャン基本画面が表示されます。 メッセージエリアに、読み取る原稿のデータ保 存後のページが表示されます。



データ情報を設定する

データ名、保存場所、オーナー名を設定します。 P.187「データの情報設定をする」

必要な機能を設定する

4

5

原稿を読み取る際に必要な機能を設定します。

- 「プレビュー表示」を設定しておくと、スキャン 参考 した内容を保存する前に確認できます。 P.92「製版前に印刷イメージを確認する [プレビュー表示]]
 - 設定できる機能については、P.184を参照してく ださい。
- 不定形の原稿を読み取る場合は、「サイズ」の設定 重要 をしてください。
 - P.189「保存サイズを指定する」

原稿の色を指定する

データを呼び出して印刷するときの印刷色を 指定します。

印刷色を指定しておくと、印刷の際に指定色と 異なる色のドラムがセットされている場合に、 メッセージが表示されます。

工場出荷時には、「指定しない」に設定されていま 参考

す。1色プリントの原稿の場合、特に指定する必要は ありません。

● <色指定ボタン>にタッチする



[色指定] 画面が表示されます。

2 <1色指定ボタン>または<2色指定ボタン> にタッチする



2色プリントの原稿の場合は、<2色指定ボタン >にタッチします。

紙原稿をデータ保存する [スキャンモード]

⑥ ドラム色を確認する

ドラム1とドラム2のインクの色を変更する場合は、それぞれの<変更ボタン>にタッチし、 表示された色の中から指定してください。







カラーが変更され、[色指定]画面に戻ります。

6 <確定ボタン>にタッチする

原稿の色指定が確定され、スキャン基本画面に 戻ります。

手順 2 で[2色指定]を選択した場合は、メッセージエリアに、読み取る原稿のデータ保存後のページと使用ドラムが表示されます。

6 <スタート>キーを押す

スキャンが開始されます。

参考 「プレビュー表示」が設定されている場合は、ディ スプレイにスキャンした画像が表示されます。画 像を確認し、<閉じるボタン>にタッチしてくだ さい。

 原稿が複数ページある場合は、手順 4、6 を繰り返す

2色プリント用の原稿のときは、ドラム2用の原稿をセットします。

参考 自動原稿送り装置(オプション)に原稿をまとめて セットした場合は、すべての原稿を同じ設定でス キャンします。

<終了ボタン>にタッチする

1つのデータとして保存する原稿のスキャンが 終了したら、<終了ボタン>にタッチしてくだ さい。



確認の画面が表示されます。

9 <はいボタン>にタッチする

データが保存されます。

<戻るボタン>にタッチすると、1 つ前の操作 に戻ります。

<いいえボタン>にタッチすると、スキャンし た内容を破棄します。



8

スキャンモードを終了する場合は、<モード> キーを押してください。



紙原稿をデータ保存する [スキャンモード]

原稿データを保存して活用する



❷ 設定するオーナーのボタンにタッチする



オーナーが確定され、スキャン基本画面に戻り ます。



保存サイズを指定する

スキャンする原稿(データ)の保存サイズを設定します。 原稿台ガラスにセットする場合、原稿が不定形の場合、 実際の原稿とは異なるサイズで保存する場合は、[サイ ズ]画面で設定します。

定形サイズの原稿を自動原稿送り装置(オプション)に セットした場合は、「オート」でサイズが検知されるた め指定する必要はありません。そのままのサイズで保 存されます。

スキャン基本画面で[サイズ] ボタンに タッチする



[サイズ]画面が表示されます。



る

設定する用紙サイズのボタンにタッチす



[オート]を選ぶと、セットされた原稿と同じサ イズに自動的に設定されます。



3

サイズを「オート」にした場合、変倍の「オート」は 選択できません。

<確定ボタン>にタッチする

用紙サイズが確定され、スキャン基本画面に戻 ります。

保存データを呼び出してプリント する [ホールド][USB メモリ]

保存データの呼び出しかた

USBメモリデータを呼び出す場合は、あらかじめ本機 の USB スロットに USB メモリを挿入しておいてく ださい。USB メモリデータのプリント方法の詳細は、 P.48「パソコンデータをプリントする [ダイレクトプ リント][USB メモリ]」を参照してください。



• 管理者によって認証機能が設定されていると、 操作の途中で、認証を求められる場合がありま す。詳しくは、P.47「認証画面での操作について」 を参照してください。

認証設定で「認証方式」が「暗証番号」に設定されている場合、各モードの基本画面表示中にUSBメモリが挿入されると、自動的に[USBデータ選択] 画面が表示されます。手順2へ進んでください。

機能一覧画面で<ホールドボタン>に タッチする



[ホールドデータ選択]画面または[USBデータ 選択]画面(認証なし)が表示されます。(画面に <認証ありボタン>が表示されています。)

2 参考

「認証あり」または「認証なし」を選択する

認証設定で「認証有無」が「認証なし」に設定されて いる場合、<認証ありボタン>は表示されません。

■ 認証設定されているデータを呼び出す場合

<認証ありボタン>にタッチします。



■ 認証設定されていないデータを呼び出す場合

その他

機能一覧

ホールド/USBメモリ

画面に<認証なしボタン>が表示されている 場合は、<認証なしボタン>にタッチします。





認証あり

別のフォルダにホールドされているデータを 選ぶ場合は、フォルダのタブにタッチします。

USBメモリ

参考

3

 2色指定されたデータ^{**}、デジタイザ編集されたデー タ、認証プリントされているデータの場合は、それ ぞれのアイコンを表示します。

2:2色データ

表示設定

▶:デジタイザデータ

5:認証されているデータ

- ※ デジタイザで分版したもの、プリンタドライバから 分版指示をして本機にホールドしたデータ、および スキャンで色指定をした場合
- 保存データが画面に表示しきれない場合は、
 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして 表示させてください。
- [ホールド(USB)データ選択]画面右下のボタン (<ホールドボタン>または< USB メモリボタ ン>)で[ホールドデータ選択]画面と[USBデー 夕選択]画面の切り替えができます。

呼び出すデータを確認する

サムネイルで呼び出したいデータかどうかを 確認します。



5

6

Δ

2 色プリントのデータの場合は、右下の色名ボタン でサムネイルを切り替えることができます。



[ホールド(USB)データ呼出]画面では、ホール ドデータの確認や出力設定を行うことができ ます。

操作については、P.192「「ホールドデータ呼出] 画面/[USBデータ呼出]画面の使いかた」を参 照してください。

<呼出ボタン>にタッチする



ホールドデータ(USB メモリデータ)が呼び出 され、ホールドモードの製版基本画面が表示さ れます。

<スタート>キーを押す

データが製版されます。 以降は、通常の2色モード、1色モードの製版・ 印刷工程と同様の操作を行ってください。

データの並び順を変える

ホールドデータ(USB メモリデータ)を選択する画面 に表示されるホールドデータ(USB メモリデータ)の 並び順を変更することができます。



[ホールドデータ呼出]画面/[USB データ呼出]画面の使いかた

[ホールド(USB)データ呼出]画面の各部の意味は、以下のとおりです。 ここでは「ホールドデータ呼出」画面を例に説明します。



■ [出力範囲]

■ [コピー/移動]

照してください。

はホールドにコピー/移動できます。

複数のページのあるホールドデータ(USBメモリデータ)の場合、出力するページを指定することができます。

<出力範囲ボタン>にタッチすると、[出力範囲]画面が表示されます。 各ボタンにタッチすることで、すべてのページ、奇数ページのみ、偶数ペー ジのみを、それぞれ[昇順]または[降順]で出力するように設定できます。 ページ範囲を指定する場合は、ページの入力ボックスにタッチし、<▲ボ タン>または<▼ボタン>にタッチしてページを指定します。

ホールドとUSBメモリとの間で、保存データをコピー/移動します。[ホー

ルドデータ呼出]画面からは USB メモリに、[USB データ呼出]画面から

設定方法の詳細については、P.202「保存データをコピー/移動する」を参



正 取消 確定 USBメモリ 1_usb_folder □ 2_usb_folder □ 3_usb_folder □ 4_usb_folder ○ 5_usb_folder ○ 5_usb_folder ○ 5_usb_folder ② 2±容量: 777KB (90%)



■ [削除]

<削除ボタン>にタッチすると、確認画面が表示されます。<<確定ボタン>にタッチすると、このデータが削除されます。

原稿データを保存して活用する

保存データを活用する

[オーバーレイ] [名入れ]



保存データと紙原稿を組み合わせてプリントすることができます。 プリントモードによって、組み合わせのしかた、機能名が異なります。

■1色プリントモードのとき「オーバーレイ」

1 色プリント時に、紙原稿と保存しているデータを合成することができます。 たとえば、複数の原稿に、「見本」などの共通のスタンプを印刷する場合などに使用します。



•「オーバーレイ」は、次の機能とは併用できません。

- 省インク
- レイアウト原稿
- とじしろ
- ダイレクトプリント
- ホールド
- USB メモリ
- この機能を使用するためにはメモリーカードDM128CF(MD5650/5450はオプション)またはUSBメモリが必 要です。

■2色プリントモードのとき「名入れ」

2 色プリント時に、紙原稿と保存しているデータを、それぞれ別のドラムに製版し、2 色プリントすることが できます。

たとえば、学校の校章などを保存データに指定しておけば、連絡文書などを印刷する際、カラーの校章入りで 印刷することができます。



- この機能を使用するためにはメモリーカードDM128CF(MD5650/5450はオプション)またはUSBメモリが必 要です。
- [名入れ]では、本機のスキャナで読み込む紙原稿をドラム 1(黒ドラム)に、あらかじめ選択された保存データ をドラム2(カラードラム)に自動的に振り分けて製版します。 ドラムが両方ともカラードラムの場合は、紙原稿をドラム1に、ホールドデータをドラム2に自動で振り分け ます。 ドラムを任意に設定することはできません。







<呼出ボタン>にタッチする



[オーバーレイ]が設定され、機能一覧画面に戻 ります。

6 プリント操作をする

以降の操作については、P.42「1 色プリントする」の手順6以降をご覧ください。

保存データの合成のされかた

保存データはホールドされているサイズで合成 されます。原稿サイズや用紙サイズに合わせて拡 大/縮小することはできません。



合わせで合成されます。合成位置を調整すること はできません。

原稿と保存データで 2 色プリントする [名入れ] (2 色プリント時)

■ [名入れ]用データを登録する

[名入れ]は、[名入れ]用データに登録されているデー タを使用します。

名入れに使用する原稿を、あらかじめ「ホールド」に保存し、保存されているデータから名入れに使用する データを登録します。

[名入れ]用データは、最大 10 件まで登録できます。 保存データの作りかたについては、P.182「原稿データ の保存と活用方法について」をご覧ください。

各モードの基本画面で[環境設定]タブに

タッチする ①ドラム1の原稿をセットして スタートキーを押してください 基本 お気に入り 機能一覧 環境 _ 原稿(A4) 読取濃度 変倍 用紙 100% プレビュ[、] 表示 かんたん 連写 かんたん 分版 (1) ブラック (2) レッド READY READY | 日情報

2 < OK ボタン>にタッチする



[環境設定]画面で<名入れ用データボタ ン>にタッチする

3

[環境設定]画面の操作については、P.169「初期 設定の変更のしかた」をご覧ください。



Δ 未登録のボタンにタッチする 名入れ用に呼び出せるデータは1ページのみです。 重要 複数ページ(または2色分版)あるデータの場合は、印 名入れ用データ 閉じる 刷したい側のカラー(ドラム)のページを選択します。 登録するボタンを選択してください 登録 N-6 h <呼出ボタン>にタッチする 滚 煛 N-7 治杵変更 N-8 □ 取 消 □ 呼 ∩出 」 ホールドデータ呼出 油売 N-9 N-4 【FAX 送信表.doc 1 オーナー:RISO 受信日時:09/10/2 m. ŀイズ:A4 N-5 N-10 9 実線で表示されているボタンが未登録です。 登録済みのボタンはグレー表示されます。 < P.1/1 🕨 [ホールドデータ選択画面]が表示されます。 [名入れ用データ]画面に戻ります。 5 [名入れ]用にする保存データを選ぶ 8 <閉じるボタン>にタッチする ホールドデータ選択 閉じる 名入れ用データ 閉じる オーナー:RISO 受信日時:09/10/2 保存場所:10→1_fc 【FAX 送信表.doc 1 1 folder 空き容量: 116MB(90%) P.1/1 m サイズ:A4 申請用紙.doc Admn 09/09/01 . FAX送信表.doc RISO 09/09/01 2月刊サークル RISO 09/09/01 五線譜.doc RISO 09/09/01 ▼ 他のデータに変更 表示設定 ● [ホールドデータ選択] 画面の操作のしかたは、 参考 P.190「保存データを呼び出してプリント する [名入れ]用データを変更する場合は、<他のデー 参考 タに変更ボタン>にタッチします。[ホールドデー [ホールド][USB メモリ]]をご覧ください。 夕選択]画面が表示されます。 認証が設定されているデータは選択できません。 [名入れ]用データが登録され、[名入れ用デー 6 保存データを確認する タ]のリスト画面に戻ります。 サムネイルで呼び出したいデータかどうかを 名入れ用データ 閉 N-1に登録しました 確認します。 登録 N-8 N-1 複数のページ(版)がある場合は、<◀ボタン> 変 更 N-2 N-7 またはく▶ボタン>にタッチして表示させて 名称変更 8.45 21-5 ください。 消去 N-4 N-9 2色プリントのデータの場合は、右下の色名ボタン 参考 ₩-5 N-10 でサムネイルを切り替えることができます。 ホールドデータ呼出 取消」呼出 【月刊サークル サイズ:A4 必要があれば、P.197「名入れデータに名前を付 1 オーナー:RISO 受信日時:09/10/25 10:00 ける一の手順2へ進んでください。 120 Second P 10.20 Sec. E:1493233 9 <閉じるボタン>にタッチする 1.44.5 Freedorfn" ▲① ブラック [環境設定]画面に戻ります ② レッド P.1/2 > <終了ボタン>にタッチする





 ● ア.92[製版前に印刷イメージを確認する [プレビュー表示]]

6 <スタート>キーを押す

紙原稿と名入れデータが製版され、試し刷りが 印刷されます。

以降は、P.39「2枚の原稿で2色プリントする」の 手順 13 以降と同様の操作を行ってください。



<呼出ボタン>にタッチする [名入れ用データ]画面に戻ります。

参考
[ホールドデータ呼出]画面については、P.192
[[ホールドデータ呼出]画面/[USB データ呼出]
画面の使いかた」をご覧ください。



9 <閉じるボタン>にタッチする [環境設定]画面に戻ります。

【 ● <終了ボタン>にタッチする

名入れデータの設定内容の消去

[環境設定]画面で<名入れ用データボタ ン>にタッチする

[環境設定]画面の操作については、P.169「初期 設定の変更のしかた」をご覧ください。



[名入れ用データ]画面が表示されます。



<消去ボタン>にタッチする



3

消去するボタンにタッチする





4

5

7







[名入れ用データリスト]画面に戻ります。

6 <閉じるボタン>にタッチする

<終了ボタン>にタッチする



参考

USBメモリ(USBメモリからホールドにコピー/ 移動する場合は、ホールド)のデータ容量が不足し ている場合は、以下のメッセージが表示されます。 USBメモリー覧にタッチして USBメモリのデー タを整理するか、中止にタッチしてコピー/移動 を中止してください。

USBメモリがいっぱい のため、保存できません USBデータの整理を 行なってください

> USBデータ選択」 中止

連携機 Prioa(別売)を接続して使う

| 206 | 連携機を使用したプリント機能について |
|-----|--------------------|
|-----|--------------------|

- 207 連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]
- 211 紙原稿を読み取り連携機から出力する [RLP モード]
- 213 連携機のオプション機能を使う
- 217 両面印刷のしかた [両面]

連携機 Prioa (別売)を接続して使う

連携機を使用したプリント機能について

本機を連携機 Prioa と接続して、より経済的なプリントが行えます。 連携機を使ったプリントには、[自動振分]と[RLP モード]の2つがあります。



連携機として接続できるプリンタは「Prioa」です。接続には、RISO Network Card が必要です。

自動振分

紙原稿やパソコンから送信したデータをプリントする場合、あらかじめ基準枚数(自動振分枚数)を設定しておくと、 印刷部数が基準枚数以上の部数のときは本機を、基準枚数未満のときは連携機を自動で選択し、プリントします。 USB メモリやメモリーカード DM128CF(MD5650/5450 はオプション)に保存した原稿データを呼び出してプ リントする場合も、枚数により自動的に振り分けてプリントができます。

☞ P.168「初期設定を変更する [環境設定]/自動振分枚数」、P.168「初期設定を変更する [環境設定]/受信ジョ ブ自動振分し、P.182「原稿データの保存と活用方法について」



*基準枚数と比較して自動で振り分け



参老

紙原稿の場合、製版の前に印刷枚数の入力が必要です。枚数が「0」で<スタート>キーを押すと、無条件で本機からプリ ントします。

[自動振分]は1色のプリントの場合のみ使用できます。2色プリントでは使用できません。

RLP モード

本機で原稿を読み取り、連携機からプリントします。両面印刷など、連携機の機能を使ったプリントができます。



連携機を使うための準備

[RLP 情報設定]

重要

本機と接続した連携機を使用できるようにするために、連携機の情報を本機に登録する必要があります。 ここでは、本機の[環境設定]の中の[RLP情報設定]についてのみ説明しています。その他のRLPに関するその他の[環境設定]については、P.168 を参照してください。

- 本機と連携機が接続されていることを確認してください。接続されていない場合、情報登録はできません。
- 情報の登録は、接続してある連携機(Prioa)1 台ずつにそれぞれ行ってください。
- 本機に連携機を1台だけ接続する場合は、[RLP 接続設定]を[1対1接続]にしてください。
- 連携機の情報が登録されていない場合、連携機からの出力や取り付けたオプションの機能は使用できません。



設定項目一覧

《 》は工場出荷時の設定です。

| 設定項目 | 設定内容 | 入力方法 |
|--|------|---|
| RLP 名称 連携機の名称を設定します。 参考 登録した名称は RLP モード画面で 表示されます。 | | 名称入力 取消 確定 夏小文字 英大文字 カナ カナ城環 夏・文字 英大文字 カナ カナ城環 フラヤマハナタサカア フラヤマハナタサカア フラヤマハナタ・サカア フリーミヒ ニチジキ・イ シルヨムフ ヌッスク・ウ シルヨムフ ヌッスク・ウ ・レ・メヘネテセケェ ・レ・メヘネテセケェ ワノモホノト ショオ 文字ボタンにタッチして、1 文字ずつ入力します。 その後、<確定ボタン>にタッチして、RLP 名称 を登録します。操作の詳細は、P.134「名称入力画 面について」を参照してください。 |
| IP アドレス設定 連携機をネットワークに接続するための IP アドレスを設定します。 ・ <テストプリントボタン>にタッ チすると、連携機へのデータ送信 テストが実行されます。 テストに成功したときは、連携機 からテストの結果のレポートが出 力されます。 ・ <テストプリントボタン>は、[環 境設定]の[本機 IP アドレス設定] が未設定のときは選択できません。 | | PLP情報設定 取消 確定 IP7h ⁺ UX設定 取消 確定 「IP7h ⁺ UX設定 取消 確定 「アストプリント 「アストプリント 「アストプリント (テンキー入力も可能) 「 「 ・ < |
| 排紙口数 標準トレイ以外で、排紙可能なトレイの数を 設定します。 ・他のオプションで設定されている 「トレイ No.」より小さい値を設定 したときは、他のオプションは[無 効]になります。 ・実際のトレイの数が設定したトレ イの数と異なる場合は、標準排紙 口から出力されます。 | 0~99 | RLP情報設定 取 消 確定 排紙口数 取 消 確定 排紙口数 取 消 確定 Prioaとそのオブション機器から排紙可能 & トレイの合計数を設定します (0-99) (テンキー入力も可能) (テンキー入力も可能) (テンキー入力もす。 ・ <本ボタン><▼ボタン>、またはテンキーを 押して入力します。 |



※ トレイ No. はお使いの Prioa の機種により異なります。

連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]

|連携機 Prioa (別売)を接続して使う

| 設定項目 | 設定内容 | 入力方法 |
|---|---------|--|
| 両面 [両面]機能がある場合に[有効]に設定します。 電子ソート [電子ソート]機能がある場合に[有効]に設定します。 中綴じ [中綴じ]機能がある場合に[有効]に設定します。 | 有効・《無効》 | |
| 回転ソート [回転ソート]機能がある場合に[有効]に設定します。 AF時自動フェイスアップ [AF時自動フェイスアップ]機能がある場合 | - | RLP情報設定 取消 確定 □1 □2 □3 □4 □5 □6 両面 = 無効 電子ソート = 無効 区分積み = 無効 |
| に[有効]に設定します。 リバース出力 [リバース出力]機能がある場合に[有効]に設 定します。 | | ステーブル = 無効 パンチ = 無効 中盛じ = 無効 ● ● 各ボタンにタッチするたびに、有効・無効が切り替 |
| AF 時自動リバース出力 [AF 時自動出力]機能があり、[リバース出力] が[有効]の場合に、[有効]に設定します。 メールボックス [メールボックス]機能がある場合に[有効]に 設定します | | わります。 入力方法は、[両面] [電子ソート] [中綴じ] [回転 ソート] [AF 時自動フェイスアップ] [メールボッ クス] [ソート] とも同じです。 |
| ソート [ソート]機能がある場合に[有効]に設定しま す。 | | |
| ブックレット [ブックレット]機能がある場合に[有効]に設 定します。 | | |

紙原稿を読み取り連携機から出力する

[RLP モード]

本機で原稿を読み取り、連携機 Prioa からプリントするモードを「RLP モード」と呼びます。 RLP モードでは、プリント枚数にかかわらず、連携機からプリントされます。

原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプ ション)に原稿をセットします。 原稿のセットについては、P.37「原稿をセット する」をご覧ください。

RLP モードに切り替える

本機の<モード>キーを押して、RLP モードに 切り替えます。

モード選択画面から RLP 基本画面を表示する 時は、< RLP 出力ボタン> にタッチしてくだ さい。

● P.22「画面の移り変わり」



RLP 基本画面が表示されます。



2

本機のディスプレイに[ネットワークカード起動 中です/Prioaの情報を取得中ですしばらくお待 ちください]と表示されたときは、ネットワーク経 由で連携機の情報を確認している状態です。メッ セージが消えるまでお待ちください。

以下の[原稿サイズ]画面が表示された場合は、 原稿のサイズに一致するボタンにタッチして、 <確定ボタン> にタッチしてください。

| サイズ | 取消 | |
|------|-------|-------------|
| | | _سا} |
| オート | Α4 |) <u>B5</u> |
| A3 [| A4 D | A5 |
| B4 | B5 | A5 D |
| | P.1/2 | |

用紙を指定する

3

連携機に用紙トレイが複数あるときは、<用紙 トレイボタン>を押して、トレイ(用紙サイズ) を指定してください。

 RLP 基本画面の<用紙トレイボタン>にタッ チする



2 設定する用紙サイズのボタンにタッチする



4 必要に応じて、プリントに必要な各種機能を設定する

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- レイアウト原稿
- プレビュー表示
- オーバーレイ

紙原稿を読み取り連携機から出力する [RLP モード]

参考

5

 ・連携機に両面印刷ユニットなどのオプションを 装着しているときは、オプション機能を使用す ることができます。● P.213「連携機のオプ ション機能を使う」
 ・ 印刷の速度の速度、位置は調節(調整)できませ、

印刷の速度や濃度、位置は調節(調整)できません。

本機で作業をしている途中にパソコンからデータが送信されると、パソコンからのデータを優先してプリントすることがあります。
 連携機からの出力を優先させるには、「占有延長」を設定しておくことをお勧めします。設定した時間内は、パソコンからのデータは処理されません。

● P.145「割り込み印刷を防止する [占有延長]」

印刷枚数を入力する

テンキーを使って入力します。入力枚数は、枚 数カウンターに表示されます。

参考 入力をまちがえたときは、<C>キーを押すと消去 できます。

6 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りが始まります。

読み取られた原稿データは連携機に送信され、 入力した枚数が連携機から出力されます。

印刷が終了したら、<リセット>キーを 押す

設定が初期値に戻ります。

- 複数の連携機をネットワーク接続 -しているとき

複数の連携機をネットワーク接続で使用してい るときは、出力先として使用する連携機を必要 に応じて切り替えることができます。



連携機のオプション機能を使う



設定可能な項目一覧

《 》は工場出荷時の設定です。

| 設定項目 | 設定内容 | 画面と入力方法 | 関連する環境設定 |
|---|---|---|--|
| メールボックス 出力先の排紙トレイを選択し ます。 | トレイ No.1~n([環境 設定]の[排紙口数]で設 定したトレイの合計数) | ○Pricaへ出力できます @ ● 5-14* 977 ● 5-14* 977 ● 100 ● | [排紙口数]: トレイ合計数を1以上に設 定 を考 [ソート]機能を [有効]に設定した 場合は、[排紙口 数]機能は設定で きません。 |
| 区分積み 複数ページの印刷物を1部 ずつ交互にずらして排紙する 機能を設定します。 | ON·OFF | _ | [区分積み]:[有効]を設定し たときのみ 表示 |
| ステープル 印刷物をとじる位置を設定し ます。 | [環境設定]の[ステープ ル位置]により異なりま す。 [固定]に設定時: ON·《OFF》 [可変]に設定時: 《OFF》·手前·中央·奥側 | OPrioaへ出力できます Q ステーブル 取消電気 () 取消電気 () () () <t< td=""><td>[ステープル]: [有効]を設定 したときのみ表示 「参考 [ソート]機能また は[区分積み]機能 を[有効]に設定し た場合は、[ステー プル]機能は設定 できません。</td></t<> | [ステープル]: [有効]を設定 したときのみ表示 「参考 [ソート]機能また は[区分積み]機能 を[有効]に設定し た場合は、[ステー プル]機能は設定 できません。 |
| パンチ 印刷物にパンチ穴を開ける機 能を設定します。 | ON·OFF | | [パンチ]:[有効]を設定した ときのみ表示 参考 [ソート]機能また は[区分積み]機能 を[有効]に設定し た場合は、[パン チ]機能は設定で きません。 |
| 中綴じ 2 つ折りで、中央を閉じた状 態で印刷物を排紙する機能を 設定します。 | ON·OFF | _ | [中綴じ]: [有効]を設定したときのみ 表示 |
| フェイスアップ 印刷面を上向きにして排紙す る機能を設定します。 | ON·OFF | | [フェイスアップ]: [有効]を設定したときのみ 表示 |
| リバース出力 自動原稿送り装置(オプショ ン)を使って読み取った原稿 を、逆順にして出力する機能 を設定します。 | ON·OFF | | リバース出力: [有効] に設定 したときのみ表示 |
| | | | - |
|--|---|---|---|
| 設定項目 | 設定内容 | 画面と入力方法 | 関連する環境設定 |
| ソート1 複数ページの原稿を、ページ 順序を保ったまま各トレイに 仕分けして出力する機能を設 定します。 | ON·OFF | | [ソート]: [有効]に設定したときのみ表示 を考 [区分積み]機能または[メールボックス]機能または[ステープル]機能または[ステープル]機能な[有効]に設定した場合は、[ソート]機能は設定できません。 |
| 電子ソート 複数ページの原稿を、ページ順 序を保ったまま単一のトレイ に出力する機能を設定します。 | ON·OFF | | [電子ソート]: [有効]に設定したときのみ 表示 |
| 回転ソート 複数ページの印刷物を、一部 ずつ縦横交互に排紙する機能 を設定します。 | ON·OFF | | [回転ソート]: [有効]に設定したときのみ 表示 |
| ブックレット 複数ページの原稿を製本する 機能を設定します。 | OFF・左とじ・右とじ 左とじ・右とじ設定時、原 稿サイズと用紙サイズを 設定します。 原稿:A4①、B5①、A5① 用紙:A3、B4、A4 | ブックレット 取済 運定 0F 広とじ 原稿を も回の向きにセット 「」」」 原稿 A10 55.0 月紙 A1 64 用紙 A1 64 A A A | 「ブックレット」: 「有効」を設定したときのみ 表示 |

連携機のオプション機能を使う

| 連携機 Prioa (別売)を接続して使う

| 設定項目 | 設定内容 | 画面と入力方法 | 関連する環境設定 |
|--|---|---|----------|
| 両面印刷 用紙の両面に印刷する機能で す。 本機に自動原稿送り装置 AF- VI (オプション)またはRISO オートフィーダーDX-1(オプ ション)を付けている場合と、 付けていない場合で画面と入 力方法が異なります。 | 自動原稿送り装置 AF-VI を付けたとき OFF・《長辺とじ》・ 短辺とじ 原稿枚数の奇数枚・ 《偶数枚》 | 自動原稿送り装置 AF-VI を付け たとき: | _ |
| 参考 両面印刷機能を 使った印刷方法は、 P.217「両面印刷の しかた [両面]」を参 照してください。 | 自動原稿送り装置を付け ないとき 《OFF》・長辺とじ・ 短辺とじ | 自動原稿送り装置 AF-VI を付け ないとき: | |
| | RISO オートフィーダー DX-1 を付けたとき 《OFF》·片面→両面・ 両面→片面・ 両面→古面 原稿セット方向: 《左向き》·読める向き 仕上がりのページめく り方向: 《左右開き》·上下開き 原稿のページめくり方 向: | RISO オートフィーダーDX-1 を 付けたとき: 面面 取 済 確定 「「」」」 「」」」 「」」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」 「 | |
| | 《左右開さ》・上下開き | 面 取 海、曜 定 000 | たのがちります |

Y

連携機 Prioa (別売)を接続して使う

連携機

両面印刷のしかた

[両面]

2

原稿のセッ

とじ方向

| | 機能一覧 両 面 | | |
|---|---|--|--|
| 両面印刷ユニット(オプション)を連携機に装着しているときは、用紙の両面に印刷をすることができます。 参考 これらの画面で設定を行うと、設定した内容を反映して、連携機から出力されます。 | | | |
| 機能一覧画面でく両面ボタン>にタッチ する 印刷枚数を入力してくださいのどう 印刷枚数を入力してくださいのどう 「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」 | 3 原稿枚数を設定する 自動原稿送り装置 AF-VI (オプション)を使用して原稿の読み取りを行うときは、原稿枚数が 偶数枚か奇数枚かを設定します。 1000000000000000000000000000000000000 | | |
| 福のセット方向と「両面とじ方向」の関係 東ット ボット ボット ボット ボット ボット ボット 「「カ」」 横置き 「方向 「ボートレート」 「「カ」」 「「カ」」 長辺とじ 「シドスケーフ」 「「」」 「」」 | 4 <確定ボタン>にタッチする り開放放を入力してください () 「町 面 取 消 値です) 「町 原設など 短辺とじ () 「「」」「「」」」」」」 「「」」」」」」」」」」」 「「」」」」」」」」」」」」」」」」 「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」 | | |
| | 5 原稿をセットする 参考 ・原稿セットの詳細については、印刷機の取扱説明書の「紙原稿をプリントする」を参照してください。 ・自動原稿送り装置 AF-VI に奇数枚数の原稿をセットし、両面印刷を行うと、最初に読み取られた原稿の裏面は何も印刷されません。 ・原稿が1枚のときは、原稿台ガラスにセットしてください。 | | |

両面印刷のしかた [両面]

6

プリントに必要な設定をする

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 用紙サイズ
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- レイアウト原稿
- プレビュー表示
- オーバーレイ
- ホールド

7 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されま す。

参考 枚数の入力をまちがえたときは、<C>キーを押し て消去した後に入力しなおしてください。

8 <スタート>キーを押す

原稿台ガラスにセットしたときと自動原稿送 り装置にセットしたときとでは、以降の操作手 順が異なります。

以下の手順に従って操作を行ってください。



原稿台ガラスと自動原稿送り装置 AF-VI を併用し て、原稿読み取りを行うことはできません。

■ 原稿台ガラスにセットしたとき

【両面出力中です】というメッセージ表示後、2 枚目の 原稿をセットし、<スタート>キーを押す。



表裏両方のデータが送信されると、入力した枚数が連 携機から出力されます。

複数の両面印刷物を作成する場合は、手順5~8を繰 り返します。

| 重 | 要 |
|---|---|
| | 5 |

1 枚目の原稿データが送信されてから、「環境設定」 の「RLP両面待ち時間」で設定されている時間内に 次の原稿をセットしなかったときは、片面のみが 印刷されて、連携機から出力されます。



 2枚目の原稿をセットしないで<スタート>キー を押すと、片面のみが印刷されて、連携機から出 力されます。

- 2枚目の原稿をセットして、原稿が読み取られる 前には、次の設定ができます。
 - 原稿モード
 - 読取濃度
 - 変倍
 - 網点・コントラスト強調
 - トーンカーブ選択

■ 自動原稿送り装置にセットしたとき

セットした一番上の原稿から読み取りが始まります。 原稿が読み取られると、読み取られた順に入力した枚 数が連携機から出力されます。

RISO オートフィーダーDX-1 を装備している場合

本機に RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を装着しているときに、両面原稿の読み取りができます。

■ 原稿のセット方向・ページめくり方向と出てくる印刷物の状態の関係

原稿セット方向…………本機の前に立って原稿をセットするときの、原稿の向きを示します。

ページめくり方向 原稿(または仕上がり時)の綴じ方向を示します。

画面上のボタンアイコンは、原稿セット方向を基準にしたときの図になっています。

片面→両面(連携機に両面印刷ユニット(オプション)を装着時)

片面の原稿を両面に印刷する場合に選択します。 原稿は、オモテ面を上向きにセットしてください。



両面→両面 (連携機に両面印刷ユニット(オプション)を装着時)

両面の原稿を両面に印刷する場合に選択します。

RISO オートフィーダーDX-1 にセットした原稿の上面(オモテ面)→下面(ウラ面)の順に読み取られます。



両面印刷のしかた [両面]

4 機能一覧画面で<両面ボタン>にタッチ <確定ボタン>にタッチする する 取 消] 確 定 両面 原稿セット方 印刷枚数を入力してください α OFF [k] 左向き READY 片面 → 両面 <u>B</u> Prioa1 はА, 読める向き ■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■MP A4 A4D A5 B5 B4 A3 両面 → 片面 仕上がりの ページめくり方向 両面 → 両面 基本 お気に入り 機能一覧 環境設定 ▲ 左右開き 区分積み 両 面 日 上下開き _{電子} h ステープル P.1/6 ► 両面印刷を行わないときは、< OFF ボタン>に 参考 タッチした後に<確定ボタン>にタッチしてくだ さい。 2 片面/両面の種類を選択する 取消」確定」 両面 5 原稿をセットする 原稿セット方向 OFF (로) 左向き 原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプ 片面 → 両面 はA, 読める向き ション)に原稿をセットします。 両面 h 仕上がりの ページめくり方向 原稿セットの詳細については、印刷機の取扱説 両面 明書の「紙原稿をプリントする」を参照してく 日 左右開き ださい。 國 上下開き ● 原稿台ガラスにセットするときは、[片面→両 6 プリントに必要な設定をする 参考 面]にタッチしてください。 設定できる機能は次のとおりです。 連携機に両面印刷ユニット(オプション)を装着 ● 原稿モード していないときは、[片面→両面]、[両面→両面] 読取濃度 はグレー表示されタッチできません。 変倍 ● 用紙サイズ 3 「原稿のセット方向」「ページめくり方向」 網点 を設定する • メモリー コントラスト強調 取消」確定」 両 面 トーンカーブ選択 原稿セット方向 OFF • ブックモード |云 左向き 片面 → 両面 プレビュー表示 (4A) 読 る向き 両面 → 片面 • オーバーレイ m 仕上が! ページ(両面 → 両面 疝 ホールド ● ト 下開き テンキーで印刷枚数を入力する 7 入力した枚数は、枚数カウンターに表示されま す。 枚数の入力を間違えたときは、<C>キーを押して 参考 消去した後に入力しなおしてください。 8 <スタート>キーを押す 原稿台ガラスにセットしたときとRISOオート フィーダーDX-1 にセットしたときとでは、以 降の操作手順が異なります。



原稿台ガラスと RISO オートフィーダーDX-1 を 併用して、原稿読み取りを行うことはできません。

■ 原稿台ガラスにセットしたとき

【両面出力中です】というメッセージ表示後、2 枚目の 原稿をセットし、<スタート>キーを押す



表裏両面のデータが送信されると、入力した枚数が連 携機から出力されます。

複数の両面印刷物を作成する場合は、手順5~8を繰 り返します。



1枚目の原稿データが送信されてから、「環境設定」 の「RLP両面待ち時間」で設定されている時間内に 次の原稿をセットしなかったときは、片面のみが 印刷されて、連携機から出力されます。



 2枚目の原稿をセットしないで<スタート>キー を押すと、片面のみが印刷されて、連携機から出 力されます。

- 2枚目の原稿をセットして、原稿が読み取られる 前には、次の設定ができます。
 - 原稿モード
 - 読取濃度
 - 変倍
 - 網点
 - コントラスト強調
 - トーンカーブ選択

■ RISO オートフィーダーDX-1 にセットしたとき

セットした一番上の原稿のオモテ面から読み取りが 始まります。

原稿が読み取られると、読み取られた順に入力した枚 数が連携機から出力されます。

両面原稿を片面に印刷する場合 -

RISOオートフィーダーDX-1(オプション)を装 着している場合、両面原稿を読み取って片面に 印刷することができます。

[両面]画面で[両面→片面]を設定し、印刷を 行ってください。



両面原稿



消耗品を交換する

- 224 消耗品の残量を確認する
- 225 マスター交換のしかた
- 228 インクボトル交換のしかた
- 230 排版ボックスのマスターの処理
- 232 ドラムのセット(カラーチェンジ)
- 234 使用済み消耗品の回収、廃棄について





マスター交換のしかた



8 マスターロールストッパーを閉める マスターロールストッパーを閉めた後、帯封を 外します。



9 マスターの先端をガイドの下に差し込む マスターガイドの下にマスターの先端を奥に あたるまで差し込み(1)、右のフランジを奥 側に回してたるみを巻き戻します(2)。







くりと戻します。



製版ユニット引き出しカバーを閉めます。





4

5

6

インクボトルから外したキャップは、原稿台横の インクキャップ留めに置くことができます。



新しいインクボトルをセットする

インクボトルの矢印部分をドラムユニットの ▼に合わせ、奥にあたるまで差し込みます。



インクボトルをロックする

インクボトルを右方向(🔒)に回して、ロック します。



前カバーを閉じる



排版ボックスのマスターの処理

使用済みのマスターは排版ボックスに送られます。排版ボックスの容量がいっぱいになると、メッセージが 表示されて本機が停止します。使用済みのマスターを廃棄してください。

▲ 注意 作業中、手などにインクが付いたときは、早めに洗剤で洗い落としてください。



 ・排版ボックスは、使用済みのマスターの流出を防ぐために、市販の南京錠を取り付けられるようになっています。南京錠を取り付けて、排版ボックスの管理をしている場合、マスターを廃棄する際には管理者に連絡してください。

「プロテクト」機能が「ON」に設定されている場合は、【排版ボックスがいっぱいになりました】または【排版部にマスターがつまりました】のメッセージが表示されたときのみ、排版ボックスを引き出すことができます。

 ● P.178「印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]

本機には、ドラム1用とドラム2用の2つの排版ボックスがあります。作業の手順はどちらも同じです。ここでは、ドラム1用の排版ボックスで説明します。



2 使用済みマスターを捨てる

排版ボックスを手前に傾け、押し出しレバーを 握って、中の使用済みマスターを捨てます。





排版ボックスをセットする

排版ボックスを奥にあたるまで差し込みます。



参考 • 必要に応じて、排版ボックスロックレバーを左 にスライドしてロックし、南京錠で施錠してく ださい。

● P.178「印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]」



• 使用済みのマスターは各自治体の規制に従って 廃棄してください。

P.234「使用済み消耗品の回収、廃棄について」



他の色で印刷するためにカラードラムを交換するときや、つまった紙を取り除くときは、ドラムを本体から 外します。カラードラムは、オプションの専用カラードラムをご使用ください。

▲ 注意 ドラムは垂直に立てないでください。床などを汚すことがあります。

- ドラムは必ず当社指定の本機専用カラードラム使用してください。
- ドラムの引き出しやセットは、必ず本機の電源を入れた状態で行ってください。
- 交換したドラムは必ずドラムケースに入れて水平に保管してください。



ドラムを両手で真上に持ち上げレールから外

ドラムの交換、紙詰まりの処理などを行いま

みどり色のハンドルを



ドラムのコネクタには触れないでください。静電 気などによりドラム故障の原因になることがあり



ドラムのセットのしかた







2

手動でドラムを回転させたときは、作業後、必ず ▶マークと ◀マークが向かい合う位置までドラ ムを戻してください。



ドラムを本体に戻す

ドラムを奥に止まるまで押し込み、前カバーを 閉めます。





ドラムレバーを握った状態で押し込まないでくだ さい。

使用済み消耗品の回収、廃棄について

■ インクボトル

使用済みのインクボトルの回収システムがあります。詳しくは お買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせく ださい。廃棄する場合は、各自治体の規制に従ってください。 分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。 インクボトルロの金属を含むシールを、矢印部分からはがして 分別してください。

インクボトルの口は、インクで汚れていることがありますの で、手や衣服などを汚さないように注意してください。

| 部品名 | 材質 |
|---------|--------------------|
| インクボトル・ | プラスチック(ポリプロピレン・ポリエ |
| キャップ | チレン) |
| シール | 金属を含むプラスチック |
| インク | 大豆油·石油系炭化水素·水·顔料 |

■ マスター芯

使用済みのマスター芯は各自治体の規制に従って廃棄してください。分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。 ()マークが型押しされている部分の裏面に金属を含むシールが付いています。

ミシン目から切り取り、分別してください。

| 部品名 | 材質 |
|-----------|---------------|
| 芯 | 紙 |
| マスター | プラスチック・和紙 |
| ∎を切り取った部分 | 金属を含むプラスチック・紙 |

■ 排版されたマスター

使用済みの排版されたマスターは各自治体の規制に従って廃棄してください。

| 部品名 | 材質(成分) |
|------|------------------|
| マスター | プラスチック・和紙 |
| インク | 大豆油·石油系炭化水素·水·顔料 |

参考 成分は炭素と水素の化合物ですので、完全燃焼すれば水と炭酸ガスになります。





お手入れ

236 クリーナーについて237 お手入れのしかた

クリーナーについて

本機をお手入れするときに使用していただきたいクリーナーを紹介します。 クリーナーを使用するときは、各クリーナーの注意書きをよく読んでから使用してください。

▲注意 • お手入れに使うクリーナーは事務機専用です。顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでくだ さい。

• クリーナーを使用後は必ず手を洗ってください。

■ 理想ステージクリーナー

エチルアルコールを含ませた不織布シートです。 原稿台ガラスなどの汚れをきれいに落とせます(1 箱 20 袋入)。

■ 理想サーマルヘッドクリーナー

ペンタイプの使いやすいクリーナーです。 サーマルヘッドの発熱部にペン先をあて、なでるように拭き取る だけで汚れをきれいに落とせます。 トルエン、キシレン類の溶剤は使用しておりません。

■ リソグラフクリーナー

本体外装部の清掃に最適です。 塗装面に直接スプレーし、柔らかい布や紙で拭き取ります。 清掃後は汚れの付着を防止する効果もあります。

■ RISO クリーナー(ティッシュタイプ)

本体外装部や原稿台ガラスなどの清掃にご使用いただける、 ティッシュタイプのクリーナーです。









お手入れのしかた

製版ユニットのサーマルヘッドや自動原稿送り装置(オプション)のスキャナーガラス、ホワイトローラーな どに、ほこりやゴミ、インク、修正液などが付くと、プリントの仕上がりが汚れたりかすれたりすることがあ ります。

次の方法で、定期的にお手入れすることをおすすめします。

▲注意 記載されている以外の作業(調整や修理など)は行わないでください。 調整や修理は必ずお買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)に依頼してください。

■ サーマルヘッドのクリーニング

サーマルヘッドは、マスター交換時(1ロールごと)にクリーニング してください。 製版ユニットカバーを開けて、奥にあるサーマルヘッドを、理想 サーマルヘッドクリーナーで数回軽くこすります。



 サーマルヘッドは静電気に弱い部分です。清掃する前に、必ず 身体に帯電している静電気を除去してください。



■ 原稿台ガラスと原稿パッド

原稿台ガラスや原稿パッドが汚れているときは、理想ス テージクリーナーで数回軽く拭いてください。



原稿台ガラスは非常にデリケートな部分です。固いもの で傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめく ださい。



お手入れのしかた

■ 自動原稿送り装置(オプション)のスキャナーガラスとホワイト板

スキャナーガラスとホワイト板を、柔らかい布やティッシュペーパーで軽くこすり汚れを落とします。



スキャナーガラスは非常にデリケートな部分です。固いもの で傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめくだ さい。



スキャナーガラス

● 自動原稿送り装置 AF- Ⅵの場合 ホワイトローラを回転させながら拭いてください。



 RISO オートフィーダーDX-1 の場合 ホワイト板は回転しません。



■ プレスローラー

ドラムユニットに用紙を圧着させるプレスローラーが汚れていると、用紙の裏に帯状の汚れが付くことがあります。 理想ステージクリーナーで軽く拭いてください。 ドラムを取り出す方法は、P.232 を参照してください。

- ▲注意 ・プレスローラーの清掃時には必ず本機の電源を切っ てください。
 - 本体内部に手を入れるときは、分離爪に触れないように注意してください。分離爪の先端は鋭利なため、けがの原因になることがあります。
 - ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。



■ 外装部

本体にほこりなどが付くのを防ぐため、定期的に全体を柔らか い布で軽く拭いてください。 また、汚れ落としには RISO クリーナー(ティッシュタイプ)ま たはリソグラフクリーナーを使用してください。



 本体の外装にはプラスチックを使用しているのでアル コールや溶剤系の洗剤のご使用は絶対におやめください。

ディスプレイ部の汚れは、通常、乾いた布で軽く拭き取ります。インクなどで汚れたときは、布などに少量のクリーナーを付けて軽く拭き取ってください。ディスプレイに直接クリーナーを吹きかけたり塗布したりしないでください。故障の原因になります。



お手入れ

こんなときには

242 メッセージが表示されたときは265 「故障?」と思ったとき

ディスプレイにメッセージが表示され本機の動作が停止したときは、次の表から原因を確認し、対処してください。

エラーメッセージの見かた

エラーの種類に応じて、メッセージとエラーグラフィックで対処方法が表示されます。



| エラー番号 | エラーの種類. | 内容 | 参照ページ |
|-----------|----------|---|---------|
| T00 - 000 | サービスエラー | サービスマンによる点検・修理が必要なエラーです。 サービスエラーが発生したときには、エラー番号を販売会社(ま たは保守・サービス会社)に連絡してください。 | ● P.243 |
| A00 - 000 | ジャムエラー | マスターなどがつまったときに表示されます。 | • P.243 |
| B00 - 000 | オプションエラー | 接続しているオプション側でエラーが発生したときに表示され ます。 | ● P.244 |
| C00 - 000 | 消耗品エラー | インク、マスターなどの消耗品がなくなったときに表示されます。 | ● P.245 |
| D00 - 000 | セット確認エラー | 各部のセットが正しくされていないときに表示されます。 | • P.246 |
| J00 - 000 | 通紙ジャムエラー | 原稿および用紙がつまったときに表示されます。 | • P.248 |

■ T00-000: サービスエラー(50 音順)

| 表示 | 原因 | 対処 |
|----------------------|-------------|--------------------------|
| 【電池交換が必要です | 本機内部の電池が切れま | お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社) |
| サービス実施会社に連絡してください】 | した。 | に連絡し、電池を交換してください。 |
| | | 「アフターサービスについて」 |
| | | エラーメッセージを消すには、<ストップ>キーま |
| | | たは<リセット>キーを押してください。 |
| 【トラブルが発生しました電源を入れ直して | トラブルが発生しまし | 電源を入れなおしてください。 |
| ください | た。 | それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会 |
| 復帰できない場合は、サービス実施会社に連 | | 社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。 |
| 絡してください】 | | |
| 【トラブルが発生しました | | <リセット>キーを押してください。 |
| リセットキーを押してください | | それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会 |
| 復帰できない場合は、サービス実施会社に連 | | 社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。 |
| 絡してください】 | | |

■ A00-000: ジャムエラー(50 音順)

| 表示 | 原因 | 対 処 |
|--|-------------|---|
| 【紙がつまりました | 点滅している箇所で紙が | つまっている紙を取り除いてください。 くいとれていた。 |
| 点滅している場所を確認し、用紙を取り除い てから、確認ずないた押してください】 | つまっています。 | 2 くリセット>キーよたはく確認ホタン>を押 してください |
| しから、唯認ホタンを押してくたさい | | |
| 【給紙台の安全スイッチが働きました | 給紙台の安全スイッチが | 給紙台のトや用紙の上に障害物がないか確認してく |
| 給紙台の用紙を再セットしてください】 | 働きました。 | ださい。障害物があれば、取り除いてください。 |
| 【製版ユニットでトラブルが発生しました | マスターを切るカッター | 製版ユニットを引き出し、マスターを取り出し |
| マスターをいったん取り出して製版ユニッ | が正常に動作しませんで | てください。 |
| トカバーを閉めてください】 | した。 | ● P.225「マスター交換のしかた」 |
| | | 2 製版ユニットカバーを閉めると、リセットされ |
| | | ます。再度マスターをセットしてください。 |
| 【着版できませんでした | マスターがドラムに正し | ● ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り |
| ドラムを引き出して、マスターを取り除いて | く巻き付けられませんで | 除いてください。 |
| ください】 | した。 | ☞P.232「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 |
| | | 2 ドラムをセットしなおしてください。 |
| | | 3 <スタート>キーを押してください。 |
| 【ドラムにマスターが残っています | ドラム上に不要なマス | ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り |
| ドラムを引き出して、マスターを取り除いて | ターが残っています。 | 除いてください。 |
| ください】 | | ☞P.232「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 |
| | | 2 ドラムをセットしなおしてください。 |
| | | 3 <スタート>キーを押してください。 |
| 【排版できませんでした | マスターが排版されてい | 1 ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り |
| ドラムを引き出して、マスターを取り除いて | ません。 | 除いてください。 |
| ください】 | | マスターがドラムに巻き付いていない場合は、 |
| | | 引き出したドラムの排版部を確認し、マスター |
| | | を取り除いてください。 |
| | | ☞P.232「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 |
| | | 2 ドラムをセットしなおしてください。 |
| | | 3 <スタート>キーを押してください。 |

| 表示 | 原因 | 対処 |
|----------------------|-------------|--------------------------|
| 【排版部にマスターがつまりました | 排版ユニット部にマス | 排版ボックスを取り出し、つまっているマスターを |
| 排版ボックスを取り出し、つまったマスター | ターがつまっています。 | 取り除いてください。 |
| を取り除いてください】 | | 取り除きにくい場合は、ドラムを引き出してから、マ |
| | | スターを取り除いてください。 |
| | | ☞ P.230「排版ボックスのマスターの処理」 |
| | | P.232「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 |
| | | それでもディスプレイのエラー表示が消えない場合 |
| | | は、お買い上げの販売会社(保守・サービス |
| | | 会社)にご連絡ください。 |
| 【マスターが正しくセットされていません | マスターがセットされて | 製版ユニットを引き出し、マスターを正しく |
| マスターの先端を挿入口にセットしてから、 | いないか、正しくセット | セットしてください。 |
| 製版ユニットを閉めてください】 | されていません。 | ☞ P.225「マスター交換のしかた」 |
| | | |
| | | 重要 巻き戻したマスターがしわになっていた |
| | | り切れているときは、先端をまっすぐに切 |
| | | ● り取ってからセットしてください。 |
| 【マスターがつまりました | マスターが正しくセット | 製版ユニットを引き出し、マスターを巻き戻して |
| 製版ユニットを引き出してマスターを巻き | されていません。 | セットしなおしてください。 |
| 戻し、もう一度セットしてください】 | | P.225「マスター交換のしかた」 |

■ B00-000: オプションエラー(50 音順)

| 表示 | 原因 | 対処 |
|----------------------|----------------|-----------------------------|
| 【Prioa が認識できません | 連携機(Prioa)の電源が | 連携機(Prioa)の電源を確認してください。 |
| Prioa が接続されていないか、 | 入っていなかったり、 | また、連携機(Prioa)や本機のケーブルがハブなどに |
| 電源が入っていない可能性があります | ケーブルが正しく接続さ | 正しく接続されていることを確認してください。接 |
| 確認してください】 | れていないか、断線して | 続に異常がない場合は、サーバーやネットワークの |
| | いる可能性があります。 | 通信状態を確認し、サーバーやネットワークの管理 |
| | | 者に相談してください。 |
| 【Prioa でエラーが発生しています】 | 連携機(Prioa)でサービ | 連携機(Prioa)側を確認し、エラーを解除してくださ |
| | スコールエラーが発生し | しい。 |
| | ています。 | |
| 【Prioa のトナーがありません】 | 連携機(Prioa)のトナー | 連携機(Prioa)のトナーを交換してください。 |
| | がありません。 | |
| 【ST ソーターのテープがつまりました | ST ソーター(オプショ | ST ソーターを確認し、つまっているテープを取り除 |
| つまっているテープを取り除いてくだ | ン)にテープがつまりま | いてください。 |
| さい】 | した。 | |
| 【ST ソーターのテープがなくなりました | ST ソーター(オプショ | ST ソーターに新しいテープをセットしてください。 |
| 新しいテープをセットしてください】 | ン)のテープがなくなり | |
| | ました。 | |
| 【ST ソーターの電源が入っていません | ST ソーター(オプショ | ST ソーターの電源を入れてください。 |
| 電源を入れてください】 | ン)の電源が入っていま | |
| | せん。 | |
| 【カードカウンターのカードをセット | カードカウンター(オプ | カードカウンターにカードをセットしてくださ |
| してください】 | ション)にカードがセッ | し ¹ 。 |
| | トされていません。 | |
| 【トラブルが発生しました電源を入れ直して | トラブルが発生しまし | 電源を入れなおしてください。 |
| ください | た。 | それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会 |
| 復帰できない場合は、サービス実施会社に連 | | 社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。 |
| 絡してください】 | | |

こんなときは

| 表示 | 原因 | 対 処 |
|--|---|--|
| 【認識できませんでした】 | USB スロットに、USB メモリ以外のものが セットされています。 USB スロットに、故障 している USB メモリ がセットされていま す。 USB スロットに、本機 に対応していない USB メモリがセット されています。 | 本機に対応している正常な USB メモリをセットし てください。 ● P.13「USB メモリについて」 |
| 【認識できませんでした(HUB)】 | USB スロットに USB ハ ブがセットされていま す。 | 本機に対応している正常な USB メモリをセットし てください。 P.13「USB メモリについて」 |
| 【本機 IP アドレスが設定されていません 管理者に連絡してください】 | 本機の IP アドレスの設 定が完了していません。 | システム管理者に連絡し、本機の IP アドレスを 設定してください。 ● P.165「初期設定を変更する [環境設定] / 本機 IP アドレス設定」 |

■ C00-000: 消耗品エラー(50 音順)

| 表示 | 原因 | 対 処 |
|--|------------------------|--|
| 【インクがなくなりました 新しいインクに交換してください】 | インクがなくなってい ます。 | 新しいインクボトルに交換し、正しくセットしてく ださい。 インクは専用のものをご使用ください。 ● P.228「インクボトル交換のしかた」 |
| 【排版ボックスがいっぱいになりました 排版ボックスのマスターを捨ててください】 | 排版ボックスがいっぱい になりました。 | 排版ボックス内のマスターを捨ててください。 ☞ P.230「排版ボックスのマスターの処理」 |
| 【マスターがなくなりました 新しいマスターに交換してください】 | マスターがなくなってい ます。 | 新しいマスターをセットしてください。 マスターは専用のものをご使用ください。 ● P.225「マスター交換のしかた」 |
| 【用紙をセットしてください】 | 給紙台の用紙がなくなっ ています。 | 給紙台に用紙をセットしてください。 ☞ P.34「給紙台と用紙のセット」 |
| 【両側の排版ボックスがいっぱいになりました 両側の排版ボックスのマスターを捨ててくだ さい】 | 排版ボックスがいっぱい になりました。 | 排版ボックス内のマスターを捨ててください。 ☞ P.230「排版ボックスのマスターの処理」 新しいマスターをセットしてください。 |

■ D00-000: セット確認エラー(50 音順)

| 表示 | 原因 | 対処 |
|--|--|---|
| 【2 色指定のジョブを受信しました | 指定されているカラーの | カラーを確認し、ドラムをセットしてください。 |
| ドラムをセットしてください | ドラムがセットされてい | |
| | | |
| 【AF 粘紙カハーを閉めてくたさい】 | RISO オートフィーター DX-1(オプション)の AF 給紙カバーが開いている か、または正しくセット されていません。 | AF 粘紙ガバーを確認し、しっかりと閉じてくたさい。 |
| 【インクボトルが違います 正しいボトルをセットしてください】 | 違うインクボトルがセッ トされています。 | 正しいインクボトルをセットしてください。 ☞ P.228「インクボトル交換のしかた」 |
| | | ■ インクボトルは本機専用のものをご使用 ください。他のインクをご使用になります と、故障やトラブルの原因になります。 |
| | インクボトルロ面のシー ルがはがれているか、汚 れています。 | インクボトルロ面のシールには印刷に必要な情報が 入っています。情報が読み取れないと、本機は稼動し ません。 シールが貼ってあり、かつ汚れていない本機専用の インクボトルをセットしてください。 |
| 【インクボトルをセットしてください】 | インクボトルがセットさ れていないか、または正し くセットされていません。 | インクボトルを正しくセットしてください。 ☞ P.228「インクボトル交換のしかた」 |
| 【製版ユニットカバーを閉めてください】 | 製版ユニットカバーが開 いているか、または正しく セットされていません。 | 製版ユニットを引き出して確認し、製版ユニッ トカバーをしっかりと閉じてください。 |
| 【製版ユニットが引き出せます】 | 製版ユニットが引き出せ る状態になっています。 | 製版ユニットを引き出してください。 |
| 【製版ユニット引き出しカバーが開けられます】 | 製版ユニット引き出しカ バーが開けられる状態に なっています。 | 製版ユニット引き出しカバーを開けてください。 |
| 【製版ユニット引き出しカバーを閉めてくだ さい】 | 製版引き出しカバーが開 いているか、または正しく セットされていません。 | 製版ユニット引き出しカバーを確認し、しっかりと 閉じてください。 |
| 【製版ユニットをセットしてください】 | 製版ユニットがセットさ れていないか、または正し くセットされていません。 | 製版ユニットを正しくセットしてください。 ☞ P.225「マスター交換のしかた」 |
| 【ドラムが正しくセットされていません ドラム OK ボタンを押し、ボタンが点灯し てからドラムをいったん引き出してくださ い】 | ドラムが奥までセットさ れていない状態でロック されています。 | ドラム OK ボタンを押し、ボタンが点灯してから ドラムを引き出して、セットしなおしてください。 ● P.232「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 |
| 【ドラムが違います 正しいドラムをセットしてください】 | 違うドラムがセットされ ています。 | 正しいドラムをセットしてください。 ● P.232「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 |
| | | 重要 ドラムは本機専用のものをご使用くださ い。他のドラムをご使用になりますと、故 障やトラブルの原因になります。 |
| 【ドラムが引き出せます】 | ドラムが引き出せる状態 になっています。 | ドラムを引き出してください。 |

| + - | — — — | ±1 kg |
|--------------------|--------------|--------------------------|
| 表 示 | 原因 | 对処 |
| 【ドラムをセットしてください】 | ドラムがセットされてい | ドラムを正しくセットしてください。 |
| | ないか、または正しく | P.232「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 |
| | セットされていません。 | |
| 【排版ボックスをセットしてください】 | 排版ボックスがセットさ | 排版ボックスを正しくセットしてください。 |
| | れていないか、または正し | ☞ P.230「排版ボックスのマスターの処理」 |
| | くセットされていません。 | |
| 【本体リアカバーが外れています | 本体リアカバーが外れて | お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社) |
| サービス実施会社に連絡してください】 | います。 | にご連絡ください。 |
| 【前カバーを閉めてください】 | 本機前カバーが開いてい | 前カバー下のマグネットを確認して、しっかりと閉 |
| | るか、または正しくセッ | じてください。 |
| | トされていません。 | |
| 【マスターが違います | 違うマスターがセットさ | 正しいマスターをセットしてください。 |
| 正しいマスターをセットしてください】 | れています。 | ☞ P.225「マスター交換のしかた」 |
| | | |
| | | 重要 マスターは本機専用のものをご使用くだ |
| | | さい。他のマスターをご使用になります |
| | | ● と、故障やトラブルの原因になります。 |
| | マスター芯のマーク部が | マスター芯のマーク部には、プリントに必要な情報 |
| | ないか、切れたり傾いた | が入っています。 |
| | 状態になっています。 | 情報が読み取れないと、本機は稼動しません。 |
| | | マーク部があり、かつ切れたり傾いた状態になって |
| | | いない本機専用のマスターをセットしてください。 |
| 【マスターをセットしてください】 | マスターがセットされて | マスターをセットしてください。 |
| | いません。 | ☞ P.225「マスター交換のしかた」 |

こんなときは

■ J00-000: 通紙ジャムエラー

本体内部や自動原稿送り装置(オプション)に、原稿および用 紙が詰まったときに表示されます。

通紙ジャムの発生箇所を、グラフィック上の点滅表示(①~ ④)でお知らせします。エラーが発生したときには、以下の該 当する欄(①~④)を参照し、それぞれに対処してください。

参考

通紙ジャムを防ぐために、印刷に適した用紙を使用してく ださい。また、自動原稿送り装置に原稿をセットするとき は、適切な原稿を使用してください。

- P.14「ご使用の前に/印刷用紙に関する注意」
 P.16「原稿に関する注意」
- P.16 尿間に関する)



| 点滅箇所/表示 | 原因 | 対処 |
|---------|--------------------------------|---|
| 1 | 給紙側に用紙が詰まりました。 | 給紙側を確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。 2 <確認ボタン>を押してください。 特殊な用紙の場合は、給紙圧調節レバーを紙質に合わせて調節してください。 ● P.34「給紙台と用紙のセット」 |
| 2 | 自動原稿送り装置(オプション)に原稿 が詰まりました。 | 自動原稿送り装置 AF- VIの場合 ● 原稿の挿入口方向に取り出すとき 原稿解除レバーを倒しながら原稿を引き出してください。 ● 原稿の排出方向に取り出すとき 原稿の排出方向に取り出すとき 原稿台カバーを上げ、自動原稿送り装置の下にある原稿解除ダイヤルをまわしながら原稿を引き出してください。 ■ 原稿解除ダイヤルをまわしながら原稿を引き出してください。 ■ 原稿解除ダイヤルをまわしながら原稿を引き出してください。 |

| 点滅箇所/表示 | 原因 | 対 処 |
|---------|-------------------------------|--|
| | 自動原稿送り装置(オプション)に原稿 が詰まりました | RISO オートフィーダーDX-1 の場合 |
| | | 重要 ユニット内部のローラーには触らないよう注 意してください。原稿の汚れや紙詰まりの原 因となります。 |
| | | ■ 原稿給紙部に詰まった原稿を取り除くとき AF 給紙カバーを開いて(①)、詰まった原稿を引き出し てください(②)。 |
| | | |
| | | ■ 原稿搬送部に詰まった原稿を取り除くとき AF 給紙カバーを開いて(①)、給紙ローラー部を図のように立ち上げます(②)。 内部のカバーを開いて(③)、詰まった原稿を引き出し てください(④)。 |
| 2 | | |
| | | |
| | | ■ 両面搬送部に詰まった原稿を取り除くとき AF 給紙カバーを開き(①)、原稿トレイを図のように立 ち上げます(②)。 詰まった原稿を引き出してください(③)。 |
| | | |

| 占减笛斫/表示 | 唐 田 | र्चत मा. |
|---------|---------------------------------|--|
| | | |
| | 日勤尿何区り表直(オフラヨン))に尿何 が詰まりました。 | |
| | | がら(②)、詰まった原稿を引き出してください(③)。 |
| 2 | | |
| | ドラム周辺に用紙が詰まりました。 | 1 ドラムを引き出してください。 |
| | | ■ P.232 トラムのセット(カラーナエンン)] ▲ 詰まっている田紙を取り除いてください) |
| | | 3 ドラムをセットしなおしてください。 |
| | | 4 <確認ボタン>を押してください。 |
| 3 4 | | 本体内部に手を入れて用紙を取り除く際に は、分離爪や排版爪に触れないように注意し てください。爪の先端は鋭利になっているの で、けがの原因になることがあります。 |
| | | |
| | 正常に排紙できませんでした。 | 排紙側に詰まっている用紙がないか確認し、 詰まっている場合は取り除いてください。 <2 <確認ボタン>を押してください。 |
| (5) | | ◆考 特殊な用紙の場合は、排紙フェンスの紙揃え プレートを調節してください。 ● P.35「排紙台のセット」 |
ワーニングメッセージ(ウインドウ表示)の見かた

各種のワーニングメッセージが、専用のウインドウ上に表示されます。 内容によって、続行が可能なものと、対処するまで続行が不可能なものがあります。



| エラー番号 | エラーの種類. | 内容 | 参照ページ |
|-----------|---------|-------------------------------|---------|
| E00 - 000 | サービスコール | サービスマンによる電池交換や定期点検が必要なときに表示さ | • P.251 |
| | | れます。 | |
| F00 - 000 | ワーニング | 操作パネルでの設定と、本機あるいは連携機の状態が適合せず、 | • P.252 |
| | メッセージ | プリントできないときに表示されます。 | |

■ E00-000: サービスコール(50 音順)

| 表示 | 原因·対処 | ワーニング解除方法 |
|--------------------------------------|--|---|
| 【定期点検の時期がきました | (原因) | <閉じるボタン> にタッチする |
| サービス実施会社に連絡してください】 | メンテナンスの時期がきたことを お知らせしています。 (対処) お買い上げの販売会社(または保 守・サービス会社)にお問い合わせ ください。 ●「アフターサービスについて」 | (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) |
| 【電池交換が必要です サービス実施会社に連絡 してください】 | (原因) 本機内部の電池が切れかかってい ます。 (対処) お買い上げの販売会社(または保 守・サービス会社)に連絡し、電池 を交換してください。 ●「アフターサービスについて」 | <閉じるボタン> にタッチする (<リセット>キーを押しても解除できます。) |

■ F00-000: ワーニングメッセージ(50 音順)

| 表示 | 原因·対処 | ワーニング解除方法 |
|---|---|---|
| 【「A4 →ハガキ」変倍と AF は併用でき ません 原稿台ガラスを使用してください】 | (原因) 「A4 →八ガキ」変倍設定時に、自動 原稿送り装置(オプション)に原稿 をセットしています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスに セットしてください。 | プリントを続行するとき 自動原稿送り装置から原稿を取り出し、原稿 台ガラスにセットする プリントを中止するとき <切じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても中止できます。) |
| 【Prioa の情報を取得中です しばらくお待ちください】 | (原因) 本機のシステムが、連携機(Prioa) の情報を取得している状態です。 この間は、RLP モードでのプリントはできません。 (対処) 連携機(Prioa)の情報取得が終了してから、プリントを開始してください。 または、本機からプリントしてください。 | <閉じるボタン>にタッチすると、ワーニング メッセージを消去して、元の画面に戻ります。 • 本機でプリントするとき <製版>キーまたは<印刷>キーを押す • 連携機から出力するとき システム情報の取得が終了するまでお待ち ください。(数分かかる場合があります。) |
| 【USB メモリがいっぱいのため、 保存できません USB データの整理を行ってくだ さい】 | (原因) USB メモリの空き容量がありません。 (対処) USB データを確認し、必要ないジョブなどは削除してください。 | <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) • USB データを確認するとき < USB データ選択ボタン>にタッチする。 |
| 【いくつかの指定エリアの外周が 用紙の外周より長いので 分版処理できません 大きすぎる指定エリアを いくつかの小さな指定エリアに 書き直してやり直してください】 | (原因) 指定されたエリアが使用する印刷 用紙サイズよりも大きすぎます。 (対処) エリアを小さくするか、いくつか に分けて指定してください。 | < OK ボタン>にタッチする |
| 【印刷枚数が0枚のときは 本機で製版します】 | (原因) 連携機(Prioa)接続時の「自動振り 分け枚数」を「有効」に設定してい るときに、印刷枚数0枚でプリン トしようとしました。 (対処) 印刷枚数を入力してください。 ● P.168「初期設定を変更する [環境設定]/自動振分枚数」 | 本機でプリントするとき <<続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントでき ます。) プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。) |
| 【エリア指定分版と AF は 併用できません 原稿台ガラスを使用してください】 | (原因) エリア指定分版設定時に、自動原 稿送り装置(オプション)に原稿を セットしています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスにセットして ください。 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) |

こんなときは

| 表示 | 原因·対処 | ワーニング解除方法 |
|---|--|--|
| 【回転ソートに必要な用紙が セットされていません 同じサイズの用紙を 別々のトレイに 縦向きと横向きにセットして ください】 | (原因) 「回転ソート」を行うために適切な サイズの用紙が、用紙トレイに セットされていませんでした。 (対処) 適切なサイズの用紙を、連携機 (Prioa)の別々のトレイに「縦置 き」と「横置き」にセットしてくだ さい。 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。) |
| 【カウントチャージの集計日が きました 管理者へ連絡してください】 | (原因) カウントチャージの集計日になり ました。 (対処) 管理者に連絡してください。 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) |
| 【画像処理を追加するため 再スキャンを実行します 原稿をセットして スタートキーを押してください】 | (原因) 原稿がセットされていません。 (対処) 原稿をセットしなおしてくださ い。 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) |
| 【片方のドラムだけが 省インク製版されています 二色印刷してよろしいですか?】 | (原因) ドラム1または2のどちらかだ け、「省インク」で製版されていま す。 (対処) 「続行」にタッチするとそのまま印 刷を行いますが、マスターの製版 状況が1と2では異なるため、最 適な状態での印刷はできません (どちらか1色が濃くまたは薄く 印刷されてしまいます)。「中止」 にタッチして、再度、両ドラムとも 「省インク」または通常の製版をし て印刷することをお勧めします。 | プリントを続行するとき <k <ki行ボタン="">にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントでき ます。)</k> プリントを中止するとき <hr/> く中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。) |
| 【検知された原稿サイズが N アップの適用範囲外です 原稿サイズを指定してください】 | (原因) セットした原稿のサイズでは N アップ機能が使えません。 (対処) 原稿サイズを指定してください ● P.77「1 枚の用紙に連続した 原稿を 割り付ける [N アップ]」 | 原稿サイズを指定するとき < 原稿サイズ指定ボタン>にタッチし、原稿 サイズを指定する プリントを続行するとき <k続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントでき ます。)</k続行ボタン> プリントを中止するとき く中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても中止できます。) |

| ± = | | |
|--|---|--|
| 衣 示 | 原因・刃処 | |
| 【検知された原稿サイズが連写の適用範 囲外です 原稿サイズを指定してください】 | (原因) セットした原稿サイズでは「連写」 機能が使えません。 (対処) 原稿サイズを指定してください。 ● P.70「1枚の用紙に多面取りする [連写][かんたん連写]] | ・原稿サイズを指定するとき < (原稿サイズ指定ボタン>にタッチし、原稿 サイズを指定する プリントを続行するとき < (<スタート>キーを押してもプリントでき ます。) プリントを中止するとき (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。) |
| 【原稿を検知できません 原稿を再セットしてください】 | (原因) 原稿を検知できませんでした。または、原稿がセットされていません。 (対処) 原稿をセットしなおしてください。 | ブリントを続行するとき << く続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントでき ます。) プリントを中止するとき <<p>く中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。) </p> |
| 【原稿サイズ検知の範囲外です オート変倍できません 変倍設定を行ってください】 | (原因) 原稿サイズが検出できないため、 オート変倍が実行できません。 (対処) 変倍率を指定してください。 | 変倍設定するとき <変倍設定ボタン>にタッチする プリントを中止するとき く中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても中止できます。) |
| 【原稿台カバーを閉じてください 原稿の位置がずれると 正確な編集結果を得られません】 | (原因) デジタイザ操作中に原稿台カバー が開きました。 (対処) 原稿台カバーを閉じてください。 | 原稿台カバーを閉じると、ワーニングメッセー ジは消去されます。 <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) |
| 【原稿データと印刷用紙の サイズが合っていません 印刷用紙のサイズを 確認してください】 | (原因) パソコンから送信された原稿デー タと印刷用紙のサイズが合ってい ません。 (対処) 印刷用紙のサイズを確認し、必要 に応じてサイズを変更してくださ い。 | プリントを続行するとき << |
| 【現在、他の処理作業中のため 分版処理できませんでした しばらくしてから やり直してください】 | (原因) 現在、他の処理作業中のため分版 処理できません。 (対処) 処理作業が終わるまで、しばらく お待ちください。 | < OK ボタン>にタッチする |

| 表示 | 原因·対処 | ワーニング解除方法 |
|---|--|---|
| 【現在セットされている用紙では N アップできません 適切な定形用紙をセットしてください】 | (原因) 給紙台に不定形の用紙がセットさ れているため、N アップ機能が使 えません。 (対処) 給紙台に定形用紙をセットしてく ださい。 ● P.34「給紙台と用紙のセット」 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) |
| 【現在セットされている用紙では 設定できません 適切な定形用紙をセットしてください】 | (原因) 給紙台に不定形の用紙がセットさ れているため、とじしろ機能が使 えません。 (対処) 給紙台に定形用紙をセットしてく ださい。 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。) |
| 【現在セットされている用紙では 連写できません 適切な定形用紙をセットしてください】 | (原因) 給紙台に不定形の用紙がセットさ れているため、連写機能が使えま せん。 (対処) 給紙台に定形用紙をセットしてく ださい。 ● P.34「給紙台と用紙のセット」 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。) |
| 【現在の原稿と印刷用紙では オート変倍できません 変倍設定を行ってください】 | (原因) セットした原稿と印刷用紙のサイ ズでは、オート変倍を実行できま せん。 (対処) 変倍率を指定してください。 | 変倍設定するとき <変倍設定ボタン>にタッチする プリントを中止するとき く中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押して中止できます。) |
| 【現在の変倍率では 製版可能サイズに入りきらない 可能性があります 確認してください】 | (原因) 指定した変倍率では印刷用紙のプ リントエリアからはみ出してしま います。 (対処) 変倍率を変更するか、適切なサイ ズの印刷用紙をセットしてくださ い。 | 変倍設定するとき <変倍設定ボタン>にタッチする ブリントを続行するとき <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントでき ます。) プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。) |
| 【このサイズの用紙には 2 色プリントできません B5(タテ)以上の用紙を セットしてください】 | (原因) 本機では、B5 サイズよりも小さい 用紙には、2 色印刷できません。 (対処) 縦方向が B5 サイズ(257 mm)より も長い用紙をセットしてください。 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) |

| 事 示 | 原因・対処 | ローニング解除方法 |
|--------------------------------------|--|--|
| | | |
| 【このリイスの用紙には | | <闭しる小ダノアにダッテする (/フトップトキーキー |
| | トラムとを使用して「巴フリント | (ヘストッノンキーよんはヘリセットンキーを |
| ノリノトできません | 9 る場合、使用できる用紙リイス | 押しても辨味でさます。) |
| | に利限かのります。現住セットご | |
| 「側にセットし、モート選択を | 11といる用紙リイスでは、トフム2 | |
| やり直してくたさい」 | での「巴印刷はできません。 | |
| | | |
| | トノムとをいうたん取り外し、ト | |
| | ノムー側に入れ皆んてくたさい。 | |
| | | |
| | 1 へは F. 14 印刷に使用してる用 紙について」をご覧ください | |
| | | ノ眼じてギカントにクッチオス |
| して使用の1 ノンの仕庫を唯認の上 必要でちれば発注をも願いします | | <闭しる小ダノブにダッテする (/フトップトナーキたけ/リセットトナ |
| 必要での11は先注をの願いしま9 | こ時人ごれにイノクやマスターの | (< ストツノンキーまたは < リビットンキー |
| | | |
| 【ご使用のマスターの在庫を確認の上 | くなりました。 | <閉じるボタン>にタッチする |
| 必要であれば発注をお願いします】 | | (<ストップ>キーまたは<リセット>キー |
| | 必要小の11は1ノクヤマスターを 発行してください | を押しても解除できます。) |
| | | |
| して使用のインクの | | く闭じる小ダブ>にダッナする (/ コール・プンナーナー |
| 仕庫を確認の上 | ご賄人されにイノクやマスターの | |
| 必要にのれば | | 押しても解除でさます。) |
| 光圧をの限いしま9 | くなりました。 | |
| | ■ P.107 初期設定を変更する 「理接設空] / サプライカ床管理」 | |
| して使用のマスターの | [環境政定]/ リノノ1 江岸皆垤」 | |
| 仕庫を唯認の上 | (刈廻) 必要があれげインクやフフターを | (く人トツノ>キーまたはくリセット>キーを |
| 必要でのれは | 磁気になり シンドマスシーを | 押しても解除でさます。) |
| 光注をの限いしま9】 | | |
| 【指定エリアの形か | | < OK M 2 2 > C 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 |
| 復年9 さるので 八年加田本キキサ(| 指走されにエリアの形が複雑で処 四マキキサ(| |
| 分取処理でさません | 埋じさません。 | |
| エリアを指定し回して | | |
| やり直してくたさい | ヘノ枠の形かキリキリしていた | |
| | | |
| | リタると、ハノ栓として認識され | |
| | ません。梓か明確にわかるように、 | |
| | はるべく単純な形に指定してくた | |
| | | |
| | F.09 [Lリア 指足力版]、[ト レーフ公転] についての注意 | |
| 「七字エリフの粉ぢタナギスのズ | | |
| 【旧化エリアの奴か多9さるので 公覧加田でキキサム | | < UK 小グノノにグツナ 9 る |
| フ脳処理じさません | 相にエリアの奴の利限を超んてい | |
| 旧たエリアで減りして | | |
| アリ直してください | | |
| | 仪り尿恫に指足でさるヘノ悍り 数は早十 90 佃本す エリマ数をぎ | |
| | 女は取人 ZU 恒じ9。エリア数を減 にレアノださい | |
| | らしくく/ことい。 | |

| + - | 唐田 . 封加 | |
|--|---|--|
| | 家内・刈処 | |
| 【指定されている変倍率から 用紙サイズを特定できません 用紙トレイを選択してください】 | (原因) 指定した変倍率に適合する用紙が ありません。 (対処) 用紙トレイを選択してください。 | ・用紙トレイを選択するとき < 用紙選択ボタン>または<手差しボタン> にタッチし、用紙トレイを選択する ・プリントを中止するとき < 中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても中止できます。) |
| 【自動振分できません 選択中の Prioa にエラーが発生してい るか、電源が入っていない可能性があり ます】 | (原因) 「自動振分枚数」の設定が「有効」 で、印刷枚数入力により RLP モー ドに切り換わったときに、現在選 択している連携機(Prioa)にエ ラーが発生しています。 (対処) 連携機(Prioa)のエラーを解除し てから、再度プリントを行ってく ださい。 または、別の連携機に切り換えて プリントするか、本機からプリン トしてください。 ● P.168「初期設定を変更する [環境設定]/自動振分枚数」 | 製版画面に戻るとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても戻ることができます。) 利用可能な別の連携機に切り換えるとき < Prioa 変更ボタン> にタッチして、「RLP 切替」画面で他の連携機を選択する (他に利用可能な連携機がない場合は、< Prioa 変更ボタン> は表示されません。) P.212「複数の連携機をネットワーク接 続しているとき」 |
| 【上限に達しました これ以上利用できません】 | (原因) 管理者が設定した上限印刷/製版 枚数に達しました。 (対処) 管理者に連絡してください。 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) |
| 【ジョブの色指定と ドラム 1 のカラーが異なります ドラムを交換してください】 | (原因) プリンタドライバで設定された色 指定と、異なる色のドラムがセッ トされています。 (対処) そのままの色で続行するときは 「続行」にタッチしてください。ド ライバでの色指定を無視して、現 在セットされているドラムの色で 製版/印刷を開始します。 ドライバの指定通りに印刷する場 合は「中止」にタッチし、ドラムを 交換してください。 | プリントを続行するとき < く続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントでき ます。) プリントを中止するとき < マ中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。) |

| 事 示 | 百田•対机 | ローニング解除方法 |
|--|--|--|
| | 「「「日」 | ノーーノノ肝际刀広 |
| 【ショブの巴指定と ドラム2のカラーが異なります ドラムを交換してください】 | (原因) プリンタドライバで設定された色 指定と、異なる色のドラムがセッ トされています。 (対処) そのままの色で続行するときは 「続行」にタッチしてください。ド ライバでの色指定を無視して、現 在セットされているドラムの色で 製版/印刷を開始します。 ドライバの指定通りに印刷する場 合は「中止」にタッチし、ドラムを 交換してください。 | ・ フリントを続けするとき <k< li=""> く続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) ・ プリントを中止するとき <hr/> ・ プリントを中止するとき <hr/> く中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。) </k<> |
| 【ジョブの色指定と ドラムカラーが異なります ドラムを交換してください】 | (原因) プリンタドライバで設定された色 指定と、異なる色のドラムがセッ トされています。 (対処) そのままの色で続行するときは 「続行」にタッチしてください。ド ライバでの色指定を無視して、現 在セットされているドラムの色で 製版/印刷を開始します。 ドライバの指定通りに印刷する場 合は「中止」にタッチし、ドラムを 交換してください。 | ブリントを続行するとき << |
| 【スキャンできません 外部 CI が接続されていないか 接続処理中です 確認してください】 | (原因) 外部コントローラとの接続不良、 または接続処理中のため、スキャ ンモードが使用できません。 (対処) 外部コントローラが正しく接続さ れているか確認してください。 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても中止できます。) |
| 【適切なサイズの用紙が Prioa にセットされていません 用紙をセットするか 用紙トレイを選択して スタートキーを押してください】 | (原因) 検知した原稿サイズに適合するサ イズの用紙が連携機にセットされ ていません。 (対処) 用紙を確認し、適切なサイズの用 紙を連携機にセットしてくださ い。 | 手差しトレイを使ってプリントするとき <手差しボタン>にタッチする(A3サイズ で出力されます。) 用紙を選択してプリントするとき <用紙選択ボタン>にタッチする プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても中止できます。) |
| 【ドラム2で1色印刷するには ドラム1を機密処理するか、 ドラム2をドラム1側へセット して、モード選択を行います】 | (原因) ドラム2側で1色印刷しようとし ています。 (対処) ドラム1を機密にするか、ドラム 2をいったん取り外し、ドラム1 側に入れ替えてください。 | ドラム1を機密にするとき <1 側機密ボタン>にタッチする ドラムをセットしなおすとき <引じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。) |

| 表示 | 原因・対処 | ワーニング解除方法 |
|----------------------------------|--|--|
| 【ドラムにマスターがついていません 製版を行ってください】 | (原因) ドラムにマスターが付いていない | <閉じるボタン>にタッチする |
| | 状態で印刷しようとしています。 (対処) 原稿をセットして、劇版を行って | 重要 ドラムにマスターがついていない状 態で放置するとドラムが乾いて故障 の原因となります。必ず、製版または |
| | ください。 | 「機密」を行ってマスターを巻きつけ てください。 |
| 【中綴じできるサイズの用紙が | (原因) | <閉じるボタン>にタッチする |
| セットされていません】 | RLP モードで、「中綴じ」を「ON」 | (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを |
| | に設定して<スタート>キーを | 押しても解除できます。) |
| | 押したときに、連携機(Prioa)の用 | |
| | れトレイに適切なリイスの用紙が ちゃんたれていませんでした | |
| | | |
| | 連携機のトレイに、以下のいずれ | |
| | かの用紙をセットしてください: | |
| | A3、A4(縦)、Ledger、Letter (縦) | |
| 【ネットワークカードを起動中です | (原因) | <閉じるボタン>にタッチする |
| しばらくお待ちください】 | ネットワークカードが起動してい | (<リセット>キーを押しても解除できます。) |
| | ます。 | |
| | (対処) | |
| | しはらくの付らくたさい。 またけ 木継からプリントレアイ | |
| | ださい。 | |
| 【パソコンからのジョブを処理していま | (原因) | |
| | パソコンから指示された原稿デー | |
| ジョブ処理中はこの機能は使用できま | タの受信中です。 | |
| せん】 | ジョブの処理中は、RLPモードお | |
| | よびスキャンモードは使用できま | |
| | せん。 (カナ加) | |
| | (内処) ジョブの受信・出力が終了してか | |
| | ら、プリントを再試行するか、本機 | |
| | から出力してください。 | |
| 【ブックモードと AF は併用できません | (原因) | <閉じるボタン>にタッチする |
| 原稿台ガラスを使用してください】 | ブックモード設定時に、自動原稿 | (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを |
| | 送り装置(オプション)に原稿を | 押しても解除できます。) |
| | セットしています。 | |
| | (刈処) | |
| | 赤响で 赤向ロカラスにビットして ください。 | |

| 表示 | 原因·対処 | ワーニング解除方法 |
|-----------------|--------------------------|-----------------------|
| 【不定形原稿では、オートトレイ | (原因 1) | • 用紙トレイを選択するとき |
| 選択できません | 連携機モードで、不定形の原稿を | <用紙選択ボタン>にタッチし、用紙トレイ |
| 用紙トレイを選択して | セットしているときに、「オート」 | を選択する |
| 再スタートしてください】 | で印刷用紙を選択しようとしてい | ● プリントを中止するとき |
| | ます。 | <中止ボタン>にタッチする |
| | (対処) | (<ストップ>キーまたは<リセット>キー |
| | 連携機の用紙トレイを選択してく | を押しても中止できます。) |
| | ださい。 | |
| | (原因 2) | |
| | 定形サイズの原稿の場合は、セッ | |
| | ト位置がずれています。 | |
| | (対処) | |
| | 原稿台カバーを開いて、原稿を正し | |
| - | い位置にセットしなおして下さい。 | |
| 【不定形原稿では | | • 保存サイズを指定するとき |
| オートサイズ選択できません | スキャンモードで不定形の原稿を | <保存サイズボタン>にタッチする |
| 保存テータサイスを選択して | セットしているときに、「オート」 | • スキャンを中止するとき |
| 再スタートしてくたさい】 | ご読み取りサイスを選択しようと | <中止ボタン>にタッチする |
| | しています。 | (<ストップ>キーまたは<リセット>キー |
| | (刈処) | を押しても中止できます。) |
| | リイスを迭折してくたさい。 | |
| | (尿囚Z) 定形サイブの百禧の提会け セッ | |
| | たのですべいます | |
| | | |
| | 原稿台カバーを聞いて 原稿を正し | |
| | い位置にセットしなおして下さい。 | |
| 【- プロテクト - | | ● 櫟密をするとき |
| 現在のマスターを破棄します】 | 「プロテクト」設定が有効になって | く実行するボタン>にタッチする |
| | います。 | ● 機密をしないとき |
| | (対処) | く実行しないボタン>にタッチする |
| | 必要に応じて機密を実行してくだ | |
| | さい。 | |
| | ● P.178「印刷済みのマスターを | |
| | 安全に管理する [プロテクト]] | |
| 【ホールドメモリがいっぱい | (原因) | <中止ボタン>にタッチする |
| のため、保存できません | メモリーカード DM128CF の空 | (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを |
| ホールドデータの整理を | き容量がありません。 | 押しても解除できます。) |
| 行ってください】 | (対処) | ● ホールドデータを確認するとき |
| | ホールドデータを確認し、必要な | <ホールド一覧ボタン>にタッチする。 |
| | いジョブなどは削除してくださ | |
| | しい。 | |

| + - | 医田 分加 | |
|---|--|---|
| 衣示 | 原囚・刃処 | |
| 【本機の温度が低いため 「ハイスピード」は 使用できません】 | (原因) 使用環境の温度が低い場合には 「ハイスピード」は使用できません。 (対処) 印刷機本体内部の温度が15℃以上になるまで、通常の印刷速度で ご使用ください。 「続行」にタッチすると、通常のス ピードで印刷を開始します。 「中止」にタッチすると、印刷基本 画面に戻ります。 | ブリントを続行するとき <<続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントでき ます。) プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても解除できます。) |
| 【用紙が重送された可能性があります 印刷物を確認してください】 | 印刷物を確認してください。 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) • 重送検知を解除するとき <重送検知 OFF ボタン>にタッチし、白黒 反転から通常の状態にする |
| 【用紙サイズとプリントエリアが合って いません ローラーを汚す可能性があります (続行は試し刷りキー)】 | (原因) 製版サイズより小さい印刷用紙で 印刷しようとしています。 (対処) 正しいサイズの印刷用紙をセット してください。 | 本機でプリントするとき <<試し刷り>キーを押す プリントを中止するとき <<中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キー を押しても中止できます。) |
| 【用紙サイズとプリントエリアが合って いません ローラーを汚す可能性があります】 | (原因) 製版サイズより小さい印刷用紙で 印刷しようとしています。 (対処) 正しいサイズの印刷用紙をセット してください。 | 本機でプリントするとき << |
| 【利用枚数の集計日がきました 管理者へ連絡してください】 | (原因) 利用枚数の集計日になりました。 (対処) 管理者に連絡してください。 ● P.158「各ユーザーの利用枚数 を確認する [利用枚数集計]」 | <閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを 押しても解除できます。) |

消耗品情報入力画面が表示されたときは

本機は、最適なプリント状態を保つために、消耗品から情報(マッチング情報)を得ています。 マッチング情報が適切に取得できなかった場合は、消耗品情報入力画面が表示されます。適切な設定値 を入力してください。

このとき、 (①情報 _ 」 の ① アイコンはグレー表示になります。

●「 ● 情報ボタン>について」(P.224)



● 次のような操作を行った場合、[消耗品情報入力ウィザード]画面で設定した情報が消失するため、再度、消耗品情報の入力が必要となります。

- 電源スイッチを「OFF」にして、再度「ON」したとき

- スリープ状態になった後

- <ウェイクアップ>キーを押したとき

■ インク情報入力画面が表示された場合



インクのマッチング情報が適切に取得できなかった場合に表示され ます。

< OK > にタッチしてから、以下の表を参考に、項目を設定してくだ さい。

| 画面表示 | 設定内容 | 設定値 |
|--|--|--------------|
| 消耗品情報入力ウィザード インク情報の入力(ドラム1) 【H1】インク色設定 1:ブラック 2:カラー 次ヘ> | 【H1】インク色設定(ドラム1の場合) 【H7】インク色設定(ドラム2の場合) 現在使用しているドラムと同じ色を選択しま す。 | 1:黒 2:カラー |
| 消耗品情報入カウィザード インク情報の入力(ドラム1) [H2] 印刷濃度微調整 1 2 3 4 5 < 3 4 5 | 【H2】印刷濃度微調整(ドラム1の場合) 【H8】印刷濃度微調整(ドラム2の場合) インクに合わせて、適正な印刷濃度になるよ うに、微調整を行います。 | 1(薄い)~ 5(濃い) |

| 画面表示 | 設定内容 | 設定値 |
|---|--|--------------|
| 消耗品情報入カウィザード インク情報の入力(ドラム1) [H3] ファーストプリント印刷濃度調整 1 2 3 4 5 | 【H3】ファーストプリント印刷濃度調整 (ドラム 1 の場合) 【H9】ファーストプリント印刷濃度調整 (ドラム 2 の場合) インクに合わせて、ファーストプリントの印 刷濃度の調整を行います。 | 1(薄い)~ 5(濃い) |
| (戻る) 次へ> | | |

| 消耗品情報入力ウィザード インク情報の入力 (ドラム1) | |
|--|-----|
| 以下の入力内容でよろしいですか? 設定値を確認して、スタートキーを押してくだる | έlν |
| 項目 | 設定値 |
| 【H1】インク色設定 | 1 |
| 【H2】印刷濃度微調整 | 3 |
| 【H3】ファーストプリント印刷濃度調整 | 3 |
| | |

設定が終了すると、確認画面が表示されます。

設定値を確認し、<スタート>キーを押してください。 基本画面に戻ります。



マスター情報入力画面が表示された場合は、引き続き 適切な設定値を入力してください。 ● P.264「■マスター情報入力画面が表示された場合」

■ マスター情報入力画面が表示された場合



マスターのマッチング情報が適切に取得できなかった場合に表示されます。 < OK ボタン> にタッチしてから、以下の表を参考に、項目を設定 してください。

| 画面表示 | 設定内容 | 設定値 |
|---|--|---------------|
| 消耗品情報入力ウィザード マスター情報の入力 [H4] 製版濃度設定 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次ヘ> | 【H4】製版濃度設定 マスター製版時における基準濃度の設定 を行います。 | 1(薄い)~ 10(濃い) |
| 消耗品情報入力ウィザード マスター情報の入力 [H5] 印刷濃度微調整 1 2 3 4 5 <戻る 次ヘ> | 【H5】印刷濃度微調整 マスターに合わせて、適正な印刷濃度に なるように、微調整を行います。 | 1(薄い)~ 5(濃い) |
| 消耗品情報入力ウィザード マスター情報の入力 [H6] ファーストブリント印刷濃度調整 1 2 3 4 5 << 、 、 、 、 | 【H6】ファーストプリント印刷濃度調整 マスターに合わせて、ファーストプリン トの印刷濃度の調整を行います。 | 1(薄い)~ 5(濃い) |

| 消耗品情報入力ウィザード マスター 情報の入力 | |
|--|-----|
| 以下の入力内容でよろしいですか? 設定値を確認して、スタートキーを押してくださ | žι |
| 項目 | 設定値 |
| 【H4】製版濃度設定 | 1 |
| 【H5】印刷濃度微調整 | 3 |
| 【H6】ファーストプリント印刷濃度調整 | 3 |
| <戻る | |

設定が終了すると、確認画面が表示されます。 設定値を確認し、<スタート>キーを押してください。 基本画面に戻ります。

「故障かな?」と思ったときには、サービスマンに連絡をする前に、次の表から原因を確認し対処してください。

| 状況 | 原因 | 対処 |
|---------------------------------|--|---|
| 電源を入れても起動しない | スリープ状態(節電モード)を電源 「OFF」と誤解して、電源スイッチを | もう一度、電源スイッチを押してください。 電源スイッチを押す前に、操作パネルの |
| | 押していませんか? | <ウェイクアップ>キーを確認してくださ |
| | | い。<ウェイクアップ>キーが点灯している |
| | | ときはスリープ状態です。<ウェイクアッ |
| | | プ>キーを押すとスリープが解除され、操作 |
| | | が可能な状態になります。 |
| | 電気は通じていますか? | 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されているか確認してください。 |
| | | • 商用電源のブレーカーが落ちていないか確 |
| | | 認してください。 |
| 前カバーが閉まっているのに、エラー メッセージが消えない | 前カバーは完全に閉まっていますか ? | 前カバー下のマグネットが付くように、完全 に閉めてください。 |
| 給紙台が閉まらない | 給紙フェンスは左右いっぱいに広 | 電源を入れて、給紙台を最下部まで下げてく |
| | がっていますか? | ださい。その後、給紙フェンスロックレバーを |
| | 給紙台が最下部まで下がりきる前に | 解除して、給紙ノエンスを左右いつはいに広 ばてから 絵紙 ムを問いてください |
| | 電源を OFF」にしていませんか? | ● P34「給紙台と用紙のセット |
| ドラムが入らない | 正しい停止位置にドラムを回転させ | 手動でドラムを回転させたときは、作業後必 |
| | ていますか? | ず ▶ マークと ◀ マークが向かい合う位 |
| | | 置までドラムを戻してください。 |
| | | |
| | ドラムをレールに正しくセットして いますか? | ドラムを正しくセットしてください。 ☞ P.233「ドラムのセットのしかた」 |
| 消耗品(インク、マスター)をセットした | 消耗品(インク、マスター)を正しく | インクボトルを差し込んで、右方向(🔒)に |
| のにエラーメッセージが消えない | セットしていますか? | 回し、ロックしてください。 |
| | | または、セットしなおしてください。 |
| | | ● P.228 インクホトル交換のしかた」 |
| | | マスター芯のしてマークがある方を左にして |
| | | セットしてくたさい。 () P 225[マスターな焼のしかたし |
| | | 1.223 インクボトルロの部分に貼ってあるシール |
| | ヤットしていませんか? | は、はがさないでください。はがしてしまった |
| | | 場合は、新しいインクボトルをセットしてく |
| | | ださい。 |
| | | ☞ P.228「インクボトル交換のしかた」 |
| | 消耗品情報のないマスターをセット | マスター芯の 🚺 マークは切り取らないでく |
| | していませんか? | ださい。切り取ってしまった場合は、新しいマ |
| | | スターをセットしてください。 |
| | | ■ P.225「マスター交換のしかた」 |

| 状況 | 原因 | 対処 |
|---------------------------|---|--|
| 排版ボックスが取り出せない | 「プロテクト」設定が「ON」になって いませんか? | 「プロテクト」設定が「ON」の場合、通常の状態では排版ボックスを取り出すことができません。 ● P.178「印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]」 |
| | 排版ボックスのロックレバーは解除 されていますか? | 排版ボックスロックレバーを右にスライドして、ロックを解除してください。 排版ボックスが施錠されている場合は、管理 者に連絡して南京錠を開錠してください。 ☞ P.230「排版ボックスのマスターの処理」 |
| 出てきた用紙が真っ白で何も印刷され ていない | 原稿面の表裏を逆にしてセットして いませんか? | 原稿面を下にしてセットしてください。 |
| プリントの一部が欠けてしまう | 原稿台ガラスや自動原稿送り装置 (オプション)のスキャナーガラスが 汚れていませんか? | 原稿台ガラスやスキャナーガラスを柔らかい 布などで拭いてください。 拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想 ステージクリーナーの使用をおすすめしま す。 ● P.237「お手入れのしかた」 |
| | マスターに何か付いていませんか? | ドラムを引き出して、マスターに何か付いて いるときは取り除いてください。 マスターとドラムの間に異物が挟まっている ときは、マスターをはがし異物を取り除いて ください。その後、ドラムをセットし、製版し なおしてください。 |
| | 製版時に、給紙台にセットされてい る用紙サイズと原稿サイズが合って いますか? 製版時に、給紙台の給紙フェンスが 用紙にぴったりと合っていますか? | 給紙台に原稿サイズと同じサイズの用紙を セットしてから製版を行ってください。 製版サイズは給紙台に載せている用紙のサイ ズ(給紙フェンスの幅と用紙の長さ)で決定し ています。製版時、原稿サイズよりも小さいサ イズの用紙を給紙台にセットしていると、原 稿全体を製版することができません。 |
| プリントされた用紙に白い縦線が入る | 製版ユニット部のサーマルヘッドや 自動原稿送り装置(オプション)のス キャナーガラスに、ちりや修正液な どが付いていませんか? | サーマルヘッドやスキャナーガラスを柔らか い布などで軽く拭いてください。 サーマルヘッドを拭くときには、汚れをきれ いに落とせる理想サーマルヘッドクリーナー の使用をおすすめします。 ● P.237「お手入れのしかた」 |
| 排紙台に用紙がきれいに揃わない | 排紙フェンス、ストッパーの位置は 適切ですか? | 排紙フェンスとストッパーは用紙サイズに合わせてください。厚い用紙のときは少し広めにセットしてください。 ● P.35「排紙台のセット」 |
| | 紙揃えプレートを適切にセットして いますか? | 紙揃えプレートを適切にセットしてください。 ☞ P.35「排紙台のセット」 |

| 1420 1 | 唐田 | |
|--------------------|-----------------------------|---|
| | | |
| フリントされた用紙に地汚れか出る | 新聞なと、地色のめる原稿を使用し ていませんか? | 読取濃度]を薄くして袈衆しなめしてくたさ |
| | | ● P.60「原稿の読取濃度を選択する [読取 濃度]」 |
| | | |
| プリントされた用紙に汚れが印 | 原稿台ガラスや自動原稿送り装置 | 原稿台ガラスやスキャナーガラスを柔らかい |
| 刷される | (オプション)のスキャナーガラスが | 布などで拭いてください。 |
| | 汚れていませんか? | 拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想 |
| | | ステージクリーナーの使用をおすすめしま |
| | | |
| | | P.2371 お手入れのしかた」 医院上界以供しての思想を必須した。 |
| ノリントされた用紙の縁(ノナ) | | 原稿と回しサイスの用紙を結紙台にセットし |
| かイングで汚れる | 用紙を結紙台にビットしていません | く 変成しなのしてくたさい。 尿楠よりも人さ たせイブを詰み取って制版するときに |
| | | なりイスを読み取って装成することに、原情 |
| | ノルリイス裂版]していませんか? | が影として製版されます。 |
| | | または、下記で紹介しているヤロハンテープ |
| | | を貼る方法で対処してください。 |
| | はがきなど厚い用紙を印刷している | 製版しなおしてください。 |
| | とき、用紙の角がマスターにあたっ | またはドラムを引き出して、マスターが傷付 |
| | てマスターを傷付けていませんか? | いている部分にセロハンテープを貼って対処 |
| | | してください。 |
| | | なお、マスターにセロハンテープを貼ると、排 |
| | | 版時にマスターが正常に排版されないことが |
| | | のりより。ごう承くたさい。 |
| 紙がつまっていないのにエラーメッ | 舞い上がった紙が、ドラム2回転目 | 印刷物を確認し、上部に余白が 5mm 以上な |
| セーンか表示される | で出てきていませんか? | いとさは印刷位直を少し下けてくたさい。 |
| | 日光か本機に直接あたっていません | 日光か本機に直接あたると、センサーか誤検 |
| | 2 20 | カリることがのりより。 カーテンなどで光を渡ろか 日光が直接あた |
| | | らない場所に本機を移動してください。 |
| | プリンタドライバの設定で「部単位 | 現在のデータのジョブを削除し、「部単位での |
| き、原稿データが複数ページであるにも | で印刷しを選択していませんか? | 印刷しのチェックをはずしてから、原稿データ |
| かかわらず、1ページごとに製版を繰り | | を送信しなおしてください。 |
| 返す | | P.48「パソコンデータをプリントする |
| | | [ダイレクトプリント][USB メモリ]] |
| | | P.53「出力指示の変更」 |
| パソコンから原稿データを送信したが | ディスプレイに[環境設定]画面が表 | <終了>にタッチして[環境設定]画面から基 |
| 本機がデータを受信しない。 | 示されていませんか? | 本画面に切り替えてください。 |
| <スタート>キーが点灯している | 受信データが出力待ちの状態ではあ | <スタート>キーを押して印刷してくださ |
| | りませんか? | ι, C λ. |

| 状況 | 原因 | 対処 |
|--------------|--|---|
| 用紙の裏がインクで汚れる | プレスローラーがインクで汚れてい | ドラムを取り外して、プレスローラーを柔ら |
| | ませんか? | かい布などで拭いてください。拭くときには、 |
| | | 汚れをきれいに落とせる理想ステージクリー |
| | | ナーのご使用をおすすめします。 |
| | | ☞ P.237「お手入れのしかた」 |
| | | また、印刷位置が用紙からはみ出ると、プレス |
| | | ローラーを汚す原因となります。日刷位置調 |
| | | 整」で印刷位直か用紙におさまるようにして イギャロ |
| | | くたさい。 |
| | 結紙ノエノスは用紙の幅に合うてい | 結紙フエンスを用紙の幅に合わせてくた さい |
| ×*** | 691.: | とい。 給紙フェンスが田紙幅に合っていないと 田 |
| | | 紙サイズより余分に製版してしまうことがあ |
| | | ります。 |
| | | ☞ P.34「給紙台と用紙のセット」 |
| | インクの乾きが悪い用紙を使ってい | インクが乾く前に次の用紙が排紙されて、裏 |
| | ませんか? | 移りしています。 |
| | | 用紙を変えるか、「省インク」「インターバル印 |
| | | 刷」をお試しください。 |
| | | ■ P.69 インクを節約する「省インク」」 |
| | | P.1051 表移りを少なく9 る [1 ノダーハ] 山印刷11 |
| プロントが薄い | 本機を使用したい状態が長時間続い | * * * * * * * * * * * * * * * * * * * |
| 文字がかすれる | た後に、プリントしていませんか? | ンクが乾きます。この状態でプリントすると、 |
| | | 印刷物が薄くなったり、かすれることがあり |
| | | ます。 |
| | | <試し刷り>キーを押して、何枚か印刷して |
| | | から使用してください。 |
| | | 「アイドリング」機能をご利用になると便利で |
| | | |
| | | P. 1461 デオ トリングを9 る [デオ トリン が1] |
| | 「「「「「「」」」 「「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」 「 | 「 請取 遭 度 」 友 遭 く し て し 版 し れ お し て く だ さ |
| | | |
| | | ● P.60「原稿の読取濃度を選択する [読取 |
| | | 濃度]」 |
| | | えんぴつ書き原稿のときは、「原稿モード」で |
| | | 「えんぴつ」を設定してください。 |
| | | ● P.58「原稿に適したモードを選択する |
| | | |
| | 4 歳の使用東項またほインクの保管 | 常温の場所にしはらく直いてから使用してく ださい |
| | ありませんか? | ● P.12「使用環境について」 |
| | 「省インク」を設定していませんか? | 「省インク」を設定すると 印刷の仕上がりが |
| | | 通常よりも薄くなります。 |
| | | ● P.69「インクを節約する 「省インク」 |

| | ED | |
|----------------------------|---|---|
| | | |
| 連与されずに片面か何も印刷されない | ノサーか鳴って[次の原稿をセット し、スタートキーを押してください] と表示されている間に原稿をセット | 「連与」でフリントすると、連与待ら時間にフ ザーが鳴ります。その間に原稿をセットして ください。 |
| | しましたか? | 原稿台ガラスに原稿をセットしていて、ブ ザーが鳴らずに2枚目の原稿が読み込まれて しまうときは、「環境設定」で「連写待ち時間」 の設定を変更してください。 |
| | 「「「「「「「」」」」」」「「」」」」」」」 | ■ P.166 初期設定を変更する 【境境設定】 /連写待ち時間」 |
| | 原稿読の込み中にくストックシャー を押しませんでしたか? | 原稿読み込み中にくストップンキーを押す と、作業を中止します。すべての原稿が読み込 まれるまで、<ストップ>キーを押さないで ください。 |
| 用紙がドラムに巻き付いてしまう | 原稿上部または印刷物上部の余白は 十分に取っていますか? | 原稿上部(印刷物の排紙方向先端)には 5mm 以上の余白が必要です。印刷の天地位置を下 げて印刷してください。印刷位置が下げられ ないときは、原稿の余白を取って製版しなお してください。 ● P.61「原稿を拡大/縮小する [固定変倍] [独立変倍][ズーム変倍][周囲余白]」 |
| | 印刷用紙は適切ですか? | 推奨範囲の用紙を使用してください。 ☞ P.14「印刷用紙に関する注意」 |
| | 原稿上部に大きなベタ面がありませ んか? | 原稿上部に大きいベタ面があると、排紙され にくくなります。原稿のセット方向を逆にし て、製版しなおしてください。 |
| 用紙が丸まって排紙される | 排紙方向が横目(紙の繊維の流れ) になる印刷用紙をセットしていませ んか? | 印刷用紙は、排紙方向が縦目(紙の繊維の流 れ)になる印刷用紙をセットしてください。 |
| 自動原稿送り装置(オプション)に用紙 がつまる | 自動原稿送り装置内部に用紙が引き 込まれていませんか? | 原稿解除ボタンを押すか、原稿解除ダイヤル を回して、引き込まれている用紙を取り除い てください。 |
| | | 原稿解除ボタン していたいでは、 原稿解除ダイヤル していたいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 |

| 状況 | 原因 | 対処 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| RISO オートフィーダーDX-1(オプ ション)に用紙がつまる | RISO オートフィーダー内部に用紙 が引き込まれていませんか? | 以下の手順で、引き込まれている用紙を取り 除いてください。 |
| | | 重要 ユニット内部のローラーには触ら ないよう注意してください。原稿の 汚れや紙詰まりの原因となります。 |
| | | 原稿給紙部 AF 給紙カバーを開いて(①)、詰まった原稿を 引き出してください(②)。 |
| | | |
| | | 原稿搬送部 AF 給紙カバーを開いて(①)、給紙ローラー部 を図のように立ち上げます(②)。 内部のカバーを開いて(③)、詰まった原稿を 引き出してください(④)。 |
| | | |
| | | |
| | | 原稿反転部 AF 給紙カバーを開き(①)、原稿トレイを図の ように立ち上げます(②)。 詰まった原稿を引き出してください(③)。 |
| | | |

| | 唐田 | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| | | |
| RISO オートフィーダーDX-1(オプ ション)に用紙がつまる | RISO オートフィーダー内部に用紙 が引き込まれていませんか? | 原稿排出部 原稿台カバーを上げ(①)、解除レバーを手前 に倒しながら(②)、詰まった原稿を引き出し てください(③)。 |
| 排紙台のストッパーを越えて、用紙が飛 び出してしまう | | 以下の手順で、排紙台の角度を水平にして、ご 使用ください。 |
| | 印刷用紙は適切ですか? | 推奨範囲の用紙を使用してください。 ☞ P.14「印刷用紙に関する注意 |
| | 給紙圧調節レバーの位置は適切です か? | 厚紙や滑りやすい用紙のときは、給紙圧調節 レバーを「厚紙」にセットしてください。 ☞ P.34「給紙台と用紙のセット」 |

| 状況 | 唐 因 | 动机 |
|--|---------------------------------|---|
| 給紙台から用紙がうまく送られない | さばき板角度は適切ですか? | 状況に応じてさばき板角度を調整してください。 |
| (空送または重送する) | | ■ さばき板角度の調整 |
| 紙粉が多い | | 用紙が空送するとき |
| ● 用紙が重送する | | ダイヤルを左に回してください。 |
| 厚紙やハガキなどが空送する ハガキの裏面がめくれる | | |
| | | 用紙が重送するとき ダイヤルを右に回してください。 |
| | | |
| | | 調整を行うときは、必ず給紙台から 用紙を取り除き、給紙台が最下部ま で完全に下がっていることを確認 してから行ってください。 |
| | 紙さばき圧の調整は適切ですか? | ■ 紙粉が出やすい用紙、空送する、ハガキの裏 面がめくれる場合 ダイヤルを左に回してください。 |
| | | 強 で で で で の 弱 で で で の の の の の の の の の の の の の |
| | | ■ 用紙が重送する場合 ダイヤルを右に回してください。 |
| | | 強 で で で で の 弱 で で で で で で で で で で で で で |
| | | 調整を行うときは、必ず給紙台から 用紙を取り除き、給紙台が最下部ま で完全に下がっていることを確認 してから行ってください。 |
| | 機能一覧の 特殊給紙調整」は正しく 設定されていますか? | 特殊給紙調整」を調整してください。調整方法につきましては、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。 |

| 付録 | |
|----|--|
|----|--|

274 消耗品について
 275 オプションについて
 276 仕様
 279 索引

消耗品について

本機で使用できる消耗品は次のとおりです。

■ 専用消耗品

付録

マスター、インクなどの消耗品は、下記の当社指定の本機専用消耗品を使用してください。 不適切な消耗品の使用は故障やトラブルの原因となりますのでおやめください。

| 種類 | MD6650 | MD5650 | MD5450 |
|------|-------------------------------|-------------------|----------------------|
| マスター | RISO マスターD タイプ HG | RISO マスターD タイプ AS | RISO マスターD タイプ BS |
| | RISO マスターD タイプ HD | RISO マスターD タイプ AE | RISO マスターD タイプ BE |
| | (1 ロール 220 版相当) | (1 ロール約 220 版相当) | (1 ロール約 250 版相当) |
| インク | RISO インクDタイプ HG(黒) | RISO インク | D タイプ(黒) |
| | RISO インクDタイプ(各色) [※] | RISO インク D | タイプ(各色) [※] |

※ 色の種類については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

当社指定の本機専用消耗品は、製造年月より18カ月(常温保存)以内を目安にご使用ください。より良い状態でお使い頂くため、購入後はできるだけ早めに、ご使用頂くことをお薦めいたします。 消耗品の製造年月は、インクボトル表面、マスター芯内側にそれぞれ記載してあります。

■ 印刷用紙について

印刷用紙は、機械の性能やインクの特性を十分に活かす「理想用紙」、「理想環境用紙」の使用をおすすめします。

• 詳細については、本体お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

オプションについて

本機をより便利に使用するために、さまざまなオプションを用意しています。 お求めの際はお買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)へお問い合わせください。

| 自動原稿送り装置 AF-VI:Ⅱ | 最大約 50 枚までの原稿を自動的に送ることができます。 |
|-------------------------|---|
| RISO オートフィーダーDX-1 | 最大約 50 枚までの原稿を自動的に送ることができ、両面原稿の読み取りも可能です。 |
| ソフトデジタイザキット Ⅱ ZX | より高度な編集処理ができます。 |
| (MD5650/5450 のみ) | 原稿の位置を正確に調整できるゲージシートがついています。 |
| カラードラム | ドラムを交換するだけで簡単に多色刷りができます。(専用ケース付き) |
| | ー定期間ごとやカードごとにプリント枚数の集計やマスター使用枚数などがワンタッ チで確認でき、コスト管理に便利です。また、部門ごとのプリント枚数やマスター使用 |
| | する確認とないコスト管理に使利とす。よん、部門ととのプリプト校数ドマスター使用 枚数の記録を取ることができます。 |
| ST ソーター Ⅳ:N Ⅱ | プログラム機能との併用で、自動的にグループごとにテープを差し込み、印刷物の仕分 けが簡単に行えます。 |
| | 本機をネットワークに接続するためのオプションです。 |
| RISO Network Card | 各パソコンから印刷機の状態を確認できるモニタリングソフトウェア(RISO- |
| | MONITOR)が付いています。 |
| メモリーカード DM128CF | 「ホールド」機能を使用するためのメモリーカードです。 |
| (MD5650/5450 のみ) | |
| BISO コントローラ IS300 | 本機をネットワーク対応のポストスクリプト3プリンタとして使用するための専用コ |
| | ントローラです。 |
| コインベンダー CV-1 | 2色印刷に対応した、硬貨投入式のセルフサービス用課金システムです。 |
| カードベンダー CR-1 | 2色印刷に対応した、プリペイドカード挿入式のセルフサービス用課金システムです。 |
| 2COLOR ドラム収納架台 | |
| 2COLOR 架台 N タイプ | |
| 排紙台(W) | 最大 340mm × 555mm の印刷用紙に対応する排紙台です。 |
| 給排紙カバーキット 2COLOR | 動作時の給排紙の音や、機械音を抑えるためのカバーです。 |
| 厚紙給紙アタッチメント | 八ガキなどを給紙するためのユニットです。 |
| 封筒給紙アタッチメント | 封筒を給紙するためのユニットです。 |

仕様

MD6650/5650/5450

| 製版方式 | 高速デジタル製版 |
|-----------------------|--|
| 製版時間 (すべて A4 縦等倍時) | 2 色同時:約57秒、 ドラム1のみ製販時:約24秒、 ドラム2のみ製販時:約34秒(ドラム1本セット時) |
| 印刷方式 | 全自動孔版 2 色同時印刷 |
| 原稿の種類 | ブック(10kg 以下)/シート |
| 原稿紙質 | 自動原稿送り装置 AF-VI 使用時:50g/m ² ~ 128g/m ² (43 ~ 110kg 連量 : 四六判)紙 RISO オートフィーダーDX-1 使用時: 片面搬送時:40g/m ² ~ 128g/m ² (35 ~ 110kg 連量:四六判)紙 両面搬送時:52g/m ² ~ 105g/m ² (45 ~ 90kg 連量:四六判)紙 |
| 原稿サイズ | 原稿台ガラス使用時:最小 50mm × 90mm ~最大 310mm × 432mm 自動原稿送り装置 AF-VI 使用時:最小 100mm × 148mm ~最大 310mm × 432mm RISO オートフィーダーDX-1 使用時:最小 105mm × 128mm ~最大 297mm × 432mm |
| 用紙紙質 | 46g/m ² ~210g/m ² (40~180kg 連量:四六判)紙 |
| 用紙サイズ | 【最大】 320mm × 432mm ** ※ 長尺モード使用時は 555mm(給紙方向に対する天地の長さ)まで使用できます。ただし、ドラム1を取り出して、ドラム2のみの1色プリント時で印刷速度が「ハイスピード」のときは364mm ~ 432mm までの用紙が使用できます。 【最小】 2 色プリント 182mm × 257mm(B5 サイズ) 1 色プリント(ドラム1使用) 100mm × 148mm 1 色プリント(ドラム2使用) 182mm × 257mm(B5 サイズ) |
| 印刷面積 | MD6650/5650: 最大 291mm × 413mm MD5450: 最大 251mm × 357mm |
| 給紙台積載枚数 | 1,000 枚(64g/m ² (55kg 連量:四六版)紙使用時、積載高さ 110mm 以下) |
| 排紙台積載枚数 | 1,000 枚(64g/m ² (55kg 連量:四六版)紙使用時、積載高さ 110mm 以下) |
| 排紙揃え方式 | ドミノ排紙方式 |
| 印刷速度 | 60~150枚/分(操作パネル:5段階可変、タッチパネル:ハイスピード) |
| 印刷位置調整 | 天地(上下)± 15mm 左右:± 10mm |
| 原稿モード | 文字/写真(標準/顔写真/集合写真)/文字写真(文字優先/写真優先/下地カット)/えんぴ つ(こいめ/うすめ) |
| 印刷倍率 | ズーム(50~200%)、等倍、拡大4段階(163%、141%、122%、116%)、 縮小4段階(87%、82%、71%、61%)、周囲余白率縮小(90~99%)、A4縦→ハガキ、B5縦→ ハガキ |
| 操作 | 対話式大型液晶パネル ● プログレスバー付テンキー入力 |

| 各種機能 | ● プリントモード(2 色/ | 1色) | ● 自動原稿送り装置(オ | プション) |
|------------------|--|--------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|
| | ● ダイレクトプリント | ● 原稿読取濃度調節 | i(マニュアル/オート) | |
| | ● 用紙サイズ検知 | ● 連続 | ● 網点(4 種類) | ● コントラスト強調 |
| | トーンカーブ選択 | ●省インク | ● 連写(かんたん/1原) | 稿/多原稿/チケット) |
| | ● N アップ | ● ブックモード | ●レイアウト原稿 | ● とじしろ製版 |
| | ● フルサイズ製版 | ● かんたん分版 | ● プレビュー表示 | シングル製版 |
| | ●印刷速度調節 | ●印刷濃度調節 | ●印刷位置調整 | ①=②位置追従 |
| | ● 試し刷り | ● 重送検知 | ● インターバル印刷 | ● 排紙ウイング特殊 |
| | ● 特殊用紙設定 | ● 認証設定 | ● プログラム印刷(3種類 | 領) |
| | ● メモリー登録 | ●機密 | ● 占有延長 | ● アイドリング |
| | ● 再製版 | ● 逆順印刷 | | |
| | ● AF オート製版(オプシ | ョンの自動原稿送り | 装置を装着時のみ) | |
| | ● AF 読取面指定 ^{※ 1} | ●180 度回転 | ● 利用枚数集計 | ● 認証 POP 登録 |
| | ● 環境設定 | ● 自動 90 度回転 | | |
| | ● 省エネモード(オートス | リープ、オートシャッ | ット OFF) | |
| | ● 自動振り分け機能 ^{※ 3} | ● デジタイザ ^{※ 2} | ●POP / お気に入り登録 | ●用紙サイズ登録 |
| | ● プロテクト | •スキャンモード* | ⁴ • ホールド ^{※ 5} | ●USB メモリ ^{※ 6} |
| | ●オーバーレイ ^{※ 4} | ● 名入れ ^{※ 5} | ●RLP 出力 ^{※ 3} | ● 残量検知 |
| | RISO iQuality System | 1 | | |
| カラーチェンジ | カートリッジ式ドラム変打 | 奐 | | |
| インク供給 | 全自動(1,000ml /本) | | | |
| マスター給・排版 | 全自動(MD6650/5650); | 約 220 版/ロール、 | MD5450∶約 250 版/□ | ール) |
| マスター排版方式 | 水平排版方式(排版容量 8 | 0版) | | |
| 電源容量 | AC100V、50/60Hz、7.3/ | 4 | | |
| 定格消費電力 | 600W | | | |
| 本体サイズ | 使用時:1,625(幅)×735 | 5(奥行)×1,110 ^{※7} | (高さ)mm | |
| | 収納時:1,005(幅)×735 | 5(奥行)×1,110 ^{※7} | (高さ)mm | |
| 質量 ^{※8} | 約 171kg | | | |
| 安全性 | IEC60950-1 準拠 屋内 | 汚染度 2 ^{※ 9} 標調 | 高2000m以下 | |
| 付属品 | 保証書1部 | | | |
| | 取扱説明書一式 | | | |
| | 使用許諾契約書 1 部 | | | |
| | [RISO Printer Driver]ン | /フトウェア CD - I | ROM一式 | |
| | 理想ステージクリーナー | 袋 | | |
| | 電源コード1本 | | | |
| | 取説ケース1個 | | | |

付録

| オプション | 自動原稿送り装置 AF-VI:Ⅱ |
|-------|---------------------------------|
| | RISO オートフィーダーDX-1 |
| | ソフトデジタイザキットⅡZX(MD5650/5450のみ) |
| | カラードラム |
| | カードカウンター N∶N |
| | ST ソーター Ⅳ:N Ⅱ |
| | RISO Network Card |
| | メモリーカード DM128CF(MD5650/5450 のみ) |
| | RISO コントローラ IS300 |
| | コインベンダーCV-1 |
| | カードベンダーCR-1 |
| | 2COLOR ドラム収納架台 |
| | 2COLOR 架台 N タイプ |
| | 排紙台(W) |
| | 給排紙カバーキット 2COLOR |
| | 厚紙給紙アタッチメント |
| | 封筒給紙アタッチメント |

※1 RISO オートフィーダーDX-1 使用時

※2 ソフトデジタイザ装着時

- ※3 連携機(Prioa)登録時のみ
- ※4 メモリーカード DM128CF 搭載時または USB メモリ接続時
- ※5 メモリーカード DM128CF 搭載時
- ※ 6 USB メモリ接続時
- ※7 専用架台含む
- ※8 質量には、インク、マスターおよび架台は含みません
- ※9 空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと。「2」は一般的な室内環境。

おことわり

- 機械の改良、変更等により、本書の図版や記載事項とお客様の機械が、一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 製品の仕様や種類は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。



本書で使用されている名称や用語をアルファベット 順/50音順で記載しています。

Symbols

| ++- | |
|-----|--|
| ×+– | |
| *+- | |

Numerics

| 180 度回転 | 157 |
|----------|-----|
| 1原稿プログラム | 127 |
| ①=②位置追従 | 101 |

Α

| AF オート製版 | 152 |
|------------|-----|
| AF オート製版基本 | 164 |
| AF 給紙カバー | 18 |
| AF 読取面指定 | 153 |
| AF 読取面変更 | 164 |

С

| CI 切替 | ō |
|-------|-------|
| C + | C |
| | |

| Ν | |
|---|--|
| | |

| N アップ | | | | 77 |
|-----------|---|------|------|------|------|------|------|------|-----|----|
| 0 | | | | | | | | | | |
| OP 連続自動設定 | Ē | | . 1 | 64 |

Ρ

| POP | 173 |
|--------|------|
| POPエリア | . 26 |
| POP 登録 | 163 |
| _ | |

R

| RISO Network Card 13, 14, 206, 275 |
|------------------------------------|
| RISO Printer Driver 14 |
| RISO オートフィーダー DX-1 |
| |
| RISO クリーナー(ティッシュタイプ) 236 |
| RLP 基本画面 |
| RLP 情報取得時間 168 |
| RLP 情報設定 168, 207 |
| RLP 接続設定 168 |
| RLPモード |
| RLP 両面待ち時間168 |
| |

S

| | ST | ソー | ター | | | | | | | 27 | 75 |
|---|-----|----|----|------|------|------|------|------|------|--------|----|
| ī | i - | | | | | | | | | | |

U

| USB スロット 19, 47 |
|-----------------------------|
| USB メモリ |
| 認証方式 47, 115, 116, 118, 120 |
| プリント51 |
| 保存データ182, 190 |

あ

| アースの接続1 | 0 |
|----------|---|
| アイドリング14 | 6 |
| 赤色分版 | 6 |
| 網点6 | 6 |
| 暗証番号 | 0 |
| 安全上のご注意1 | 0 |

い

| , | | |
|---|------------|---------|
| | 色ドラム自動振分設定 | 168 |
| | インク | 11 |
| | インクキャップ留め | 19, 229 |
| | インク情報入力画面 | |
| | インクボトル | 19, 228 |
| | 印刷位置調整キー | 21, 101 |
| | 印刷位置調整ランプ | 21, 101 |
| | 印刷位置調節 | 101 |
| | 印刷キー | 21 |
| | 印刷基本画面 | 23 |
| | 印刷工程 | 29, 31 |
| | 印刷時に設定する機能 | |
| | 印刷速度基本設定 | 164 |
| | 印刷速度調節 | |
| | 印刷速度調節キー | 21, 98 |
| | 印刷速度調節ランプ | 21, 98 |
| | 印刷濃度基本設定 | 164 |
| | 印刷濃度調節 | 100 |
| | 印刷濃度調節キー | 21, 100 |
| | 印刷濃度調節ランプ | 21, 100 |
| | 印刷範囲 | 15 |
| | 印刷用紙 | 14 |
| | インターバル印刷 | 105 |

う

え

| 液晶表示調整 | 163 |
|---------|---------|
| エリア指定分版 | |

お

| - | |
|--------------|-----|
| オートアイドリング46, | 167 |
| オートクリア設定 | 166 |
| オート再製版147, | 149 |
| オート再製版設定 | 167 |
| オーバーレイ | 194 |
| お気に入り | 173 |
| お気に入り登録 | 163 |
| お手入れ | |
| 外装部 | 239 |
| 原稿台ガラス | 237 |
| 原稿パッド | 237 |
| サーマルヘッド | 237 |
| 自動原稿送り装置 | |

| スキャナーガ | ラス | | | . 238 |
|----------|----|------|------|-------|
| ホワイト板 | | | | . 238 |
| プレスローラー | | | | . 239 |
| オプション | | | | . 275 |
| オプションエリア | | | | 27 |

か

| カードカウンター27 |
|-----------------|
| 外部 CI 情報設定 165 |
| カウンター19 |
| 書き込み分版 |
| 書き込み分版(インク)86 |
| 各部の名称とはたらき18 |
| 紙揃えプレートノブ 19,36 |
| カラードラム |
| 環境設定 |
| かんたん分版 |
| かんたん連写 |

き

| 起動アニメ選択 | |
|-------------------|-----|
| 機能一覧 | 2 |
| 基本画面 | |
| 基本機能エリア | |
| 機密 | |
| 逆順印刷 | 150 |
| 給紙圧調節レバー | |
| 給紙台 | |
| セットのしかた | |
| 閉じかた | |
| 給紙台上下ボタン | |
| 給紙フェンス | |
| L | |
| ~ クリーナー | |

| け |
|--------------|
| 原稿解除レバー18 |
| 原稿セットフェンス18 |
| 原稿台 |
| セットのしかた |
| 原稿台カバー18 |
| 原稿台ガラス |
| 原稿の余白16 |
| 原稿排出トレイ18 |
| 原稿パッド18, 237 |
| 原稿表示方向基本168 |
| 原稿モード58 |
| えんぴつ58 |
| 写真58 |
| 文字58 |
| 文字・写真58 |
| 原稿モード基本設定163 |

こ

| 故障 | |
|----------|--------|
| 固定変倍 | 61, 62 |
| コントラスト強調 | 67 |
| こんなときには | |

さ

| サーマルヘッド | . 19, 237 |
|--------------|-----------|
| サーマルヘッドクリーナー | 236 |
| 再製版 | 147, 148 |
| 最大印刷範囲 | 15 |
| 最低印刷枚数 | 167 |
| サブツールバー基本 | 168 |
| サプライ在庫管理 | 167 |

し

| 次原稿待ち時間 | |
|--|---|
| 自動 90 度回転 | |
| 自動原稿送り装置 | . 37. 275 |
| 自動振分 | , 01, 206 |
| 自動振分枚数 | 168 |
| シャット OFF 時刻 | 166 |
| 周囲余白 | 61 62 |
| 周囲余白縮小率 | 165 |
| 重送検知 | 104 |
| 重送検知基本設定 | 164 |
| 受信ジョブ自動振分 | 168 |
| 什様 | 276 |
| 省インク | 69 |
| 省Tネモード | 166 |
| 使用環境 | |
| 使用色基本設定 | 168 |
| | |
| 信報小タン | 26. 224 |
| 情報ホタン 消耗品 | 26, 224 |
| 情報ホタン 消耗品 一覧 | 26, 224 274 |
| 「雨報小タン 消耗品 一覧 インクボトルの交換 | 26, 224 274 228 |
| 情報ホタン 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 | 26, 224 274 228 223 |
| 情報小タン 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 | 26, 224 274 228 223 224 |
| 情報小タン 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 ドラムの交換 | 26, 224 274 228 223 224 232 |
| 情報ホタン 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 ドラムの交換 廃棄 | 26, 224 274 228 223 224 232 234 |
| 情報小タン 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 ドラムの交換 廃棄 マスターの交換 | 26, 224 274 228 223 224 232 234 225 |
| 情報小タン 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 ドラムの交換 廃棄 マスターの交換 マスターの処理 | 26, 224 274 228 223 224 232 234 225 230 |
| 情報小タン 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 ドラムの交換 廃棄 マスターの交換 マスターの処理 初期画面設定 | 26, 224 274 228 223 224 232 234 225 230 163 |
| 情報小タン 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 ドラムの交換 廃棄 マスターの交換 マスターの処理 初期画面設定 初期設定の変更 | 26, 224 274 228 223 232 232 230 163 169 |
| 情報小タク 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 ドラムの交換 廃棄 マスターの交換 マスターの処理 初期画面設定 初期設定の変更 ジョブ情報表示エリア | 26, 224 274 228 223 224 232 230 163 169 27 |
| 情報小タブ 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 ドラムの交換 廃棄 マスターの交換 マスターの処理 初期設定の変更 ジョブ情報表示エリア ジョブ操作ボタンエリア | 26, 224 274 228 223 224 232 234 25 230 163 169 27 27 |
| 情報小タク 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 ドラムの交換 序棄 マスターの交換 マスターの処理 初期画面設定 初期設定の変更 ジョブ情報表示エリア ジョブ操作ボタンエリア ジョブリスト表示切替 | 26, 224 274 228 223 224 232 234 25 230 163 169 27 27 163 |
| 情報小タク 消耗品 一覧 インクボトルの交換 交換 残量の確認 ドラムの交換 マスターの交換 マスターの処理 初期画面設定 初期設定の変更 ジョブ情報表示エリア ジョブ操作ボタンエリア ジョブリスト表示切替 シングル製版 | 26, 224 274 228 223 224 232 230 163 163 27 163 94 |

す

| ズーム変倍6 | 61, 63 |
|-----------|--------|
| スキャナーガラス | 238 |
| スキャン基本画面 | 23 |
| スキャンモード25 | 5, 184 |

| スタートキー | 21 |
|-----------|--------|
| ステージクリーナー | 236 |
| ステータスエリア | 26, 27 |
| ストッパー | 19, 35 |
| ストップキー | 21 |

せ

| 製版キー | |
|---------------|-----------|
| 製版基本画面 | |
| 製版工程 | 28, 30 |
| 製版時に設定する機能 | 2, 57 |
| 製版範囲 | 15 |
| 製版ユニット OK ボタン | . 19, 225 |
| 製版ユニットカバー | . 19, 225 |
| 製版ユニット引き出しカバー | . 19, 225 |
| 製版ユニット引き出しレバー | . 19, 225 |
| 製版ユニットレバー | . 19, 225 |
| 設置場所 | 10, 12 |
| 占有延長 | 145 |
| 占有延長時間 | 166 |
| 占有時間 | 166 |
| 專有面積 | 12 |

そ

| 操作パネル | , | 18, 20 |
|-------|--------|------------|
| ソフトデジ | タイザキット | 275 |

た

| 多原稿プログラム | 128 |
|----------|-----|
| タブエリア | |
| 試し刷り | 103 |
| 試し刷りキー | |

つ

ー ツールバー左右基本 168

τ

| 18, 20, 22 |
|------------|
| |
| 88, 91 |
| |
| 19, 34 |
| |

と

| トーンカーブ選択68 |
|-----------------|
| 寺殊給紙調整 106, 107 |
| 寺殊排紙調整 106, 108 |
| エアブロー 106, 108 |
| 分離ファン106, 108 |
| 分離ファンプラス108 |
| 寺殊排紙調整基本 164 |
| 寺殊用紙設定 106 |
| 虫立変倍61,62 |
| とじしろ83 |
| ドラム 1 19, 232 |

| ドラム 2 | |
|------------|----------|
| ドラム OK ボタン | |
| ドラムレバー | |
| ドリル印刷 | 128, 136 |
| トレース分版 | |

な

| 名入れ193, | 195 |
|---------|-----|
| 名入れ用データ | 165 |

に

| - | |
|-------------|-----------------|
| 日時設定 | |
| 認証 POP 登録 | |
| 認証有無 | 116, 119 |
| 認証画面 | |
| 認証ジョブ | |
| 認証設定 | 114, 167 |
| 管理者/ユーザーの登録 | |
| グループ設定 | |
| 名称入力 | 121, 125 |
| 利用停止 | |
| 利用枚数の上限設定 | |
| 認証プリント | |
| 認証方式 | . 115, 116, 118 |

は

| 排紙ウイング | |
|------------|-------------|
| 排紙ウイング特殊 | 106, 107 |
| 排紙ウイング特殊基本 | |
| 排紙台 | |
| セットのしかた | |
| 閉じかた | |
| 排紙フェンス | 19, 35 |
| ハイスピード | |
| 排版ボックス | 18, 19, 230 |
| パソコンとの接続 | |

ზ

| 表示言語 | 163 |
|------|---------|
| | |

ふ

| フォルダ基本設定 | 165 |
|------------|--------|
| フォルダ名変更 | 165 |
| ブザー音 | 168 |
| ブックモード | |
| 不定形原稿サイズ固定 | 165 |
| 不定形サイズ | 175 |
| プリント | |
| 1 色プリント | |
| 2 色プリント | |
| 出力指示 | 53 |
| 停止タイミング | |
| 流れ | 28, 30 |
| ダイレクトプリント | |
| プリントエリア | 15 |
| | |

| プリント準備 | |
|---------|----------|
| プリントモード | |
| フルサイズ製版 | |
| プレスローラー | |
| プレビュー表示 | |
| 付録 | |
| プログラム | 127 |
| プログラムキー | |
| プログレスバー | 21 |
| プロテクト | 167, 178 |
| 分版ボタン登録 | |
| | |

$\boldsymbol{\sim}$

| 変倍基本設定16 | 4 |
|----------|---|
| 変倍設定6 | 1 |

ほ

| ホールド19 | 90 |
|----------------|----|
| 移動20 |)2 |
| 紙原稿をホールドする18 | 34 |
| 呼び出し19 | 90 |
| ⊐ピー20 |)2 |
| ホワイト板23 | 38 |
| 本機 IP アドレス設定16 | 65 |
| 本体認証11 | 4 |

ま

| 枚数カウンター | |
|--------------|--------------|
| マスター | 19, 225, 230 |
| マスターガイド | |
| マスター情報入力画面 | |
| マスターロールストッパー | 19, 226 |

め

| 名称入力画面 | 134 |
|------------|-----|
| メッセージ | |
| エラーメッセージ | |
| ワーニングメッセージ | |
| メッセージエリア | |
| メモリー | 139 |
| 消去 | 143 |
| 登録 | 140 |
| 名称入力 | 142 |
| 呼び出し | 141 |
| メモリーカード | |

も

| モード | |
|---------|----|
| モードキー | |
| モード選択画面 | |
| よ | |
| 用紙サイズ | 64 |

用紙サイズ登録165, 175 用紙の保管15

| 27 |
|----|
| |
| 60 |
| |
| |

b

| リセットキー | 21 |
|------------------|----------|
| 理想 USB メモリマネージャー | 14 |
| 理想集計アプリケーション | 14 |
| リソーユーティリティソフトウェア | 14 |
| リソグラフクリーナー | 236 |
| 利用枚数集計 | 158, 159 |
| お知らせ日設定 | 159 |
| 集計出力 | 158, 159 |

れ

| レイアウト原稿 | 82 |
|---------|--------|
| 連携機 | 205 |
| オプション機能 | 213 |
| 両面 | 217 |
| 連写 | 70 |
| 1 原稿連写 | 74 |
| 多原稿連写 | 74 |
| チケット連写 | 75 |
| 連写待ち時間 | 166 |
| 連続 | 65 |
| 連続キー2 | 21, 65 |
| 連続基本設定 | 164 |
| 連続モード | 27 |

アフターサービスについて

無償修理

有償修理

有償部品

専用消耗品

修理不能の場合

補修用性能部品の保有期間と
インク・マスターの提供期間

修理ご依頼に際しての注意事項

使用済み製品について

保証期間中の修理の場合は必ず保証書をご提示ください。 保証期間は商品購入日より1年以内もしくはトータルカウンター表示が 100万枚までのいずれか早期に達した方とし、その期間中において、本 書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書に記載されてい る保証規定に則り無償修理いたします。

保証期間をすぎた場合は有償となります。

- また、次の場合は保証期間内であっても有償となりますのでご了承ください。 ● 保証書のご提示がない場合
- 保証書の所定事項の無記入、または記載内容が書き換えられている場合
- 使用上の誤り、不当な修理、改造等による故障や損傷
- 当社認定のテクニカルリソグラフマン以外の者による修理が行われた場合
- 当社推奨消耗品をお使いいただけないことに起因する故障
- ドラムの色変更に要する作業
- 有償部品の交換
- ご購入後の輸送、移動等による故障や損傷
- 火災、地震、その他天災地変による故障や損傷
- 上記以外で当社の責任でない原因で生じた故障や損傷

プラテンロール、サバキ板、ピックアップロール、スクレーパー、 排版ベルト、プレスロール、OAパット、排紙除電ブラシ、 ドラムブロックシート、ドラムシールテープ、除電バー、 TPH除電ブラシ、着版ブラシ

- MD6650: RISOマスターDタイプHG、RISOマスターDタイプHD、 RISOインクDタイプHG(黒)、RISOインクDタイプ(各色)
- MD5650: RISOマスターDタイプAS、RISOマスターDタイプAE RISOインクDタイプ(各色)
- MD5450: RISOマスターDタイプBS、RISOマスターDタイプBE RISOインクDタイプ(各色)

天災または強度の衝撃その他で破損がひどく、正常の性能に復元できない場合および部品の入手が困難な場合など、修理ができない場合があります。 その際は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い 合わせください。

本製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)は、本製品の 製造終了後、最低7年間保有しています。インク・マスターは、本製品の 製造終了後、最低7年間提供しています。

- 本機では、当社の定める研修を受講し、テクニカルリソグラフマンと認定された者がメンテナンスを行うシステムを採用しております。修理を依頼される際には必ずテクニカルリソグラフマン認定証の提示を求め、該当するテクニカルリソグラフマンであることをご確認ください。また、保証規定による修理には、必ず保証書を添付してください。
- 万一故障と思われる事態が生じた場合は、まず本書に記載されている処置(操作手順、トラブル処理、警告表示の処理、ご注意)をご確認ください。完全に処置できない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。ご連絡の際には、故障箇所、内容などをできるだけ詳しくご説明ください。
- 修理完了後は修理伝票にご捺印ください。

本製品には、ご使用後に回収し部品の再使用(リユース)や再利用(リサ イクル)をおこなうシステムがあります。また、このシステムで活用でき ない部分は環境への負荷が少ない方法で処理するシステムがあります。





本体・オプション製品に関しては お客様相談室 应 0120-534-881 受付時間(月~金10:00~12:00,13:00~17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製プリンタドライバ/ソフトアプリケーションの操作に関しては サポートセンター 🚾 0120-229-330 受付時間(月~金9:00~17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)



〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6666 ホームページ http://www.riso.co.jp/